



まちなか生活実態調査報告書  
(平成24年8月調査)

平成24年11月

鳥取県 企画部地域づくり支援局 とっとり暮らし支援課

# 目 次

## 【調査の概要】

1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 資料のみかた	2

## 【調査地区の概況】

人口推移、高齢化の状況	3
-------------	---

## 【調査結果】

1. 世帯調査	5
(1) 属性	5
(2) コミュニティ（自治会（町内会）への加入状況、近所付き合い、 マンション住民の意識等）	6
(3) 居住環境（買い物、交通、居住地評価等）	8
(4) データ編	13
1. 世帯の状況	13
2. 住まい	15
3. 暮らしの安心	18
4. 交通、買い物、通院	19
5. コミュニティ	26
6. 居住に関する今後の意向	32
7. 困りごと、不安（独居高齢者）	36
8. その他自由意見	38
2. 自治会（町内会）調査	43
(1) コミュニティ（自治会（町内会）の状況、防災、交流基盤、 マンションとの関わり等）	43
(2) 居住環境（交通、買い物、医療、空き家等）	46
(3) 困りごと、不安	47
(3) データ編	53
1. 自治会（町内会）の状況	53
2. 暮らしの安心	56
3. 生活環境（交通、店舗、医療）	60
4. コミュニティ	63
5. 困りごと、不安	70
6. その他自由意見	71

## 【資料】

調査票	75
(1) 世帯調査	75
(2) 自治会（町内会）調査	82

# 【調査の概要】

## 1 調査の目的

都市部における局地的な人口減少・高齢化の進行、コミュニティ活動の停滞、災害時対応への不安、空き家の増加、買い物弱者の発生、交通不便等の課題の実態を把握し、地域住民が安心して元気に暮らせる「まちなか」の再生を目指して、生活者の視点で、コミュニティを軸に支援施策を検討するための基礎資料とする。

## 2 調査の概要

### (1) 調査対象

鳥取県内の都市部で、鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例（平成 20 年鳥取県条例第 63 号）第 2 条第 1 項に規定する中山間地域を除く地域の中から中心市街地等有意に指定した 14 地区から抽出した 4,710 世帯及び全 277 自治会（町内会）

- ・鳥取市：久松、醇風、遷喬、日進、明德、中ノ郷、末恒
- ・米子市：中心市街地活性化基本計画区域  
（啓成・明道・就将・義方の各地区の一部）
- ・倉吉市：成徳、明倫
- ・境港市：境

### (2) 調査内容

- ①世帯調査 世帯の状況、住まい、くらしの安心、交通、買い物、通院、コミュニティ、居住に関する今後の意向、困りごと、不安その他に関する事項
- ②自治会（町内会）調査 自治会（町内会）の状況、くらしの安心、生活環境（交通、店舗、医療）、コミュニティ、困りごと、不安その他に関する事項

### (3) 調査方法

#### ①世帯調査

(3) により抽出した世帯に対し、調査票を郵送又は配布して実施した。（独居高齢者世帯については、各地区の民生委員のご協力のもと、聞取調査を行った。）

なお、調査票の提出は無記名とした。

#### ※抽出方法

- ①独居高齢者世帯については、地区当たり 15 世帯程度、計 210 世帯を選定
- ②マンション世帯については、地区当たり 100 世帯程度、棟当たり 25 世帯程度を基本とし、以下の手順で計 1,000 世帯を選定
  - ・各地区の中で入居世帯数の多いもの 2 棟（50 世帯）を調査棟に割り当て（地区内でこれを満たさない場合、50 世帯に達するまで各棟毎に調査世帯数を割り当てる。相応しい物件がない場合は調査を行わない。）
  - ・残りの世帯については、各市域の調査地区全体の中で入居世帯数の多いものから順に必要な棟数※を割り当て  
※  $((100 \text{ 世帯} - 50 \text{ 世帯}) \times \text{地区数}) \div 25 \text{ 世帯}$
- ③ ①②を除いた世帯について、地区当たり 250 世帯程度、計 3,500 世帯を住民基本台帳から抽出

- ②自治会（町内会）調査  
自治会（町内会）の代表者に対し、調査票を配布して実施した。

**（４）調査基準日**

平成24年8月1日（水）

**（５）調査時期**

平成24年8月1日（水）～31日（金）

**（６）調査客体数**

①世帯調査

（３）により抽出した者に送付又は配布した調査票に関し、宛先又は移転先不明等により返送された又は配布できなかった調査票（135通）を除いた4,575世帯

②自治会（町内会）調査

全277自治会（町内会）

**（７）回答率**

①世帯調査 : 43.9% (2,007/4,575 世帯)

②自治会（町内会）調査 : 75.5% (209/277 自治会（町内会）)

### 3 資料のみかた

**（１）比率（％：パーセント）の表示について**

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数（副設問では設問該当対象数）に対する百分率（％）を表している。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。

**（２）「無回答」の取り扱いについて**

以下の場合については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・回答数の制限を超える回答が選択されている場合  
例）「○は1つだけ」という条件のある設問で2つ以上の回答を選択した場合など
- ・記述回答において、設問内容と無関係の回答がなされている場合  
例）数値を求める設問で数値以外の回答がなされている場合など

**（３）本報告書に掲載する記述回答について**

趣旨の重複する一部の記述回答は、整理・統合した。

プライバシーに配慮し、一部の固有名詞は削除した。

**（４）異なるグラフやデータの間でのサンプル数の相違について**

回答に記載漏れがあった場合、抽出区分によっては値を抽出できないことがある。

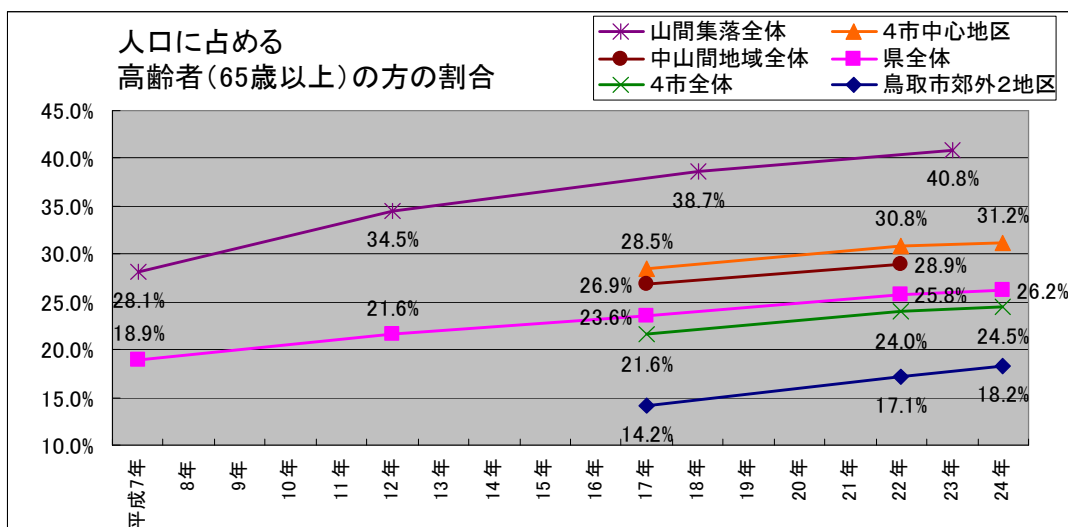
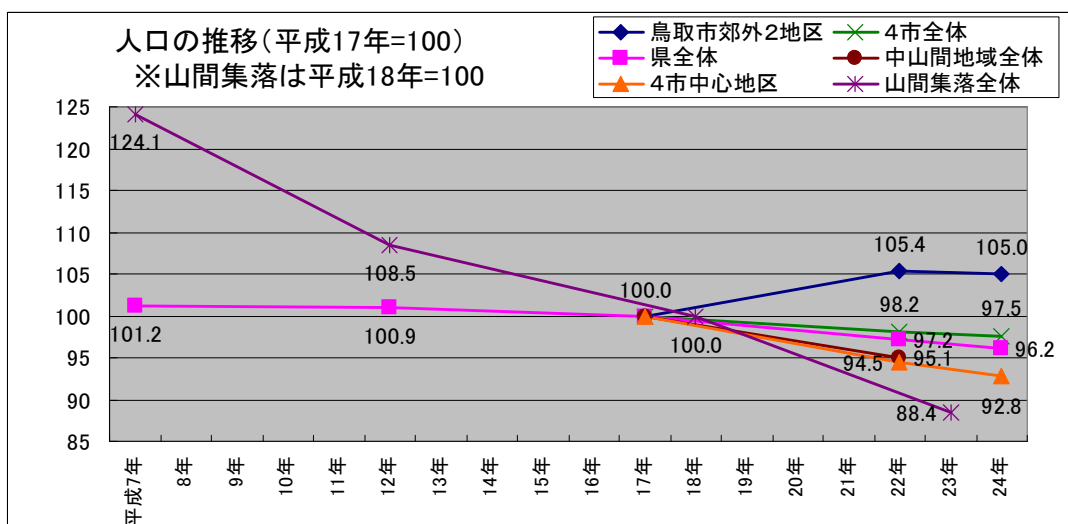
このため、異なるグラフやデータの間でサンプル数に相違が生じることがある。

- ・居住地区欄、主な収入欄に回答し、世帯類型欄に回答漏れがある場合、当該データは、主な収入（地区別）ではカウントされるが、主な収入（世帯類型別）ではカウントされない。

## 【調査地区の概況】

### 人口推移、高齢化の状況

県全体で見ると、人口減少がゆるやかに進んでいる。  
 4市の中心地区においても、人口減少が進んでいることがわかる。  
 郊外地区では、人口増もみられるものの、今後の人口減少を踏まえれば、その時期は長くないとみられる。



注) 住民基本台帳登録人口(境港市境地区のみ高齢者実態調査)を基に作成。  
 「山間集落全体」は山間集落実態調査、「中山間地域全体」は国勢調査による。  
 「4市中心地区」は、本調査地区から鳥取市中ノ郷地区及び末恒地区を除いたもの。  
 うち米子市中心地区は、中心市街地活性化基本計画区域内のみ。  
 「鳥取市郊外2地区」は、鳥取市中ノ郷地区及び末恒地区。  
 うち中ノ郷地区は、平成17年は山城町を除く。

## 調査地区の基礎データ

区 分		平成17年	平成22年	平成24年		備 考		
				17年との差	22年との差			
人口 (単位:人)	調査地区	58,442 100.0%	56,201 96.2%	△ 2,241 △ 3.8%	55,285 98.4%	△ 916 △ 1.6%	・住民基本台帳による。	
	うち4市中心地区	49,700 100.0%	46,988 94.5%	△ 2,712 △ 5.5%	46,106 98.1%	△ 882 △ 1.9%		
	うち鳥取市郊外2地区	8,742 100.0%	9,213 105.4%	471 5.4%	9,179 99.6%	△ 34 △ 0.4%		
	4市全体	439,633 100.0%	431,546 98.2%	△ 8,087 △ 1.8%	428,572 99.3%	△ 2,974 △ 0.7%		
	山間集落全体	8,870 100.0%	7,844 88.4%	△ 1,026 △ 11.6%				・山間集落実態調査(平成18年、23年実施)による。
	中山間地域全体	292,443 100.0%	278,080 95.1%	△ 14,363 △ 4.9%				・国勢調査による。
	県全体	612,191 100.0%	595,331 97.2%	△ 16,860 △ 2.8%	588,715 98.9%	△ 6,616 △ 1.1%		
世帯数(総数) (単位:世帯)	調査地区	25,152 100.0%	25,310 100.6%	158 0.6%	25,332 100.1%	22 0.1%	・住民基本台帳による。	
	うち4市中心地区	22,134 100.0%	21,831 98.6%	△ 303 △ 1.4%	21,832 100.0%	1 0.0%		
	うち鳥取市郊外2地区	3,018 100.0%	3,479 115.3%	461 15.3%	3,500 100.6%	21 0.6%		
	4市全体	165,945 100.0%	172,756 104.1%	6,811 4.1%	174,911 101.2%	2,155 1.2%		
	山間集落全体	2,736 100.0%	2,654 97.0%	△ 82 △ 3.0%				・山間集落実態調査(平成18年、23年実施)による。
	中山間地域全体	91,298 100.0%	90,701 99.3%	△ 597 △ 0.7%				・国勢調査による。
	県全体	218,520 100.0%	226,434 103.6%	7,914 3.6%	228,484 100.9%	2,050 0.9%		
高齢化率	調査地区	26.3%	28.6%	2.2%	29.1%	0.5%	・住民基本台帳による。 ※境港市境地区のみ高齢者実態調査による。	
	うち4市中心地区	28.5%	30.8%	2.3%	31.2%	0.4%		
	うち鳥取市郊外2地区	14.2%	17.1%	2.9%	18.2%	1.1%		
	4市全体	21.6%	24.0%	2.3%	24.5%	0.5%		
	山間集落全体	38.7%	40.8%	2.1%				・山間集落実態調査(平成18年、23年実施)による。
	中山間地域全体	26.9%	28.9%	1.9%				・国勢調査による。
	県全体	23.6%	25.8%	2.2%	26.2%	0.5%		・住民基本台帳による。

### 【注】

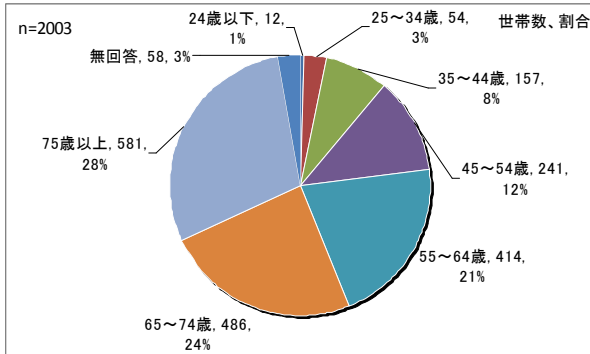
○住民基本台帳は各年3月31日現在。(米子市のデータは中心市街地活性化基本計画区域内のみ。)  
○鳥取市郊外2地区のうち中ノ郷地区は、平成17年は山城町を除く。

# 【調査結果】

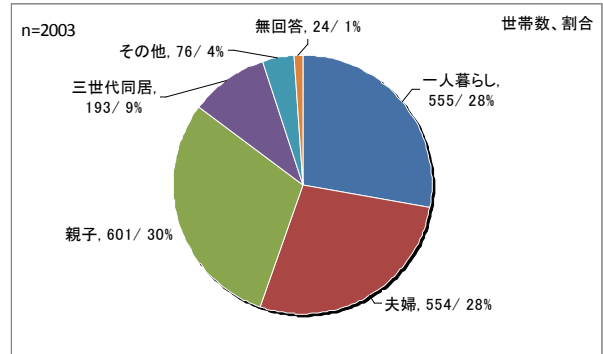
## 1. 世帯調査 回答率 43.9% (2,007/4,575 世帯)

### (1) 属性

#### ア 回答者の年齢区分 (問1-1)



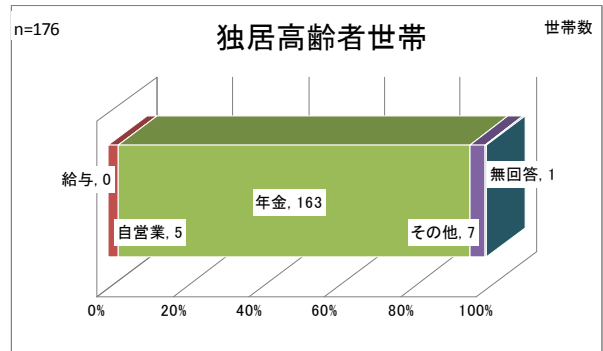
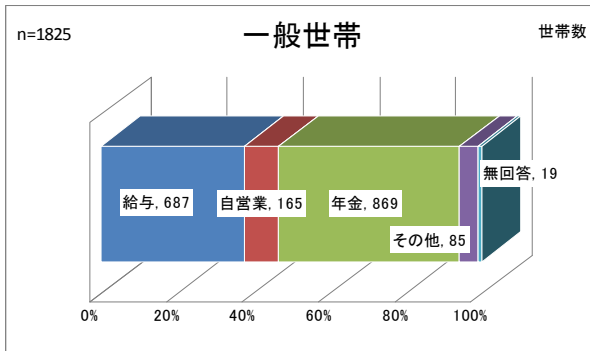
#### イ 回答者の家族構成 (問1-2)



#### ウ 主な収入 (問1-3)

回答者が高齢のため、一般世帯においても年金を主な収入に挙げる回答者が多い。独居高齢者世帯においては、ほぼ年金に頼っていることがわかる。

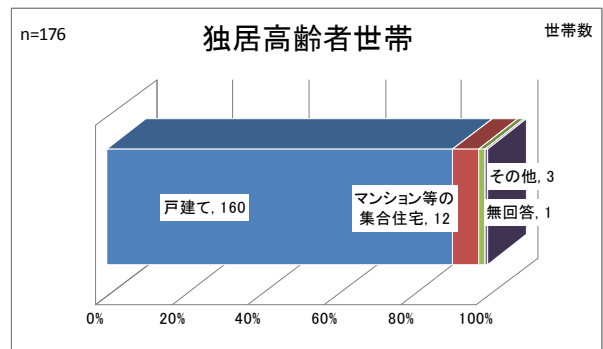
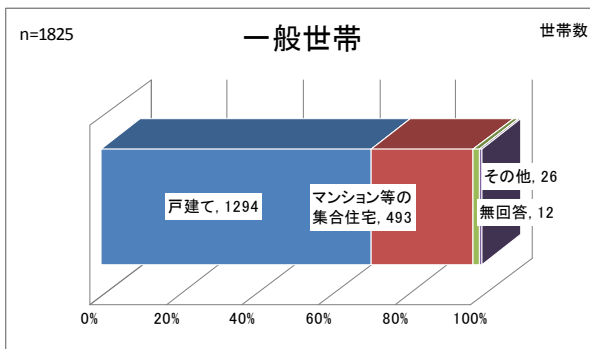
- 年金を主な収入とする一般世帯 : 869/1,825 世帯、47.6%
- 年金を主な収入とする独居高齢者世帯 : 163/176 世帯、92.6%



#### エ 住まいの形態 (問2-1)

一般世帯、独居高齢者世帯ともに回答者の70%以上が戸建て住宅。マンション等の集合住宅は一般世帯で3割弱。

- 一般世帯の「戸建て」 : 1,294/1,825 世帯、70.9%
- 一般世帯の「マンション等の集合住宅」 : 493/1,825 世帯、27.0%
- 独居高齢者世帯の「戸建て」 : 160/176 世帯、90.9%

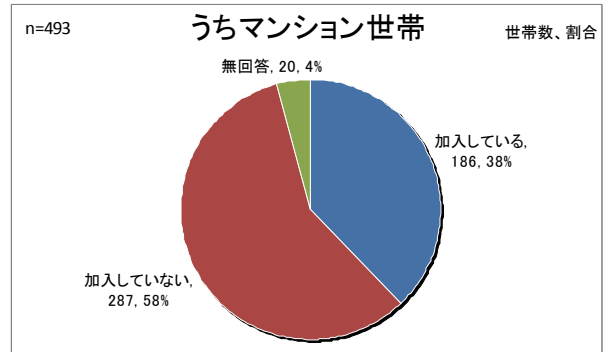
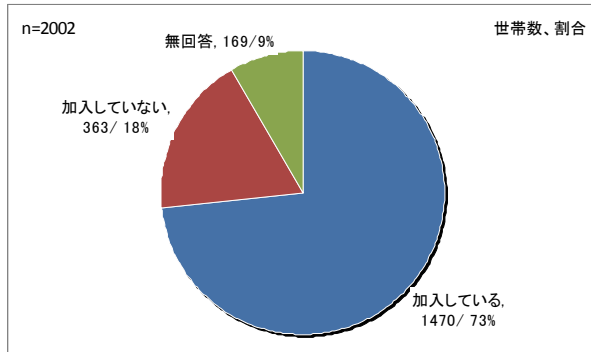


(2) コミュニティ（自治会（町内会）への加入状況、近所付き合い、マンション住民の意識等）

ア 自治会（町内会）加入状況（問5-2-1）

7割強の世帯が自治会（町内会）に加入。（一般世帯、独居高齢者世帯はほぼ同じ傾向）ただ、マンション世帯を見ると加入率は4割弱にとどまる。

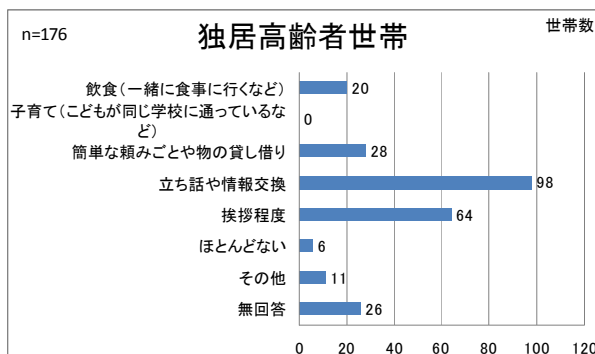
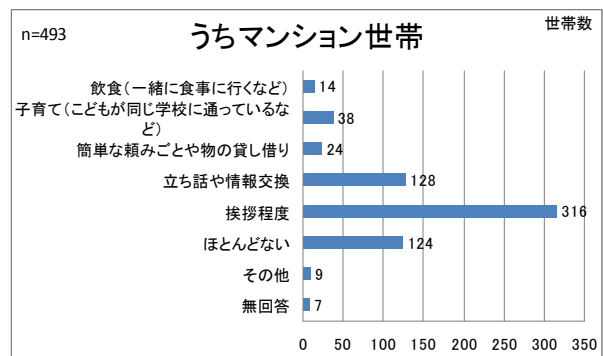
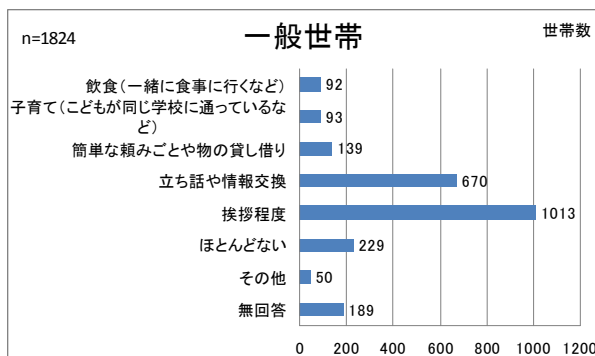
- ・加入している世帯 : 1,470/2,002世帯、73.4%  
（うちマンション世帯 : 186/493世帯、37.7%）



イ 日常の近所付き合い（問5-1-1、複数回答）

一般世帯、独居高齢者世帯ともに、「立ち話や情報交換」、「挨拶程度」が多い。一般世帯には近所付き合いが「ほとんどない」と答えた人が一定数存在。

- ・「ほとんどない」の一般世帯 : 229/1,824世帯、12.6%  
（うちマンション世帯 : 124/493世帯、25.2%）





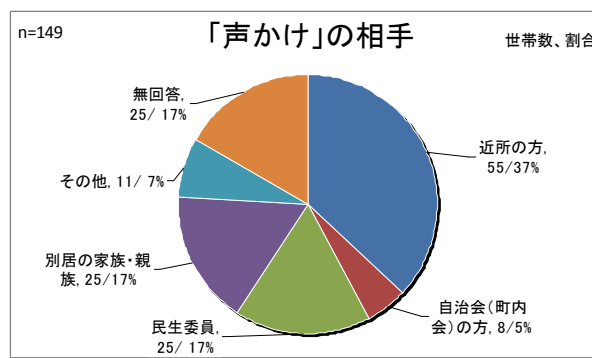
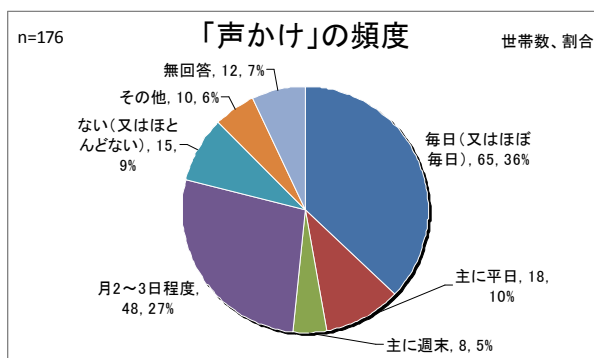
ウ 「声かけ」の頻度・相手（問3-2）

独居高齢者世帯に対する「声かけ」の頻度は、「毎日（又はほぼ毎日）」が最も多く、次いで「月2～3日程度」。

- ・毎日（又はほぼ毎日）：65/176世帯、36.9%
- ・月2～3日程度：48/176世帯、27.3%

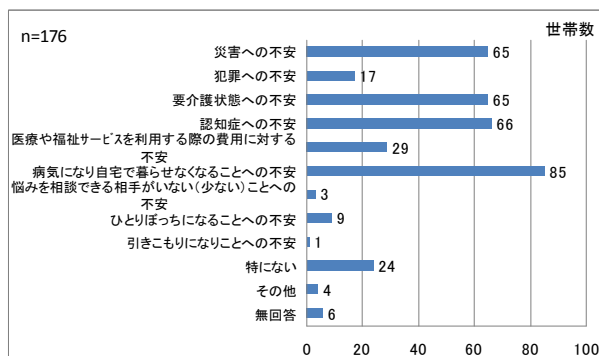
主な相手は「近所の方」が最も多く、次いで「別居の親族」「民生委員」が同じ割合。

- ・近所の方：55/149世帯、36.9%
- ・別居の家族・親族：25/149世帯、16.8%
- ・民生委員：25/149世帯、16.8%



エ 独居高齢者の将来への不安（問7-2、3つまで）

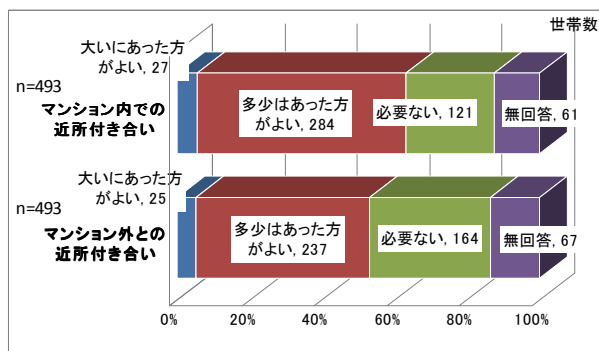
健康上の不安、災害への不安が多く、人間関係などの不安は少ない。



オ マンション世帯の意識（マンション内での付き合いのあり方（問5-1-4）、マンション外の近隣住民との付き合いのあり方（問5-2-3））

いずれも「多少あった方がよい」が最も多い。ただ、「必要ない」という回答も少ない。

- ・マンション内での付き合いが「多少はあった方がよい」：284/493世帯、57.6%
- ・マンション内での付き合いが「必要ない」：121/493世帯、24.5%
- ・マンション外の近隣住民との付き合いが「多少はあった方がよい」：237/493世帯、48.1%
- ・マンション外の近隣住民との付き合いが「必要ない」：164/493世帯、33.3%

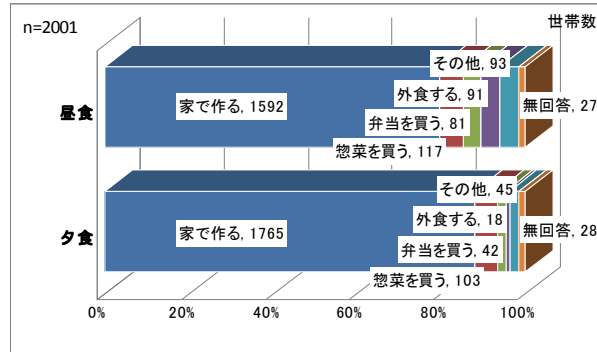


### (3) 居住環境 (買い物、交通、居住地評価等)

#### ア 昼食・夕食の準備について (問4-1-3、4-1-4)

いずれも、「家で作る」という回答が8割～9割近くを占める。若干、夕食の方が惣菜・弁当の購入や外食が少ない。

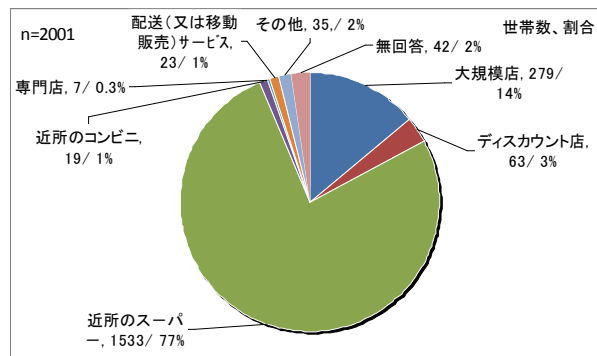
- ・昼食を家で作る：1,592/2,001世帯、79.6%
- ・夕食を家で作る：1,765/2,001世帯、88.2%



#### イ 日常の買い物先 (問4-1-6)

「近所のスーパー」が77%と最も多い。「大規模店」は14%を占めた。

- ・近所のスーパー：1,533/2,001世帯、76.6%
- ・大規模店：279/2,001世帯、13.9%



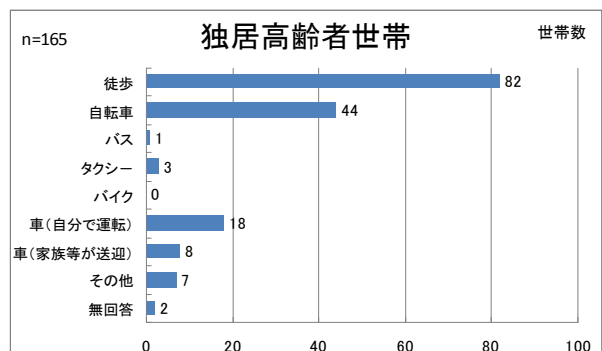
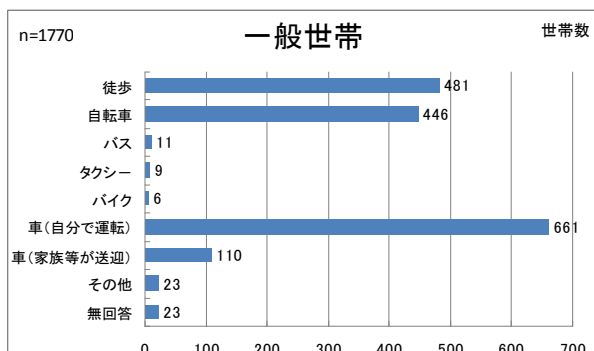
#### ウ 買い物に使う主な交通手段 (問4-1-6)

一般世帯の場合「車(自分で運転)」が最も多く、次いで「徒歩」「自転車」の順。

- ・車(自分で運転)：661/1,770世帯、37.3%
- ・徒歩：481/1,770世帯、27.2%
- ・自転車：446/1,770世帯、25.2%

独居高齢者世帯は「徒歩」が最も多く、次いで「自転車」「車(自分で運転)」の順。

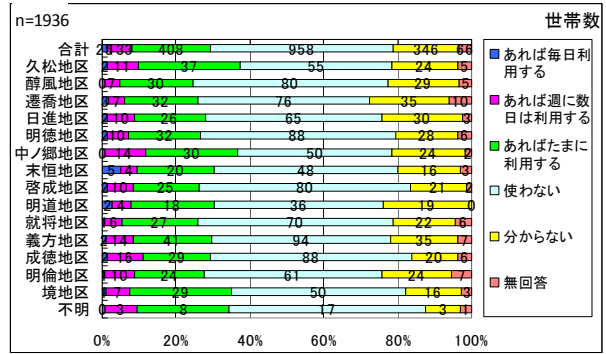
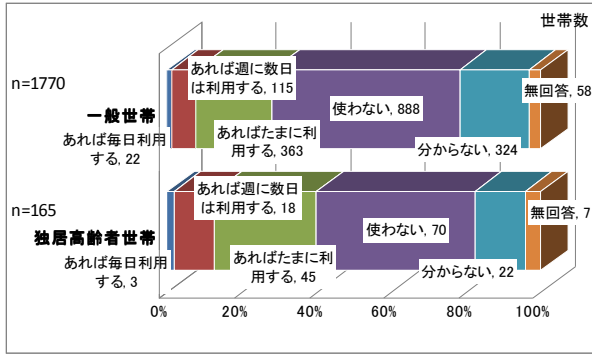
- ・徒歩：82/165世帯、49.7%
- ・自転車：44/165世帯、26.7%
- ・車(自分で運転)：18/165世帯、10.9%



## エ 配送（又は移動販売）サービスの利用意向（問4-1-6）

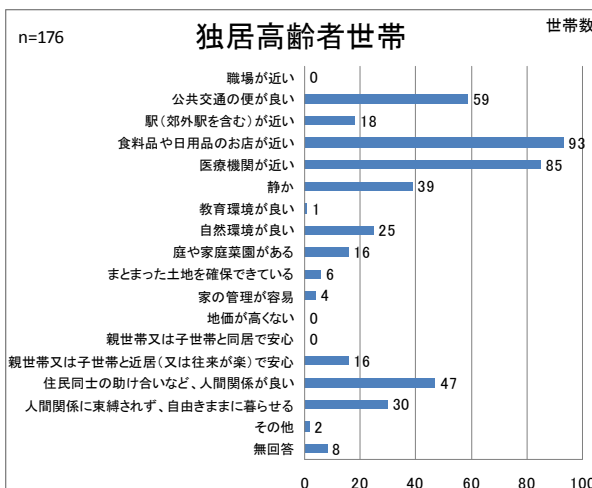
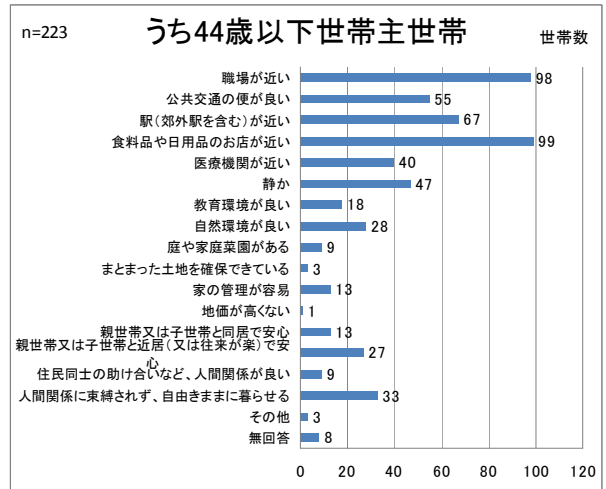
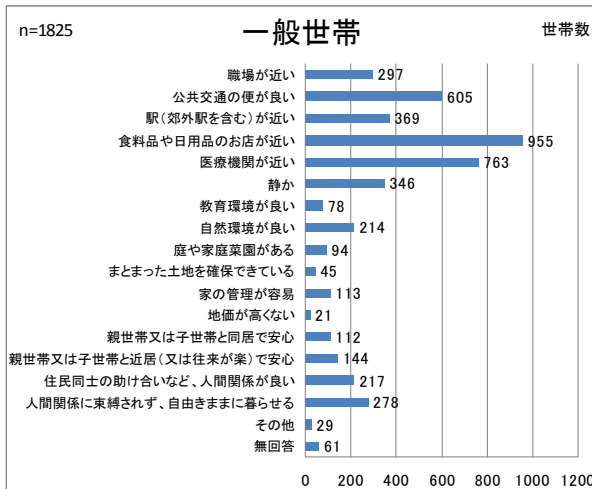
いずれも「使わない」という回答が最も多く、次いで「あればたまに利用する」の順。全体的には積極的な利用意向とは言えない。

- ・一般世帯の「使わない」 : 888/1,770 世帯、50.2%
- ・一般世帯の「あればたまに利用する」 : 363/1,770 世帯、20.5%
- ・独居高齢者世帯の「使わない」 : 70/165 世帯、42.4%
- ・独居高齢者世帯の「あればたまに利用する」 : 45/165 世帯、27.3%



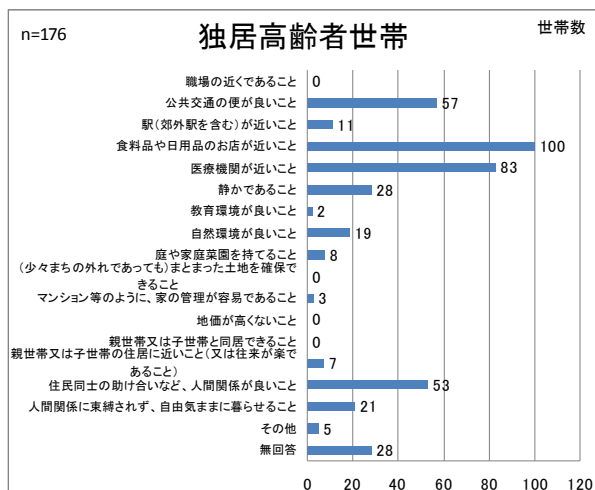
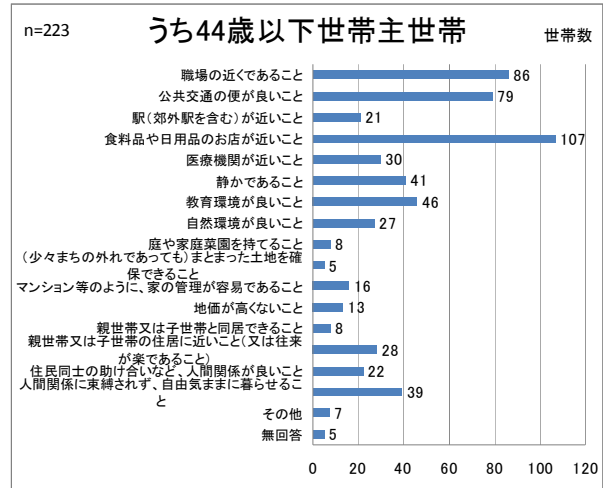
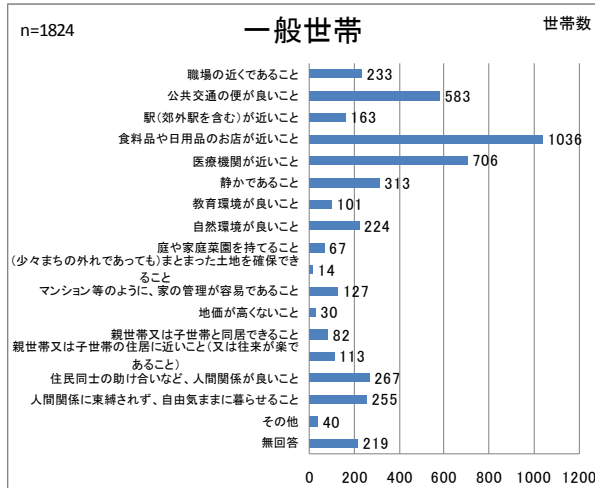
## オ 現住地に対する評価（問2-4、3つまで）

一般世帯と独居高齢者世帯ともに、買い物、医療、交通の利便性を選んでおり、これらが居住地としてのまちなかの特徴と考えられる。  
 一般世帯のうち比較的若い世帯主の世帯では、買い物の利便性に加え、職場や駅（郊外駅を含む）への近接性が評価されている。



カ 居住環境として優先する条件（問6-2、3つまで）

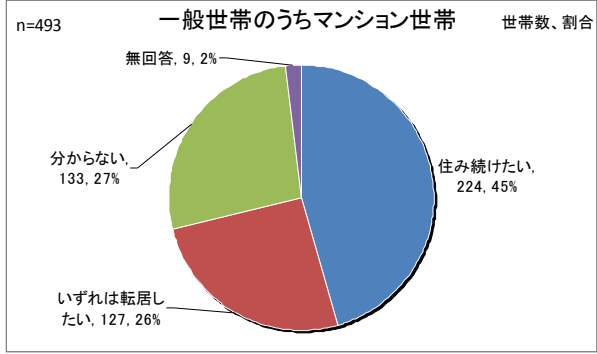
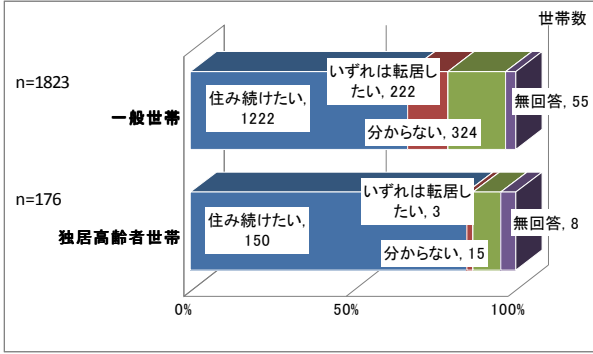
一般世帯、独居高齢者世帯ともに、買い物、医療、交通の利便性が重視されている。  
 一般世帯のうち比較的若い世代主の世帯では、買い物、交通の利便性に加え、職場への近接性や教育環境などが重視されている。  
 独居高齢者世帯は良好な人間関係も重視している。



キ 今後の居留意向（問6-1）

「住み続けたい」という意向が、一般世帯、独居高齢者世帯ともに多い。

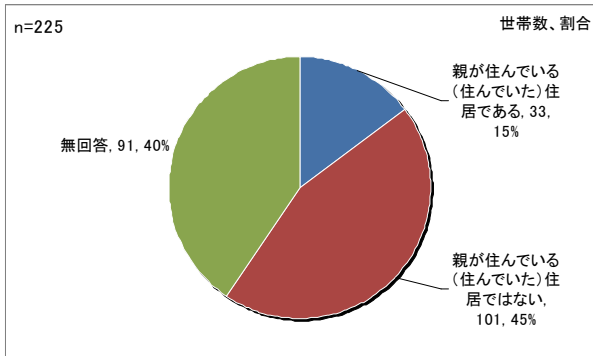
- ・一般世帯の「住み続けたい」 : 1,222/1,823世帯、67.0%  
 (うちマンション世帯 : 224/493世帯 45.4%)
- ・一般世帯の「分からない」 : 324/1,823世帯、17.8%  
 (うちマンション世帯 : 133/493世帯 27.0%)
- ・一般世帯の「いずれは転居したい」 : 222/1,823世帯、12.2%  
 (うちマンション世帯 : 127/493世帯 25.8%)
- ・独居高齢者世帯の「住み続けたい」 : 150/176世帯、85.2%



ク 転居意向者の転居先（問6-1）

半数近くが「親が住んでいる（住んでいた）住居ではない」との回答。

- ・親が住んでいる（住んでいた）住居ではない : 102/226世帯、45.1%
- ・親が住んでいる（住んでいた）住居である : 33/226世帯、14.6%





## (4) データ編

※回答に記載漏れがあった場合、抽出区分によっては値を抽出できないことがある。  
このため、異なるグラフやデータの間でサンプル数に差異が生じることがある。

「中心」：中心地区  
「中活」：中心市街地活性化基本計画区域  
「郊外」：郊外地区

### 1. 世帯の状況

問1-1 お住まいの地域（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

久松地区	醇風地区	遷喬地区	日進地区	明德地区	中ノ郷地区	末恒地区	啓成地区	明道地区	就将地区	義方地区	成徳地区	明倫地区	境地区	無回答	合計
142	154	171	139	167	124	101	141	81	135	194	169	134	112	37	2,001

問1-1 回答者の居住地、年齢区分（1つだけ）（サンプル数：2,003/2,007）

	鳥取	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
		中心	中活	郊外	中心	中心	中心			
					中活					
① 19歳以下	0	0	0	0	1	0	0	1	0.0%	
② 20～24歳	2	2	1	0	9	0	0	11	0.5%	
③ 25～29歳	7	4	1	3	6	0	1	14	0.7%	
④ 30～34歳	20	18	11	2	19	0	1	40	2.0%	
⑤ 35～39歳	44	34	20	10	23	3	2	72	3.6%	
⑥ 40～44歳	52	33	23	19	28	5	0	85	4.2%	
⑦ 45～49歳	65	55	34	10	33	7	3	108	5.4%	
⑧ 50～54歳	65	47	32	18	50	11	6	133	6.6%	
⑨ 55～59歳	87	60	38	27	49	14	7	158	7.9%	
⑩ 60～64歳	140	96	52	44	71	36	8	256	12.8%	
⑪ 65～69歳	110	77	49	33	57	41	20	230	11.5%	
⑫ 70～74歳	99	86	52	13	54	77	25	256	12.8%	
⑬ 75歳以上	297	255	147	42	145	104	27	581	29.0%	
⑭ 無回答	15	11	8	4	8	4	12	58	2.9%	
合計	1,003	778	468	225	552	303	112	33	2,003	100.0%

問1-1 回答者の性別（1つだけ）（サンプル数：2,003/2,007）

	鳥取	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
		中心	中活	郊外	中心	中心	中心			
					中活					
① 男性	589	438	281	151	342	175	64	3	1,173	58.6%
② 女性	307	260	140	47	151	91	39	10	598	29.9%
③ 無回答	107	80	47	27	59	37	9	20	232	11.6%
合計	1,003	778	468	225	552	303	112	33	2,003	100.0%

問1-2 回答者の家族構成（1つだけ）（サンプル数：2,003/2,007）

	鳥取	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
		中心	中活	郊外	中心	中心	中心			
					中活					
① 一人暮らし	278	244	120	34	137	92	33	15	555	27.7%
② 夫婦	263	204	133	59	169	87	33	2	554	27.7%
③ 親子	330	245	158	85	166	80	24	1	601	30.0%
④ 三世同居	93	57	34	36	55	28	16	1	193	9.6%
⑤ その他	33	23	18	10	23	14	6	0	76	3.8%
⑥ 無回答	6	5	5	1	2	2	0	14	24	1.2%
合計	1,003	778	468	225	552	303	112	33	2,003	100.0%

問1-3 主な収入（1つだけ）（サンプル数：2,002/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中心		中活	中心	中心	中心			
		中活	郊外							
① 給与で	391	294	186	97	208	49	32	7	687	34.3%
② 自営業で	74	67	49	7	47	37	11	1	170	8.5%
③ 年金で	495	382	213	113	252	200	63	22	1,032	51.5%
④ その他	34	26	15	8	39	13	5	1	92	4.6%
⑤ 無回答	8	8	4	0	6	4	1	2	21	1.0%
合計	1,002	777	467	225	552	303	112	33	2,002	100.0%

「その他」の主な記述

・生活保護 ・預貯金 ・パート ・貯金、子供からの仕送り

→主に家計を支える方の勤務地（1つだけ）（問1-3 主な収入が「③年金で」以外の方）  
（サンプル数：949/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中心		中活	中心	中心	中心			
		中活	郊外							
① 同じ敷地内（又は建物）	65	62	51	3	41	32	12	0	150	17.1%
② 家から500m以内	32	32	24	0	28	4	5	0	69	7.9%
③ 家から1km以内	48	46	33	2	37	10	5	0	100	11.4%
④ 市内（①～③を除く）	287	198	110	89	124	26	14	6	457	52.2%
⑤ 市外	21	13	9	8	25	9	5	2	62	7.1%
⑥ 県外	14	10	6	4	17	2	4	0	37	4.2%
⑦ その他	9	6	3	3	9	3	1	0	22	2.5%
⑧ 無回答	23	20	14	3	13	13	2	1	52	5.9%
合計	467	361	233	106	272	83	45	8	875	100.0%

「県外」の主な記述

・東京都 ・神奈川県 ・京都府 ・大阪府 ・兵庫県 ・島根県 ・岡山県  
・広島県 ・山口県 ・香川県 ・愛媛県

問1-3 主な収入（1つだけ）（世帯類型別）（サンプル数：2,001/2,007）

	一般世帯		独居高齢者世帯		県計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① 給与で	687	37.6%	0	0.0%	687	34.3%
② 自営業で	165	9.0%	5	2.8%	170	8.5%
③ 年金で	869	47.6%	163	92.6%	1,032	51.6%
④ その他	85	4.7%	7	4.0%	92	4.6%
⑤ 無回答	19	1.0%	1	0.6%	20	1.0%
合計	1,825	100.0%	176	100.0%	2,001	100.0%

問1-4 介護保険の要支援・要介護状態該当者の有無（回答者を含む）（サンプル数：2,002/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中心		中活	中心	中心				
		中活	郊外							
① いる	139	105	59	34	86	40	21	7	293	14.6%
② いない	828	646	396	182	448	251	89	21	1,637	81.8%
③ 無回答	35	26	12	9	18	12	2	5	72	3.6%
合計	1,002	777	467	225	552	303	112	33	2,002	100.0%



## 2. 住まい

問2-1 住まいの形態（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 戸建て（自己名義又は家族名義）	484	338	195	146	239	187	74	13	997	49.8%
② 戸建て（他人名義）	34	30	19	4	20	26	2	1	83	4.1%
③ マンション等の集合住宅（自己名義又は家族名義）	177	173	117	4	114	7	1	5	304	15.2%
④ マンション等の集合住宅（他人名義）	66	58	31	8	51	7	3	2	129	6.4%
⑤ その他	12	9	4	3	8	4	3	0	27	1.3%
⑥ 無回答	229	169	101	60	120	72	28	12	461	23.0%
合計	1,002	777	467	225	552	303	111	33	2,001	100.0%

問2-1 住まいの形態（1つだけ）（世帯類型別）（サンプル数：2,001/2,007）

	一般世帯		独居高齢者世帯		県計	
① 戸建て	1,294	70.9%	160	90.9%	1,454	72.7%
② マンション等の集合住宅	493	27.0%	12	6.8%	505	25.2%
③ その他	26	1.4%	3	1.7%	29	1.4%
④ 無回答	12	0.7%	1	0.6%	13	0.6%
合計	1,825	100.0%	176	100.0%	2,001	100.0%

問2-2 家（母屋）の延床面積（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 50m <sup>3</sup> （約15.1坪）未満	78	70	39	8	57	17	4	2	158	7.9%
② 75m <sup>3</sup> （約22.7坪）未満	122	109	63	13	80	40	8	2	252	12.6%
③ 100m <sup>3</sup> （約30.3坪）未満	195	174	115	21	114	48	16	5	378	18.9%
④ 125m <sup>3</sup> （約37.8坪）未満	125	85	50	40	48	30	14	4	221	11.0%
⑤ 150m <sup>3</sup> （約45.4坪）未満	152	101	58	51	74	45	26	6	303	15.1%
⑥ 175m <sup>3</sup> （約52.9坪）未満	65	42	27	23	33	32	12	5	147	7.3%
⑦ 200m <sup>3</sup> （約60.5坪）未満	70	53	32	17	35	28	13	3	149	7.4%
⑧ 225m <sup>3</sup> （約68.1坪）未満	33	22	8	11	17	9	4	0	63	3.1%
⑨ 250m <sup>3</sup> （約75.6坪）未満	33	18	10	15	16	13	4	1	67	3.3%
⑩ 250m <sup>3</sup> （約75.6坪）以上	55	43	30	12	31	21	6	2	115	5.7%
⑪ 無回答	73	59	35	14	47	20	5	3	148	7.4%
合計	1,001	776	467	225	552	303	112	33	2,001	100.0%

問2-3 住まいの課題（3つまで）（サンプル数：2,002/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 耐震化	262	209	132	53	137	104	39	6	548	18.5%
② バリアフリー化	169	121	82	48	107	71	27	3	377	12.8%
③ 狭すぎる	123	101	69	22	60	32	3	1	219	7.4%
④ 広すぎる	51	39	18	12	29	26	11	3	120	4.1%
⑤ 家賃や維持費が高い	102	89	59	13	54	12	3	2	173	5.9%
⑥ 古い	242	208	116	34	203	110	26	7	588	19.9%
⑦ 不都合はない	396	297	173	99	183	95	49	17	740	25.0%
⑧ その他	70	54	29	16	36	17	4	1	128	4.3%
⑨ 無回答	24	18	12	6	13	17	4	4	62	2.1%
合計	1,439	1,136	690	303	822	484	166	44	2,955	100.0%

「その他」の主な記述

- ・1階が店舗で居住部分が2階だが、年をとり2階での生活が困難になってきた。
- ・二世帯住宅の母屋が古いので使っていない。取り壊したいが費用もかかるので。
- ・駐車場がない（足りてない）。駐車場が狭い。
- ・雪の時期、国道に出るまでが困る。

問2-4 現住地に対する評価（3つまで）（サンプル数：2,002/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 職場に近い	153	132	90	21	101	21	20	2	297	5.7%
② 公共交通の便が良い	314	281	180	33	230	97	17	6	664	12.8%
③ 駅（郊外駅を含む）に近い	239	208	151	31	121	1	19	7	387	7.5%
④ 食料品や日用品のお店に近い	458	404	252	54	322	205	44	19	1,048	20.2%
⑤ 医療機関に近い	359	314	203	45	268	160	46	15	848	16.3%
⑥ 静か	229	148	71	81	74	54	20	8	385	7.4%
⑦ 教育環境が良い	57	48	22	9	12	9	1	0	79	1.5%
⑧ 自然環境が良い	165	63	25	102	21	39	13	1	239	4.6%
⑨ 庭や家庭菜園がある	62	25	16	37	15	18	13	2	110	2.1%
⑩ まとまった土地を確保できている	32	17	6	15	8	7	3	1	51	1.0%
⑪ 家の管理が容易	64	59	35	5	42	4	5	2	117	2.3%
⑫ 地価が高くない	9	2	2	7	7	1	1	3	21	0.4%
⑬ 親世帯又は子世帯と同居で安心	55	39	21	16	24	18	15	0	112	2.2%
⑭ 親世帯又は子世帯と近居（又は往来が楽）で安心	82	60	37	22	43	18	15	2	160	3.1%
⑮ 住民同士の助け合いなど、人間関係が良い	117	81	38	36	60	54	30	3	264	5.1%
⑯ 人間関係に束縛されず、自由きままに暮らせる	156	122	78	34	86	44	17	5	308	5.9%
⑰ その他	12	11	5	1	7	7	5	0	31	0.6%
⑱ 無回答	34	26	16	8	13	15	4	4	70	1.3%
合計	2,597	2,040	1,248	557	1,454	772	288	80	5,191	100.0%

「その他」の主な記述

- ・交通の便が悪い、近くにスーパーがない。
- ・食料品、日用品を扱う店が近くにない。
- ・生まれた時から暮らしている安心感。
- ・図書館、博物館、文化会館などの施設が近い。

問 2-4 現住地に対する評価（3つまで）（世帯類型別）（サンプル数：2,001/2,007）

	一般世帯				独居高齢者世帯		県 計	
			うち 44 歳以下世帯主世帯					
① 職場が近い	297	6.3%	98	17.2%	0	0.0%	297	5.7%
② 公共交通の便が良い	606	12.8%	55	9.6%	59	13.1%	665	12.8%
③ 駅（郊外駅を含む）が近い	370	7.8%	67	11.7%	18	4.0%	388	7.5%
④ 食料品や日用品のお店が近い	955	20.1%	99	17.3%	93	20.7%	1,048	20.2%
⑤ 医療機関が近い	763	16.1%	40	7.0%	85	18.9%	848	16.3%
⑥ 静か	346	7.3%	47	8.2%	39	8.7%	385	7.4%
⑦ 教育環境が良い	78	1.6%	18	3.2%	1	0.2%	79	1.5%
⑧ 自然環境が良い	214	4.5%	28	4.9%	25	5.6%	239	4.6%
⑨ 庭や家庭菜園がある	95	2.0%	9	1.6%	16	3.6%	111	2.1%
⑩ まとまった土地を確保できている	45	0.9%	3	0.5%	6	1.3%	51	1.0%
⑪ 家の管理が容易	113	2.4%	13	2.3%	4	0.9%	117	2.3%
⑫ 地価が高くない	21	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	21	0.4%
⑬ 親世帯又は子世帯と同居で安心	112	2.4%	13	2.3%	0	0.0%	112	2.2%
⑭ 親世帯又は子世帯と近居（又は往来が楽）で安心	144	3.0%	27	4.7%	16	3.6%	160	3.1%
⑮ 住民同士の助け合いなど、人間関係が良い	217	4.6%	9	1.6%	47	10.5%	264	5.1%
⑯ 人間関係に束縛されず、自由きままに暮らせる	278	5.9%	33	5.8%	30	6.7%	308	5.9%
⑰ その他	29	0.6%	3	0.5%	2	0.4%	31	0.6%
⑱ 無回答	61	1.3%	8	1.4%	8	1.8%	69	1.3%
合計	4,744	100.0%	571	100.0%	449	100.0%	5,193	100.0%

### 3. 暮らしの安心

問3-1 防災・防犯など、暮らしの安心に関する情報を得る主な媒体（1つだけ）  
（サンプル数：2,002/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活		中心	中心	中心				
		中活	郊外				中活			
① テレビ	719	563	331	156	368	158	79	12	1,336	66.7%
② ラジオ	34	30	22	4	25	5	4	4	72	3.6%
③ 防災無線	27	14	9	13	30	97	5	2	161	8.0%
④ インターネット	38	33	21	5	31	3	3	1	76	3.8%
⑤ メール（県の「あんしんトリピーメール」など）	24	17	13	7	14	2	2	0	42	2.1%
⑥ 新聞	45	39	25	6	24	14	5	3	91	4.5%
⑦ 広報誌	36	26	15	10	11	1	6	2	56	2.8%
⑧ その他	8	6	1	2	6	1	2	0	17	0.8%
⑨ 無回答	71	49	30	22	43	22	6	9	151	7.5%
合計	1,002	777	467	225	552	303	112	33	2,002	100.0%

「その他」の主な記述

<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション管理人の方から</li> <li>・町内会</li> <li>・職場</li> <li>・民生委員、町内会長の情報親切</li> <li>・マンション1階ホールの掲示</li> </ul>
---

問3-2 回答者（ご家族）に対する「声かけ」の頻度（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活		中心	中心	中心				
		中活	郊外				中活			
① 毎日（又はほぼ毎日）	161	130	75	31	107	73	44	5	390	19.5%
② 主に平日	88	68	47	20	56	42	12	3	201	10.0%
③ 主に週末	44	32	12	12	21	7	5	0	77	3.8%
④ 月2～3日程度	148	115	59	33	88	63	13	11	323	16.1%
⑤ ない（又はほとんどない）	480	370	242	110	237	97	30	13	857	42.8%
⑥ その他	43	36	18	7	20	10	4	0	77	3.8%
⑦ 無回答	38	26	14	12	22	11	4	1	76	3.8%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

→回答者（ご家族）に対する「声かけ」の主な相手（1つだけ）（「声かけ」の頻度が「⑤ない（又はほとんどない）」以外の方）（サンプル数：1,067/2,006）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活		中心	中心	中心				
		中活	郊外				中活			
① 近所の方	239	184	103	55	137	118	46	9	549	51.5%
② 自治会（町内会）の方	56	42	29	14	35	25	7	1	124	11.6%
③ 民生委員	26	22	8	4	11	7	1	1	46	4.3%
④ 別居の家族・親族	93	80	44	13	50	17	14	3	177	16.6%
⑤ その他	25	19	8	6	15	9	8	2	59	5.5%
⑥ 無回答	45	34	19	11	44	18	2	3	112	10.5%
合計	484	381	211	103	292	194	78	19	1,067	100.0%

「その他」の主な記述

- ・魚屋が車で来た時。近隣の顔合わせ。
- ・商売上の顧客、他。
- ・生保の担当の方。
- ・ヤクルトレディさん。
- ・マンション管理人。
- ・デイケアセンターのケアマネ等。
- ・ヘルパー。
- ・友達が2人3人話にきてくれる。

問3-2 回答者（ご家族）に対する「声かけ」の頻度（1つだけ）（世帯類型別）  
（サンプル数：2,001/2,007）

	一般世帯				独居高齢者世帯		県計	
			うちマンション世帯					
① 毎日（又はほぼ毎日）			324	17.8%			42	8.5%
② 主に平日	183	10.0%	23	4.7%	18	10.2%	201	10.0%
③ 主に週末	69	3.8%	18	3.7%	8	4.5%	77	3.8%
④ 月2～3日程度	275	15.1%	47	9.5%	48	27.3%	323	16.1%
⑤ ない（又はほとんどない）	843	46.2%	334	67.7%	15	8.5%	858	42.9%
⑥ その他	67	3.7%	14	2.8%	10	5.7%	77	3.8%
⑦ 無回答	64	3.5%	15	3.0%	12	6.8%	76	3.8%
合計	1,825	100.0%	493	100.0%	176	100.0%	2,001	100.0%

→回答者（ご家族）に対する「声かけ」の主な相手（1つだけ）（「声かけ」の頻度が「⑤ない（又はほとんどない）」以外の方）（世帯類型別）（サンプル数：1,067/2,006）

	一般世帯				独居高齢者世帯		県計	
			うちマンション世帯					
① 近所の方			493	53.7%			62	43.1%
② 自治会（町内会）の方	116	12.6%	10	6.9%	8	5.4%	124	11.6%
③ 民生委員	21	2.3%	6	4.2%	25	16.8%	46	4.3%
④ 別居の家族・親族	152	16.6%	33	22.9%	25	16.8%	177	16.6%
⑤ その他	48	5.2%	18	12.5%	11	7.4%	59	5.5%
⑥ 無回答	88	9.6%	15	10.4%	25	16.8%	113	10.6%
合計	918	100.0%	144	100.0%	149	100.0%	1,067	100.0%

## 4. 交通、買い物、通院

### （1）食料品や日用品の調達状況について

問4-1-1 食料品や日用品の主な調達者（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
		中心		郊外	中心	中心	中心			
			中活		中活					
① 世帯主	383	326	177	57	235	129	35	22	804	40.2%
② 世帯主の配偶者	482	346	229	136	264	131	58	5	940	47.0%
③ 世帯主の親	20	13	7	7	10	10	0	0	40	2.0%
④ 世帯主の子	60	50	31	10	13	17	12	0	102	5.1%
⑤ その他	43	35	20	8	23	13	7	4	90	4.5%
⑥ 無回答	14	7	3	7	6	3	0	2	25	1.2%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

「その他」の主な記述

・ヘルパーさん。

問４－１－２ その方の自動車運転免許の有無（１つだけ）（サンプル数：2,001／2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 持っている	670	487	302	183	348	167	81	16	1,282	64.1%
② 持っていない	314	280	161	34	198	132	29	17	690	34.5%
③ 無回答	18	10	4	8	5	4	2	0	29	1.4%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

問４－１－３ 昼食の準備状況（１つだけ）（サンプル数：2,001／2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 家で作る	798	605	358	193	419	255	100	20	1,592	79.6%
② 惣菜を買う	56	48	32	8	33	20	4	4	117	5.8%
③ 弁当を買う	38	35	21	3	32	8	2	1	81	4.0%
④ 外食する	45	39	29	6	32	7	4	3	91	4.5%
⑤ その他	48	39	21	9	27	11	2	5	93	4.6%
⑥ 無回答	17	11	6	6	8	2	0	0	27	1.3%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

問４－１－４ 夕食の準備状況（１つだけ）（サンプル数：2,001／2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 家で作る	882	674	400	208	480	270	108	25	1,765	88.2%
② 惣菜を買う	46	40	26	6	32	18	3	4	103	5.1%
③ 弁当を買う	21	20	15	1	15	4	0	2	42	2.1%
④ 外食する	7	7	4	0	8	2	0	1	18	0.9%
⑤ その他	29	25	17	4	8	7	1	0	45	2.2%
⑥ 無回答	17	11	5	6	8	2	0	1	28	1.4%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

問４－１－５ 買い物の頻度（１つだけ）（サンプル数：2,001／2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 毎日（又はほぼ毎日）	413	337	214	76	232	139	36	12	832	41.6%
② 週２～３日程度	446	338	197	108	246	132	62	13	899	44.9%
③ 週１回程度	116	80	46	36	61	24	11	3	215	10.7%
④ その他	12	10	6	2	9	2	2	0	25	1.2%
⑤ 無回答	15	12	4	3	3	6	1	5	30	1.5%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

問4-1-6 日常の買い物先（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 大規模店	145	115	78	30	105	11	15	3	279	13.9%
② ディスカウント店	26	15	7	11	21	8	6	2	63	3.1%
③ 近所のスーパー	769	599	360	170	398	263	81	22	1,533	76.6%
④ 近所のコンビニ	8	8	4	0	6	5	0	0	19	0.9%
⑤ 専門店	3	2	1	1	2	1	1	0	7	0.3%
⑥ 配送（又は移動販売）サービス	14	10	3	4	3	4	2	0	23	1.1%
⑦ その他	19	15	6	4	12	0	3	1	35	1.7%
⑧ 無回答	18	13	8	5	4	11	4	5	42	2.1%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

→家から買い物先までの距離（1つだけ）（日常の買い物先が「⑥配送（又は移動販売）サービス」以外の方）（サンプル数：1,936/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 500m以内	386	346	227	40	208	147	29	20	790	40.8%
② 1km以内	295	240	142	55	199	107	53	2	656	33.9%
③ 5km以内	212	131	65	81	121	24	18	3	378	19.5%
④ 5km以上	45	12	9	33	7	0	5	1	58	3.0%
⑤ 無回答	32	25	13	7	9	10	1	2	54	2.8%
合計	970	754	456	216	544	288	106	28	1,936	100.0%

→買い物に使う主な交通手段（1つだけ）（日常の買い物先が「⑥配送（又は移動販売）サービス」以外の方）（サンプル数：1,936/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 徒歩	288	247	164	41	144	99	20	12	563	29.1%
② 自転車	223	216	144	7	158	80	24	5	490	25.3%
③ バス	11	8	3	3	1	0	0	0	12	0.6%
④ タクシー	4	3	2	1	5	2	1	0	12	0.6%
⑤ バイク	3	3	1	0	1	0	2	0	6	0.3%
⑥ 車（自分で運転）	357	215	105	142	188	85	41	8	679	35.1%
⑦ 車（家族等が送迎）	54	36	22	18	32	16	16	0	118	6.1%
⑧ その他	14	11	7	3	9	4	1	2	30	1.5%
⑨ 無回答	16	15	8	1	6	2	1	1	26	1.3%
合計	970	754	456	216	544	288	106	28	1,936	100.0%

→買い物に使う主な交通手段（１つだけ）（日常の買い物先が「⑥配送（又は移動販売）サービス」以外の方）（世帯類型別）（サンプル数：1,935/2,007）

	一般世帯		独居高齢者世帯		県計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① 徒歩	481	27.2%	82	49.7%	563	29.1%
② 自転車	446	25.2%	44	26.7%	490	25.3%
③ バス	11	0.6%	1	0.6%	12	0.6%
④ タクシー	9	0.5%	3	1.8%	12	0.6%
⑤ バイク	6	0.3%	0	0.0%	6	0.3%
⑥ 車（自分で運転）	661	37.3%	18	10.9%	679	35.1%
⑦ 車（家族等が送迎）	110	6.2%	8	4.8%	118	6.1%
⑧ その他	23	1.3%	7	4.2%	30	1.6%
⑨ 無回答	23	1.3%	2	1.2%	25	1.3%
合計	1,770	100.0%	165	100.0%	1,935	100.0%

「その他」の主な記述

・ヘルパーに依頼。

→配送（又は移動販売）サービスの利用意向（１つだけ）（日常の買い物先が「⑥配送（又は移動販売）サービス」以外の方）（サンプル数：1,936/2,007）

	鳥取	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
		中心	中活	郊外	中心	中心	中心		人数	割合
					中活					
① あれば毎日利用する	14	9	7	5	7	3	1	0	25	1.3%
② あれば週に数日は利用する	63	45	23	18	34	26	7	3	133	6.9%
③ あればたまに利用する	210	160	90	50	111	53	29	5	408	21.1%
④ 使わない	463	365	228	98	280	149	50	16	958	49.5%
⑤ 分からない	186	146	95	40	97	44	16	3	346	17.9%
⑥ 無回答	34	29	13	5	15	13	3	1	66	3.4%
合計	970	754	456	216	544	288	106	28	1,936	100.0%

→配送（又は移動販売）サービスの利用意向（１つだけ）（日常の買い物先が「⑥配送（又は移動販売）サービス」以外の方）（世帯類型別）（サンプル数：1,935/2,007）

	一般世帯		独居高齢者世帯		県計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① あれば毎日利用する	22	1.2%	3	1.8%	25	1.3%
② あれば週に数日は利用する	115	6.5%	18	10.9%	133	6.9%
③ あればたまに利用する	363	20.5%	45	27.3%	408	21.1%
④ 使わない	888	50.2%	70	42.4%	958	49.5%
⑤ 分からない	324	18.3%	22	13.3%	346	17.9%
⑥ 無回答	58	3.3%	7	4.2%	65	3.4%
合計	1,770	100.0%	165	100.0%	1,935	100.0%



問4-1-7 そのお店を利用する理由（3つまで）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心		郊外	中心	中心	中心				
		中活		中活						
① そこに行けば買 い物が完結する から	495	393	243	102	278	127	60	11	971	25.9%
② 品揃えが豊富だ から	307	231	136	76	187	103	49	8	654	17.4%
③ 食材が豊富だ から	211	154	81	57	111	65	34	5	426	11.4%
④ 弁当が豊富だ から	7	7	4	0	4	0	0	0	11	0.3%
⑤ 安いから	161	128	71	33	109	55	21	4	350	9.3%
⑥ 早いから	23	16	12	7	7	9	2	2	43	1.1%
⑦ 近いから	524	414	258	110	275	177	33	18	1,027	27.4%
⑧ 顔なじみの店だ から	38	36	21	2	22	24	2	1	87	2.3%
⑨ 届けてくれて楽 だから	18	13	6	5	14	5	4	2	43	1.1%
⑩ その他	42	32	18	10	26	4	7	1	80	2.1%
⑪ 無回答	35	26	16	9	6	9	5	5	60	1.6%
合計	1,861	1,450	866	411	1,039	578	217	57	3,752	100.0%

「その他」の主な記述

- ・無農薬、減農薬、化学調味料無添加。
- ・選択の余地がないから。
- ・ポイントが貯まるから。
- ・深夜に営業しているから。

(2) 通院状況について

問4-2-1 医療機関の主な利用者（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心		郊外	中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 世帯主	556	443	263	113	297	195	66	27	1,141	57.0%
② 世帯主の配偶者	172	125	76	47	101	58	25	1	357	17.8%
③ 世帯主の親	77	62	35	15	59	20	6	0	162	8.1%
④ 世帯主の子	98	69	45	29	49	9	4	1	161	8.0%
⑤ その他	57	46	29	11	27	14	6	1	105	5.2%
⑥ 無回答	42	32	19	10	18	7	5	3	75	3.7%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

問4-2-2 その方の自動車運転免許の有無（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心		郊外	中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 持っている	475	336	206	139	259	139	60	11	944	47.2%
② 持っていない	479	403	237	76	269	152	49	19	968	48.4%
③ 無回答	48	38	24	10	23	12	3	3	89	4.4%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

問4-2-3 通院の頻度（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中活	中心	中心	中心			
		中活	郊外							
① 毎日（又はほぼ毎日）	6	4	2	2	4	1	1	0	12	0.6%
② 週2～3程度	33	31	17	2	24	13	2	2	74	3.7%
③ 週1日程度	59	47	24	12	37	19	13	2	130	6.5%
④ 月2～3日程度	399	307	184	92	231	114	49	11	804	40.2%
⑤ その他	437	334	210	103	223	139	42	16	857	42.8%
⑥ 無回答	68	54	30	14	32	17	5	2	124	6.2%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

→家から通院先までの距離（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中活	中心	中心	中心			
		中活	郊外							
① 500m以内	208	191	128	17	169	84	29	9	499	24.9%
② 1km以内	270	243	147	27	154	84	44	9	561	28.0%
③ 5km以内	331	233	129	98	157	82	15	6	591	29.5%
④ 5km以上	107	36	20	71	33	32	16	7	195	9.7%
⑤ 無回答	86	74	43	12	38	21	8	2	155	7.7%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

→通院に使う主な交通手段（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中活	中心	中心	中心			
		中活	郊外							
① 徒歩	202	186	128	16	134	78	17	10	441	22.0%
② 自転車	141	131	84	10	109	30	17	5	302	15.1%
③ バス	46	33	13	13	15	12	1	1	75	3.7%
④ タクシー	52	47	30	5	30	13	3	5	103	5.1%
⑤ バイク	5	5	4	0	4	1	2	0	12	0.6%
⑥ 車（自分で運転）	299	187	103	112	132	96	43	8	578	28.9%
⑦ 車（家族等が送迎）	158	108	63	50	76	40	20	1	295	14.7%
⑧ その他	21	15	5	6	10	11	2	0	44	2.2%
⑨ 無回答	78	65	37	13	41	22	7	3	151	7.5%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

「その他」の主な記述

- ・病院の送迎の車がくる
- ・介護タクシー
- ・福祉タクシー
- ・往診

### (3) バスについて

問4-3-1 バスを利用しない主な理由(3つまで) ( (1) (2) でバス以外の交通手段を利用の場合) (サンプル数: 1,993/2,007)

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 家からバス停までが遠い	75	67	23	8	58	15	9	2	159	5.4%
② 行きたい場所を通らない	200	167	94	33	141	33	21	2	397	13.5%
③ 乗り継ぎが面倒	113	78	46	35	49	19	7	2	190	6.5%
④ 本数が少ない	260	149	84	111	121	56	22	4	463	15.8%
⑤ 時間がかかる	193	142	81	51	112	38	31	3	377	12.8%
⑥ 交通費が高い	111	53	28	58	42	25	4	1	183	6.2%
⑦ 混雑で座れない	1	1	1	0	2	0	0	0	3	0.1%
⑧ 体力がない	32	25	11	7	13	7	2	1	55	1.9%
⑨ 体が不自由で、そもそもバスに乗れない	37	32	22	5	22	18	6	1	84	2.9%
⑩ その他	177	159	107	18	115	60	28	12	392	13.4%
⑪ 無回答	302	244	150	58	155	130	31	13	631	21.5%
合計	1,501	1,117	647	384	830	401	161	41	2,934	100.0%

#### 「その他」の主な記述

- ・路線がわからない。
- ・マイカーが便利。
- ・勝手気ままに行動したいから。
- ・荷物を持つ事が大変なため。
- ・利便性がない。
- ・自分の行きたい時間に行くから。
- ・めんどう。
- ・循環バスが一方通行で少し不便。
- ・荷物が重い。
- ・自分で車を運転できるから。
- ・時間に左右される。忙しので無理。
- ・徒歩でいける距離だから。

→最寄りのバス停までの距離(1つだけ) (バスを利用しない主な理由が「①家からバス停までが遠い」の場合) (サンプル数: 159/2,007)

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 500m以内	28	26	8	2	16	5	3	2	54	34.0%
② 1km以内	28	25	6	3	21	6	1	0	56	35.2%
③ 1km以上	9	7	4	2	10	1	1	0	21	13.2%
④ 無回答	10	9	5	1	11	3	4	0	28	17.6%
合計	75	67	23	8	58	15	9	2	159	100.0%

## 5. コミュニティ

### (1) 近所付き合いの状況/マンション等の中でのお付き合いの状況

問5-1-1 日常の近所付き合い(マンション等の中でのお付き合い) (いくつでも)

(サンプル数: 2,000/2,007)

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 飲食(一緒に食事に行くなど)	55	39	17	16	23	25	8	1	112	4.1%
② 子育て(子どもが同じ学校に通っているなど)	56	37	28	19	31	5	1	0	93	3.4%
③ 簡単な頼みごとや物の貸し借り	65	44	20	21	50	36	14	2	167	6.1%
④ 立ち話や情報交換	358	269	156	89	211	128	59	12	768	28.1%
⑤ 挨拶程度	570	450	277	120	304	142	44	18	1,078	39.5%
⑥ ほとんどない	126	103	66	23	75	26	5	3	235	8.6%
⑦ その他	34	24	13	10	11	9	5	2	61	2.2%
⑧ 無回答	100	71	40	29	52	40	17	6	215	7.9%
合計	1,364	1,037	617	327	757	411	153	44	2,729	100.0%

問5-1-1 日常の近所付き合い(マンション等の中でのお付き合い) (世帯類型別) (いくつでも) (サンプル数: 2,000/2,007)

	一般世帯				独居高齢者世帯		県計	
			うちマンション世帯					
① 飲食(一緒に食事に行くなど)	92	5.0%	14	2.1%	20	11.4%	112	5.6%
② 子育て(子どもが同じ学校に通っているなど)	93	5.1%	38	5.8%	0	0.0%	93	4.6%
③ 簡単な頼みごとや物の貸し借り	139	7.6%	24	3.6%	28	15.9%	167	8.3%
④ 立ち話や情報交換	671	36.8%	128	19.4%	98	55.7%	769	38.4%
⑤ 挨拶程度	1,013	55.5%	316	47.9%	64	36.4%	1,077	53.8%
⑥ ほとんどない	229	12.5%	124	18.8%	6	3.4%	235	11.7%
⑦ その他	50	2.7%	9	1.4%	11	6.3%	61	3.0%
⑧ 無回答	189	10.4%	7	1.1%	26	14.8%	215	10.7%
合計	2,476	100.0%	660	100.0%	253	100.0%	2,729	100.0%

問5-1-2 日常的な憩いの場の有無(1つだけ) (サンプル数: 2,001/2,006)

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① ある	275	212	119	63	157	114	41	10	597	29.8%
② ない	656	513	317	143	357	152	58	17	1240	62.0%
③ 無回答	71	52	31	19	37	37	13	6	164	8.2%
合計	1002	777	467	225	551	303	112	33	2001	100.0%

「ある」の主な記述

・公民館 ・自宅や友人宅 ・喫茶店 ・公園 ・商店街の中の休憩所など ・碁会所  
 ・ゲートボール ・カラオケ ・自分の店舗 ・スポーツセンター ・笑い庵  
 ・町内会館 ・居酒屋 ・子育てサークル

問5-1-3 マンション等総会への参加状況（1つだけ）（マンション等世帯のみ）  
（サンプル数：493/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活		中心	中心	中心				
		中活	郊外							
① ほぼ毎回参加	62	62	38	0	44	4	0	1	111	22.5%
② 時々参加	48	48	34	0	31	1	1	0	81	16.4%
③ あまり参加しない	34	33	26	1	20	0	0	1	55	11.2%
④ 参加していない	58	52	37	6	30	1	1	3	93	18.9%
⑤ そもそも総会がない	58	51	30	7	46	10	5	1	120	24.3%
⑥ 無回答	17	14	6	3	12	2	1	1	33	6.7%
合計	277	260	171	17	183	18	8	7	493	100.0%

問5-1-4 マンション内での付き合いのあり方（1つだけ）（マンション等世帯のみ）  
（サンプル数：493/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活		中心	中心	中心				
		中活	郊外							
① 大いにあった方がよい	14	14	10	0	11	1	0	1	27	5.5%
② 多少はあった方がよい	158	153	103	5	109	9	5	3	284	57.6%
③ 必要ない	67	61	39	6	45	5	2	2	121	24.5%
④ 無回答	38	32	19	6	18	3	1	1	61	12.4%
合計	277	260	171	17	183	18	8	7	493	100.0%

「大いにあった方がよい」「多少はあった方がよい」の主な理由

<ul style="list-style-type: none"> <li>・一体感のある人間関係が災害時に不可欠。</li> <li>・トラブル防止。</li> <li>・災害時の助け合い防犯のため。地域の課題を共有して解決していくために。</li> <li>・どの様な方々が住んでおられるのか、全くわからないのも怖いから。</li> <li>・親しくなれば生活上のトラブルも少なくなると思う。</li> <li>・声をかけたりかけられたりすることで万一の場合に助け合う事ができると思う。</li> <li>・町内のこと（行事等まつり、防災）がわからないから。井の中のかかわづになるから。</li> <li>・孤独死がなくなる。</li> <li>・あまりプライバシーに立ち入らない程度に。災害時に顔と部屋番号が分かった方がよい。総会にはその年度の役員しか出席されない。</li> <li>・あったほうが良いとは思いますが、束縛されたくないし面倒だ。</li> <li>・わずらわしくない程度に深入りしない様に浅く広く。近所の町内会に入れてくれない。</li> <li>・どんな人が住んでいるのか知らないのも、なにかあった時に困るのではと思う。</li> <li>・高齢者独居の方が増えてきて助け合いが必要だが、密接しすぎるのもわずらわしい。高齢者や認知症の方は声掛けは必要である。</li> <li>・どんな人がいるかまったくわからず、何だかこわい！</li> <li>・どのような人が居住しているのか少しは知っていた方がよい。但しプライベートな空間なので、多すぎる関与は煩わしくなる。適度な間隔がある程度必要。</li> <li>・一人暮らしのお年寄りが多ので、いつも見かける時間にみかけないと不安になる。</li> </ul>
--

「必要ない」の主な理由

<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係がめんどくさい。</li> <li>・トラブルに巻き込まれたくない。</li> <li>・特に深入りしたくない。</li> <li>・いろいろな考え方がるので、合う人と話をすればいいと思います。</li> <li>・近所付き合いをしなくて良いからマンションを選んでいる。</li> </ul>
--

- ・人それぞれ違うと思うが、地域づきあいがわずらわしい人もいるかもしれない。無理に交流する機会を作らなくても必要な人は必要な人同士集まると思う。
- ・プライベートを確保したいから。但し災害時は別。
- ・おばさんが噂話をするから。
- ・マンションってそういうもんじゃない？
- ・あれこれ詮索されるのが苦手だから。必要最低限でよい。
- ・非常時（災害）等の助け合いはするが、その他は面倒です。
- ・マンションに居住した理由だから。

**（２）「地縁型コミュニティ」（地域の自治会（町内会）単位を基本としたコミュニティ）への参加状況**

**問５－２－１ 自治会（町内会）加入状況（１つだけ）（サンプル数：2,002／2,007）**

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 加入している	700	508	301	192	404	249	94	23	1,470	73.4%
② 加入していない	221	209	134	12	108	21	9	4	363	18.1%
③ 無回答	82	61	33	21	39	33	9	6	169	8.4%
合計	1,003	778	468	225	551	303	112	33	2,002	100.0%

**問５－２－１ 自治会（町内会）加入状況（１つだけ）（世帯類型別）（サンプル数：2,002／2,007）**

	全世帯			
			うちマンション世帯	
① 加入している	1,470	73.4%	186	37.7%
② 加入していない	363	18.1%	287	58.2%
③ 無回答	169	8.4%	20	4.1%
合計	2,002	100.0%	493	100.0%

**問５－２－２ 最も参加している地域活動（１つだけ）（サンプル数：2,002／2,007）**

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 自治会（町内会）などの会合	256	199	115	57	146	127	53	8	590	29.5%
② 防犯、防災に関する活動	20	19	15	1	5	6	3	0	34	1.7%
③ 清掃活動	192	105	53	87	103	39	7	4	345	17.2%
④ 高齢者や高齢者のいる世帯を対象にした活動	33	25	13	8	7	10	0	1	51	2.5%
⑤ 子供や子育て世帯を対象とした活動	20	14	9	6	17	1	5	0	43	2.1%
⑥ お祭り、イベント	32	25	17	7	26	12	1	1	72	3.6%
⑦ 親睦活動（団体旅行、懇親会）	27	19	9	8	9	11	3	0	50	2.5%
⑧ その他	19	18	8	1	2	5	3	1	30	1.5%
⑨ 特に参加していない	320	290	192	30	195	62	30	10	617	30.8%
⑩ 無回答	84	64	37	20	41	29	7	8	169	8.4%
合計	1,003	778	468	225	551	302	112	33	2,001	100.0%

→活動頻度（最も参加している地域活動が「⑨特に参加していない」以外の方）  
（サンプル数：1,215/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心		郊外	中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 毎日（又はほぼ毎日）	3	2	0	1	3	2	1	0	9	0.7%
② 主に平日	7	7	5	0	5	3	0	0	15	1.2%
③ 主に週末	10	6	5	4	3	1	2	0	16	1.3%
④ 月に2～3日程度	69	51	30	18	26	32	7	0	134	11.0%
⑤ 半年に1回程度	155	105	60	50	98	47	13	2	315	25.9%
⑥ 年に1回程度	44	35	22	9	32	14	16	2	108	8.9%
⑦ その他	47	41	17	6	15	18	2	1	83	6.8%
⑧ 無回答	264	177	100	87	133	94	34	10	535	44.0%
合計	599	424	239	175	315	211	75	15	1,215	100.0%

→最も参加している地域活動が「⑨特に参加していない」の場合の理由（3つまで）  
（サンプル数：618/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心		郊外	中心	中心	中心				
		中活		中活						
① どこに相談や申し込みをしていか分からないから	22	21	16	1	11	3	0	0	36	4.1%
② 声がかからないから	91	86	64	5	55	13	3	0	162	18.3%
③ 体力に自信がないから	51	43	25	8	38	18	9	2	118	13.3%
④ 負担が大きい（義務感がある）から	47	43	33	4	23	9	2	2	83	9.4%
⑤ 時間を束縛されたくないから	107	100	63	7	54	15	6	1	183	20.6%
⑥ 面倒だから	85	76	45	9	53	19	5	4	166	18.7%
⑦ その他	47	41	29	6	40	7	10	2	106	12.0%
⑧ 無回答	16	15	12	1	6	6	4	1	33	3.7%
合計	466	425	287	41	280	90	39	12	887	100.0%

「その他」の主な記述

<ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこを吸う人がいる場所には行かない。</li> <li>・仕事をしているので、休日くらいは自分の時間を持ちたい。</li> <li>・仕事の関係上、時間が合わない。</li> <li>・参加するチャンスが無い。</li> <li>・私が県外の人間、つまり米子の人間ではない事で地域の方に差別的な言動を受けました。つまらん事です。無視される事もあります。</li> <li>・風土があわない。</li> <li>・何を何時、どこでやっているか長期的なスケジュールなどが不明。</li> <li>・地域でマンション居住者が心良く受け入れられないか。</li> <li>・人に干渉されたくない！！</li> <li>・高年齢だから。</li> <li>・マンションは町内会に加入していなくて、公民館活動等全く情報が入ってこない。</li> </ul>
---

問5-2-3 マンション外の近隣住民との付き合いのあり方（1つだけ）（マンション等世帯のみ）  
（サンプル数：493/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 大いにあった方がよい	12	11	8	1	11	1	0	1	25	5.1%
② 多少はあった方がよい	130	128	91	2	96	5	4	2	237	48.1%
③ 必要ない	92	84	51	8	57	9	3	3	164	33.3%
④ 無回答	43	37	21	6	19	3	1	1	67	13.6%
合計	277	260	171	17	183	18	8	7	493	100.0%

「大いにあった方がよい」「多少はあった方がよい」の主な理由

- ・まちの環境のレベルアップ。住みやすいまちにするには住まいの種類によらず住民全体のコミュニケーションが第一歩として不可欠。
- ・顔見知りになった方が気持ち豊かになる。
- ・地域の助け合いの為。
- ・子育て世代にとって地域の方々との交流が大切と考えるから。
- ・マンション内だけでは視野が狭くなる。
- ・生活を豊かにするだけでなく防災という観点からも。
- ・地域の情報。動きが判る。
- ・家にとじこもらない為。
- ・緊急連絡網は、特定だけでなくある程度オープンにするべき。
- ・近所にどのような建物（例えば災害時の避難所など）があるのか分かりづらいから。
- ・駐車場の問題とかゴミの不法投棄とか、自分のマンションはきちんと対応していても時々マナーを守らない人がいたりするのでいい。（無断の路上駐車問題含む）  
よその子供達の駐車場で危険なボール遊びなど、地域の対応が必要。
- ・いろんな情報を得られるし、交流することで皆が楽しく暮らせる。
- ・マンションは町内の一部であり、当然町内の事にも関心を持ち、町内の一員として生活すべきだと思います。
- ・私は数人の方とお付き合いをしています。親戚からの頂き物をさし上げたり、山菜を採ってきてあげます。大喜びされます。また来年も欲しいと言われます。その他お茶を頂いたりです。
- ・現在子育て中なので、子供同士を遊ばせたり親同士の情報交換をしたい。
- ・マンション内だけでは、なにかあった時孤立してしまう。

「必要ない」の主な理由

- ・ほとんど別の地区（職場、実家）ですごしている。そちらの近所付き合いの方を大切に思っている。
- ・自分の家を持っている人は高ぶっています。自分の家のある人はマンション等の人を見下していると思うことが見てわかるので、そこまでして付き合いなくてもいいと思います。
- ・近所付き合いする必要性を感じない。
- ・考えが違う。
- ・口の軽い人がいるから。
- ・意味もなく人の噂話にかかわりたくない。
- ・だってマンションだもの。
- ・今まで、雪かきでも嫌がらせのようにうちの前に集められたり、県外ナンバーの車に乗っていると暴言を受けるなど嫌な思いばかりしているから。
- ・割とかかわりたくない人がマンション住民に多いので、かえって近隣の自治会の方に迷惑をかけるような気がします。
- ・外様に厳しい古い考えの人が多いたるところだから。



問5-3-1 最も参加されている活動（1つだけ）（サンプル数：2,002/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 外国語・国際交流	6	5	3	1	6	2	2	0	16	0.8%
② 絵画	11	11	9	0	5	3	0	1	20	1.0%
③ 音楽	20	20	12	0	14	11	3	2	50	2.5%
④ 舞踏・ダンス	12	10	5	2	9	1	3	0	25	1.2%
⑤ スポーツ	109	85	54	24	76	39	14	0	238	11.9%
⑥ その他	74	64	32	10	39	21	14	1	149	7.4%
⑦ 特に参加していない	633	485	294	148	332	158	59	20	1,202	60.0%
⑧ 無回答	138	98	59	40	70	68	17	9	302	15.1%
合計	1,003	778	468	225	551	303	112	33	2,002	100.0%

「その他」の主な記述

・書道教室	・陶芸	・ゴミ収集、川掃除等	・短歌の会	・図書館、囲碁	・俳句
・カラオケ	・グランドゴルフ	・パソコン教室	・山歩きをしている	・市民大学	
・園芸	・華道	・和裁	・認知症予防教室	・ラジオ体操	

→活動頻度（最も参加している活動が「⑦特に参加していない」以外の方）（サンプル数：498/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 毎日（又はほぼ毎日）	10	7	4	3	4	7	0	0	21	4.2%
② 主に平日	21	20	13	1	26	10	4	0	61	12.2%
③ 主に週末	15	13	11	2	16	5	2	0	38	7.6%
④ 月に2～3日程度	53	45	24	8	26	14	11	1	105	21.1%
⑤ 半年に1回程度	9	8	2	1	13	3	0	0	25	5.0%
⑥ 年に1回程度	5	4	2	1	1	1	0	0	7	1.4%
⑦ その他	28	24	12	4	11	7	7	0	53	10.6%
⑧ 無回答	91	74	47	17	52	30	12	3	188	37.8%
合計	232	195	115	37	149	77	36	4	498	100.0%

## 6. 居住に関する今後の意向

問6-1 今後の居住意向（1つだけ）（サンプル数：2,001/2,006）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 住み続けたい	674	516	308	158	363	230	86	21	1,374	68.7%
② いずれは転居したい	115	98	60	17	79	17	14	0	225	11.2%
③ 分からない	185	142	87	43	94	43	10	7	339	16.9%
④ 無回答	28	21	12	7	15	13	2	5	63	3.1%
合計	1,002	777	467	225	551	303	112	33	2,001	100.0%

→転居のきっかけ（1つだけ）（今後の居住意向が「②いずれは転居したい」の場合）  
（サンプル数：225/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① あなたの結婚	5	5	2	0	8	0	0	0	13	5.8%
② あなた（又は配偶者）の出産	2	2	1	0	0	1	0	0	3	1.3%
③ あなた（又は配偶者）の復職（就職）	2	1	0	1	7	0	0	0	9	4.0%
④ あなた（又は配偶者）の退職	22	20	16	2	13	2	3	0	40	17.8%
⑤ あなた（又は配偶者）の健康状態の変化	17	12	8	5	6	6	3	0	32	14.2%
⑥ 親の健康状態の変化	18	16	8	2	6	1	1	0	26	11.6%
⑦ その他	42	36	21	6	37	5	7	0	91	40.4%
⑧ 無回答	7	6	4	1	2	2	0	0	11	4.9%
合計	115	98	60	17	79	17	14	0	225	100.0%

### 「その他」の主な記述

- ・自然環境の良いところへ行きたい。
- ・子供の成長にそって。
- ・今は借地なので土地付きの家に越したい。
- ・近所の人と付き合いたくないため。
- ・転勤、定年時には生地に帰りたから。
- ・老後は今の場所では除雪も入らないし、買い物も遠くて生活が不便。
- ・子供の転居等。
- ・退職したら地元に戻る。
- ・家が古いのでどこまでもつか…
- ・今の住居は狭いため転居を考え中。
- ・退職と県内人口の減少に伴い、生活に便利な都会（首都圏）、医療事情の良い地域（都会）へ行きたいから。
- ・小学校入学前に。
- ・経済的なことと仕事が変わったとき。
- ・他に良い所が見つければ。
- ・跡継ぎに実家へ。
- ・将来的には妻の実家の方へ移住予定（県外）。
- ・一人暮らしなので、いずれ転居を考えている。
- ・周りの環境が良くないので静かな所へ転居したい。

→転居先（１つだけ）（今後の居住意向が「②いずれは転居したい」の場合）（サンプル数：225／2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 同じ敷地内（又は建物）	1	1	1	0	1	1	0	0	3	1.3%
② 家から500m以内	5	5	3	0	5	1	1	0	12	5.3%
③ 家から1km以内	4	4	2	0	4	1	0	0	9	4.0%
④ 市内（中心市街地）	25	18	7	7	13	2	2	0	42	18.7%
⑤ 市内（郊外）	22	20	16	2	14	5	1	0	42	18.7%
⑥ 市外	10	8	3	2	9	0	1	0	20	8.9%
⑦ 県外	35	33	23	2	21	4	4	0	64	28.4%
⑧ その他	10	7	4	3	9	2	5	0	26	11.6%
⑨ 無回答	3	2	1	1	3	1	0	0	7	3.1%
合計	115	98	60	17	79	17	14	0	225	100.0%

「県外」の主な記述

・生まれ故郷に帰る ・子供の進学又は仕事先

→転居時期（１つだけ）（今後の居住意向が「②いずれは転居したい」の場合）  
（サンプル数：225／2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 5年以内に	52	45	29	7	36	5	7	0	100	44.4%
② 10年以内に	13	11	9	2	12	3	1	0	29	12.9%
③ 20年以内に	6	5	5	1	4	0	0	0	10	4.4%
④ 20年以上先	4	3	3	1	1	0	1	0	6	2.7%
⑤ 分からない	40	34	14	6	25	6	5	0	76	33.8%
⑥ 無回答	0	0	0	0	1	3	0	0	4	1.8%
合計	115	98	60	17	79	17	14	0	225	100.0%

→転居先は、親が住んでいる（住んでいた）住居か（１つだけ）（今後の居住意向が「②いずれは転居したい」で、今現在、親と別居の場合）（サンプル数：225／2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 親が住んでいる（住んでいた）住居である	20	15	10	5	11	1	1	0	33	14.7%
② 親が住んでいる（住んでいた）住居ではない	52	46	25	6	38	5	6	0	101	44.9%
③ 無回答	43	37	25	6	30	11	7	0	91	40.4%
合計	115	98	60	17	79	17	14	0	225	100.0%

問6-1 今後の居住意向（１つだけ）（世帯類型別）（サンプル数：1,999／2,007）

	一般世帯				独居高齢者世帯		県 計	
			うちマンション世帯					
① 住み続けたい	1,222	67.0%	224	45.4%	150	85.2%	1,372	68.6%
② いずれは転居したい	222	12.2%	127	25.8%	3	1.7%	225	11.3%
③ 分からない	324	17.8%	133	27.0%	15	8.5%	339	17.0%
④ 無回答	55	3.0%	9	1.8%	8	4.5%	63	3.2%
合計	1,823	100.0%	493	100.0%	176	100.0%	1,999	100.0%

問6-2 居住環境として優先する条件（3つまで）（サンプル数：2,002/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 職場の近くであること	126	108	62	18	74	20	10	3	233	4.7%
② 公共交通の便が良いこと	328	283	181	45	204	84	17	7	640	12.8%
③ 駅（郊外駅を含む）が近いこと	114	94	65	20	50	3	5	2	174	3.5%
④ 食料品や日用品のお店が近いこと	538	445	270	93	338	192	52	17	1,137	22.7%
⑤ 医療機関が近いこと	365	306	185	59	248	134	31	12	790	15.8%
⑥ 静かであること	189	132	63	57	75	44	24	9	341	6.8%
⑦ 教育環境が良いこと	65	53	29	12	25	8	4	1	103	2.1%
⑧ 自然環境が良いこと	141	76	33	65	34	46	23	1	245	4.9%
⑨ 庭や家庭菜園を持てること	37	17	8	20	16	14	7	1	75	1.5%
⑩ （少々まちの外れであっても）まとまった土地を確保できること	7	3	2	4	4	2	1	0	14	0.3%
⑪ マンション等のように、家の管理が容易であること	80	75	51	5	37	7	2	4	130	2.6%
⑫ 地価が高くないこと	13	7	3	6	6	5	5	1	30	0.6%
⑬ 親世帯又は子世帯と同居できること	43	34	23	9	22	6	10	1	82	1.6%
⑭ 親世帯又は子世帯の住居に近いこと（又は往来が楽であること）	58	44	30	14	38	11	11	2	120	2.4%
⑮ 住民同士の助け合いなど、人間関係が良いこと	152	110	63	42	79	54	28	8	321	6.4%
⑯ 人間関係に束縛されず、自由気ままに暮らせること	136	94	59	42	76	38	19	7	276	5.5%
⑰ その他	27	21	13	6	9	6	3	0	45	0.9%
⑱ 無回答	116	85	48	31	54	55	16	6	247	4.9%
合計	2,535	1,987	1,188	548	1,389	729	268	82	5,003	100.0%

「その他」の主な記述

- ・家賃が安い事。
- ・山陰道などへすぐに入れる所。
- ・代々、住み慣れた土地。
- ・山陽側に住みたい。雪の降らない所。
- ・ペットが飼えること。
- ・道路事情が良い事。
- ・ピアノが置ける。ひける。

- ・民生委員を頼りにしている。
- ・飲み屋街が近い。
- ・新幹線がとっている地域。
- ・市役所等公共機関が近い。学校が近い。

問 6-2 居住環境として優先する条件（3つまで）（世帯類型別）（サンプル数：2,002/2,007）

	一般世帯				独居高齢者世帯		県 計	
			うち 44 歳以下世帯主世帯					
① 職場の近くであること	233	5.1%	86	14.6%	0	0.0%	233	4.7%
② 公共交通の便が良いこと	584	12.8%	79	13.4%	57	13.4%	641	12.8%
③ 駅（郊外駅を含む）が近いこと	163	3.6%	21	3.6%	11	2.6%	174	3.5%
④ 食料品や日用品のお店が近いこと	1,036	22.6%	107	18.2%	100	23.5%	1,136	22.7%
⑤ 医療機関が近いこと	706	15.4%	30	5.1%	83	19.5%	789	15.8%
⑥ 静かであること	313	6.8%	41	7.0%	28	6.6%	341	6.8%
⑦ 教育環境が良いこと	101	2.2%	46	7.8%	2	0.5%	103	2.1%
⑧ 自然環境が良いこと	224	4.9%	27	4.6%	19	4.5%	243	4.9%
⑨ 庭や家庭菜園を持てること	68	1.5%	8	1.4%	8	1.9%	76	1.5%
⑩ （少々まちの外れであっても）まとまった土地を確保できること	15	0.3%	5	0.9%	0	0.0%	15	0.3%
⑪ マンション等のように、家の管理が容易であること	127	2.8%	16	2.7%	3	0.7%	130	2.6%
⑫ 地価が高くないこと	30	0.7%	13	2.2%	0	0.0%	30	0.6%
⑬ 親世帯又は子世帯と同居できること	82	1.8%	8	1.4%	0	0.0%	82	1.6%
⑭ 親世帯又は子世帯の住居に近いこと（又は往来が楽であること）	113	2.5%	28	4.8%	7	1.6%	120	2.4%
⑮ 住民同士の助け合いなど、人間関係が良いこと	267	5.8%	22	3.7%	53	12.5%	320	6.4%
⑯ 人間関係に束縛されず、自由気ままに暮らせること	255	5.6%	39	6.6%	21	4.9%	276	5.5%
⑰ その他	40	0.9%	7	1.2%	5	1.2%	45	0.9%
⑱ 無回答	219	4.8%	5	0.9%	28	6.6%	247	4.9%
合計	4,576	100.0%	588	100.0%	425	100.0%	5,001	100.0%

## 7. 困りごと、不安 ※65歳以上の独居高齢者世帯のみ

問7-1 現在、日常生活で困っていること（3つまで）（サンプル数：176/2,006）

	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計		
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 買い物	4	3	0	1	5	4	0	13	4.4%	
② 食事の準備や片付け	4	4	0	0	4	1	0	9	3.1%	
③ トイレ	1	1	0	0	0	0	0	1	0.3%	
④ 風呂	0	0	0	0	3	0	0	3	1.0%	
⑤ 洗濯	1	1	0	0	0	0	0	1	0.3%	
⑥ 掃除	3	3	0	0	0	0	0	1	1.4%	
⑦ ゴミ出し	4	2	0	2	2	2	0	8	2.7%	
⑧ 電球の取替え	10	9	0	1	4	7	3	1	25	8.5%
⑨ 草むしり	10	6	0	4	8	3	2	1	24	8.2%
⑩ 庭木せん定	9	6	0	3	10	2	1	0	22	7.5%
⑪ 雪かき	26	21	0	5	13	10	5	4	58	19.8%
⑫ 通院	3	3	0	0	0	3	0	0	6	2.0%
⑬ 銀行での手続き	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0.7%
⑭ 郵便局での手続き	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0.3%
⑮ 役所での諸手続き	5	5	0	0	2	2	0	0	9	3.1%
⑯ 外出する方法がない	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.3%
⑰ 話し相手がない	5	3	0	2	5	0	0	0	10	3.4%
⑱ 特にない	25	19	0	6	14	5	6	6	56	19.1%
⑲ その他	9	8	0	1	3	4	3	1	20	6.8%
⑳ 無回答	9	4	0	5	7	2	0	2	20	6.8%
合計	130	99	0	31	81	46	20	16	293	100.0%

問7-2 将来に向けて、日頃不安に感じていること（3つまで）（サンプル数：176/2,007）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 災害への不安	31	26	0	5	20	9	2	3	65	17.4%
② 犯罪への不安	8	5	0	3	6	1	1	1	17	4.5%
③ 要介護状態への不安	32	24	0	8	16	9	5	3	65	17.4%
④ 認知症への不安	32	23	0	9	17	7	7	3	66	17.6%
⑤ 医療や福祉サービスを利用する際の費用に対する不安	11	9	0	2	10	6	1	1	29	7.8%
⑥ 病気になり自宅で暮らせなくなることへの不安	35	27	0	8	28	16	3	3	85	22.7%
⑦ 悩みを相談できる相手がいない（少ない）ことへの不安	1	1	0	0	1	1	0	0	3	0.8%
⑧ ひとりぼっちになることへの不安	6	4	0	2	2	1	0	0	9	2.4%
⑨ 引きこもりになりことへの不安	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.3%
⑩ 特にない	11	7	0	4	1	4	4	4	24	6.4%
⑪ その他	2	1	0	1	1	0	1	0	4	1.1%
⑫ 無回答	2	2	0	0	3	0	0	1	6	1.6%
合計	171	129	0	42	105	55	24	19	374	100.0%

「その他」の主な記述

- ・どうすれば近所の方々や子供に迷惑を掛けないで死ぬるか。
- ・娘孫達の育った懐かしい家を守りたいが、どうしたら良い？

問7-3 地域で不足しているサービス・取り組みで何か必要なもの

- ・もう少し公共機関が近いほうが良い、日常必要とする買い物できる店が近いほうが良い。
- ・町内に集会場がなく地域の人とふれあう場がない。公民館には行きにくい。もっと身近な場所がほしい。
- ・独居老人の除雪作業。手の届かない所の掃除（照明器具エアコン等）。
- ・空家を利用してでも町内会に憩う場所（公民館ではなく）がほしい。
- ・プライベートな部分に触れない様にするあまり、付き合いが薄っぺらになりがち。個人情報保護法への配慮が強く求められ、かえってそこなわれる交流がある。
- ・高齢者に対する日々の見守りの充実。
- ・近所に集まれる所（サロン）は必要だと思う。特に一人暮らしの人は孤独になるので人とふれあいたい。
- ・一番お願いしたいことは冬の雪かきです。無理をしたりすると寝込む不安があります。なんとか除雪をおねがいしたいです。

## 8. その他自由意見

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内は余り若い人がいませんので、本当に元気がありません。何か良い方法はないものかと思えます。民生委員の方は弱者の方しか訪問はされないんですか。昔は町内婦人会があり行事もあって時々集まることもありましたが、今はありません。地域の民生委員さんが月一でも良い、世間話やら生活の知恵でも良い、集まって話でもして頂けないものですか。</li> <li>・災害時の安全な避難場所や経路等に関する情報が的確に得られるかどうか。他県では遊学就職している若い世代を帰郷させたいが”はたらく場”がないので諦めざるを得ないと嘆いている熟年を多く見聞している。あちこちのハコモノをストップして、若者、中年の雇用につながるまちおこし、企業誘致などを積極的にすすめる市制をお願いしたい。強く要望します。</li> <li>・以前は各町内にあった日用品が買える店がなくなり、全て郊外の大店舗に行かねばならなくなりました。せめて自転車で行ける所の店を補助してください。県庁所在地として情けないと思いませんか？</li> <li>・空家が多く、防犯上問題点もあり、行政の確認調査を実施し、地域に応じた対策指導方を願いたい。地域役員（町内会長等）の高齢化により「向こう三軒両隣り」の把握が出来て無い等、いざという時（地震、火災、台風、大雨等）の密な連携について責任者の明確化に取組んで欲しい（「声掛け班長」制度など）。小中学校生の登下校時における”見守り隊”に対する行政の予算化等、積極的なやる気を持たせる取組みをお願いしたい。</li> <li>・子供達が帰ってきたいと思えるまちでなければ高齢化や人口減少は防ぐことができないと感じます。もっと若い世代の意見を取り入れて魅力ある鳥取県にしてほしい。働く場所もなければ外に出た子供達は帰ってくることはないと思います。もっと危機感をもってまちづくりを考えてほしいです。</li> <li>・マンションは特に、子供をとおして等のきっかけがなければ人の家に行ったりはほとんどない。個人情報とやらで、他人にかかわるのを遠慮する傾向がある。一方声掛けをわずらわしいと思う人も多いのか挨拶だけに終わることも多い。</li> <li>・マンション居住者に対しても自治会や婦人会等地域コミュニティへの呼びかけをしてはどうか。今の所そのような活動への参加の呼びかけが全くない。一から新しいこととするよりも既にある団体や地域の組織を利用し、若い人、単身者等を呼び込むことに力を入れた方が効果的ではないかと思う。例えばPTAの廃品回収、自治会の清掃活動、婦人会のイベントなどに、子供のいない単身者や夫婦も参加しやすい情報網を作る等。</li> <li>・地域で回覧されるものの中で不必要と思われる書類が大変に多いよう感じますがいかがでしょうか。（町内の役員さんも忙しいのでは。）</li> <li>・防災無線の放送が何重にも重なり合ってひびき、何の放送か聞き取りにくい。もし本当の災害の場合の放送でも何を放送しておられるのか聞き取れない場合不安なので、防災無線の役目が何とかならないものか？</li> <li>・社会の流れは人の高齢化。当然独居老人が増加する。私も含めこの老人達の生活、生きている確保が保障されないと地域も社会も体をなさなくなる。ひとつ町内域でもどこの誰さんが高齢でどういう状態なのか、個人情報が非公示で町内会でも把握出来なければ災害時の対応をはじめ日頃の声かけも難しく、ご本人にとっては生活出来ない町内会となろう。もっと人間関係の基本的な情報をゆるやかに共有出来るようにすることがコミュニティの出発点ではなからうか。</li> <li>・大雪対策！！今後ますます高齢化が進み、除雪など到底無理（とくに路地）。この路地が確保されないと日常生活は甚だ困難になる。ましてや空家も多くなり、一カ所ストップするとたちまち通行不能。これを町内でとか個人で・・・と要請の回覧がまわって来ても、とても出来ない。ゴミ捨てさえ難しい。何らかの対策を考えて下さい。</li> </ul>
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の段階では、地域の住民でその地区の種々のお世話をしているのが現状です。それもすべてボランティア精神によってのみです。これから10年後～20年後には他人のことは全然見向きもしない時代がやって来ます。近所の方々たちと仲良くすることも不自由な事は手伝ってあげることも、ボランティアの心を持つ人が少なくなることでより人情が希薄になり、自分の時間（老人になってからの余暇）はすべて自分の時間として消費する、老人のことはノータッチの世界がやって来るでしょう。今からでも遅くない、ボランティア精神を叩き込む必要あり。</li> <li>・マンションの人は町内会に入っていない方が多い。子ども会だけに入っている方も祭りなどは町内にかかる行事なので、町内からの費用の負担が大きい。（入会していない</li> </ul>



	<p>人も分も担うので)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかは散歩して楽しめるような環境になっていない。住民の意識が不足しているのか、高齢者が多くてまとまらないのか分からないが、まちなかの景色も雑然としていてつまらない。緑も少ない。気軽に使えるカフェ的な店が少ない。あるのはやや閉塞感のある喫茶店しかない。もっとオープンな雰囲気でもちに開かれていれば使いやすい。</li> <li>・不動産の流動化を進め、中心市街地の空家を減らす施策を行ってほしい。</li> <li>・1：空店舗対策を強力に推進してほしい。</li> <li>・2：市街地に高齢者向け日用品を購入できる店舗（コンビニエンスストア以外）がほしい。</li> <li>・3：災害時（津波、増水など）に備え高層ビルを避難場所として指定すること。</li> <li>・4：市街地での犬のふん、尿の強力な取り締まりをされたい。</li> <li>・地域全般を見ると大変住みやすいと思います。環境もよいし全体的に人情味のある方が多いと思います。しかし高齢化が最も進んでいる地域なので高齢者も甘えていてはいけなさと自助努力をかさねている毎日です。</li> <li>・市内循環バス「くる梨」が夜走っていないので利用できないのがとても不便。夕方以降、駅へのアクセス方法が徒歩かタクシーしかないので、JRを利用して県外に行く時など困っている。また、市役所から500m圏内に住んでいるが、こんなにもまわりにスーパーがない事に驚いた。コンビニもほとんどなく大変不便。</li> <li>・ゴミ収集についてはマンションでは管理費でまかなっているので、住民は地域の自治会加入の必要性を感じていません。しかし地域の自治会は加入すべきとの思いがあり、双方に温度差があると思います。わかりあえないまま数年がすぎている、そんな状態です。</li> <li>・空き家が駐車場になるばかり。人とのつながりを考えるならば個人の駐車場が増えるのを何とかして。人が暮らしていけるような環境が良い。定住する人が増えれば商店街も活気づいていくのではないのでしょうか？</li> <li>・買い物について。Sマート川端店がなくなると大変困ります。多少高く品揃えがなくても毎日自転車で行けるスーパーがよいです。イオンへのバス路線、道路整備よりも地元スーパー生き残りの方法への行政の取り組みはありませんでしょうか。</li> <li>・各間は独居老人でも夜（18時頃）には息子が帰ると云う事で、独居老人としてのあつかいが無い事への不安はあります。各間は独居老人のあつかいをしてほしいと望んでもそれは無理とされますが災害は昼夜問わず発生します。その事が心配です。その対処を考えてほしいと思います。町内の自警団が独居老人対策をしているようですが、顔なじみが少ない。現在は難航していると考えます。</li> <li>・私の場合は食料品は近所のスーパー、日用品は大規模店で購入しています。中心市街地の空洞化が最近課題ですが、商店街への補助などなくして店をつぶし、住宅地とした方が人口は増えます。企業努力もしない、金はだせという古い考えの商店街に税金を使うのではなく、郊外でもやる気のある方、若者に税金を使ってあげてください。中心市街地の住民が変わらないかぎり活性化など不可能です。特にえびす町の建替えなど本当に税金の無駄ですよ。</li> <li>・一人で暮らしていますと色々な事に不安です。家族はありません。退職後は社会とのかかわりもだんだんと薄くなって孤立して、なにか取り残された気持です。「何か生きがいを見つけて」と焦ってみても見つからないし、一日中、だれとも話さず暮らす日が多くなっています。これから先、健康を害したり自身の死後の事など転ばぬ先の準備に後見人を決めておきたいと思っても頼んでおける親類身内がありません（親類があっても）。それが一番の気がかりであり心配です。</li> </ul>
<p>郊外地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区によってお年寄りへの対応が違います。日中お世話になっている中心地区では一人暮らしのお年寄りには気配りをして助け合っておられます。（当番などでもできる人が補っています。）私の母は郊外地区に夜は一人でののですが、高齢者にもかかわらずゴミ当番をしているのに、掃除した後で人がゴミや缶を出したら、「ちゃんと当番をしないのならゴミも出すな」と怒られ、何年も中心地区にある私の職場にもって出ます。お年寄り、弱いもの、困っている人に対してやさしい町づくりを願います。</li> <li>・近年、積雪が多くなっているが、雪の捨て場もないこと、また除雪が直ぐにはなく車での買い物等困難である。</li> <li>・老人世帯が増え、個人主義が横行がちになるのを防ぐ必要がある。</li> <li>・地域、近所だけでのコミュニケーションは当り外れが大きい（对人的）。又、長期間その問題が続くので、第三の関係者（公的な部分）がもっと顔を見せないと。マイナスの地域性が蔓延している部分が多すぎる。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入者が年々減少している。地域の祭ごと、行事が多く若い人に敬遠される原因と考えられる。地域の活性化を図りつつ、不要不急な行事は中止することも大事と思う。</li> <li>・厚生労働省が発表している人口動態と人口予想より早めに人口の減少、高齢者比率の上昇がやってくることは明らかである。少ない行政職員で、中山間地に拡散し点在することとなる集落（限界集落）や住民にサービスを提供するにはコストがかかり過ぎる。公共の施設建設や人口の都市部集中を図り、県人口が半減しても何とか現在の行政サービスが維持できるよう展望ビジョンを策定してほしい。</li> <li>・地域にコミュニティバスがあり、地域住民で運営しているが、運営エリアを広げてほしいとの要望があり、申請してもバス会社との兼ね合いで許可してもらえないと聞いている。百円バスのないこの地域の老人の足の確保の為、規制を緩和してもらいたい。</li> <li>・以前、小さな町では役場・郵便局・医院等、徒歩で行けて手続き等もできましたし、もちろん買い物も小さな店が並んだ商店街があり、生活するには不自由はありませんでしたが、今では過疎化が進み、小さな町はさびれ商店街もなくなりつつある事は残念です。仕事先の近くが良いと思い、市内に出て新興住宅地に住んでいます。団塊世代の私は今は車で移動できますので、市役所へも通院も買い物等もできていますが、年をとり運転できなくなったときのことを考えると不安になります。年を取ったら以前のような小さな町が住みよいような気がします。</li> <li>・近くに食料品、日用品を販売する店がない（以前はあったが閉店）。交通手段のない高齢者が困っている状況を見聞している。近い将来、自分もその一員になりそうな気がする。移動販売店でもできるとありがたい。交通事故をおこなさいか心配しながら止むを得ず自家用車を運転して買い物に出かけている 80 才代の人が少なからずある。</li> <li>・今後の人口減少を考えると、現在の住宅政策ではどんどん空地、空家の増加がみとめられる。高齢者から若者への対策の変更が必要でないか、生活保護制度についても不公平な事案が近所でみうけられる。</li> <li>・地域には公民館があり、それぞれの余暇活動が出来ますが、個人的にはもっとシルバー世代が参加出来る物がほしい。例えばボランティアで傘踊り、獅子舞等々を観光客、地域住民に観てもらおう様なしくみは出来ないものか、常々考えていますけどうでしょうか。</li> </ul>
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の方などが活動されていると思いますが、（プライバシーの配慮などで）町内会との情報の共有がないので、独居老人の方の孤独化が進むのではないかとマンパワーは足りているのか？強い地域防災を作るには、情報の共有化と役割分担まで決めて訓練をしないと、絵に書いた防災計画になってしまうのではないかとと思います。</li> <li>・近所付き合いは自分自身から積極的に話を持ち出す気持ちが大切とあっていて、まずあいさつから一人一人が実行すれば変わっていくので小さい事でも始めよう。</li> <li>・各自治会により、福祉に関する住民への取り組みがまったく異なっており、自治会長に対し均等な取り組みが出来る様教育をしてほしい。</li> <li>・運動できる施設（屋外屋内）の不足を感じる。学校の体育館が島根と比べると小さく不便。</li> <li>・何時迄でも近隣住民の方々のことを考えず店を開けておられることは、大変迷惑です。店の方や、職場等にステッカーを貼ったりして、一歩店から出たら迷惑のかからない配慮してほしいです。時間を早く終わらせることが私たち近隣住民にとっての切なるお願いです。他県から来られ商売をされる方は、商売がしやすい、住みやすい等といわれます。そうでしょう。米子の方々はすごいガマン強いです。いつまでも甘くみないでくださいと言いたいです。勝手な事を書きましたが、いつも思っ寝られない夜を過ごしているのは私だけではないことを分かって下さい。</li> <li>・町内（地域）に住人不在の壊滅的な空き家があり、防犯上（火災発生）、衛生上又町の景観上みっともない状況が見られる。県、市等行政は個人の財産権への侵害等を理由に放置されたままになっているが、家屋の管理義務を放棄した個人の財産権の保護は必要がないと考える。行政はもっと指導力、場合によっては強制力をもってでも解決されたい。総体的にごみの有料化は、ごみの排出を減少させるためにも環境保全のためにも、いた仕方ないと思っている。しかし庭木等の剪定伐採木については無料化或いは減免扱いを検討してもらいたい。県も市も緑の保全、木と花を大切にしようと言っておきながら、一方で木や緑を保全しづらい環境では、やがて街から木や緑が消えてゆく。</li> <li>・要介護状態ではないが、定年退職し行き場のない人達を図書の閲覧室でよく見か</li> </ul>

		<p>けました。本当に本を読みたい人の邪魔になります。商店街に空き店舗がたくさんあるみたいですが、こういった人達の”ふれあいサロン”的なものは作れないですか。もちろん使用料は有料で。家でクーラーをかけて、ポーっとテレビを観ていると認知症にも、要介護状態にもなりやすいです。定年まで仕事をし続けた人は仕事をはなれた人間関係は作りにくくて孤立してしまいます。60～70歳までが大切な時期だと思えます。「ふれあいの里」には70歳以上の人しか見かけない気がします。元気だけどシルバー人材センターのような力仕事は無理。こんな”団塊の世代”の行き場はないです。どうかよろしくお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かと民生委員を通じて、といった（主に）高齢者対策が多いように感じられます。先日も県の熱中症対策がありました。しかし我が町区は世帯の7割が高齢者世帯で、震災でも民生委員の犠牲者が多数おられたとか。ますます高齢者が増えていくなかに民生委員さんの負担への配慮もお願いします。（私は民生委員ではありません。）</li> <li>・繁華街に永年居住していますが、近隣居住者の死亡、高齢化で自治会活動も「限界集落」の域に入っています。空店舗、空屋、老朽化した家屋も多くなり、なにかまちなかを活性化させて環境を改善させる事はないでしょうか？自治会活動、公民館活動、システムとしての介護 etc では、どうも足りないという感じです。県のアイデアに期待します。</li> <li>・借家や借地が多く住み続けられる環境にない。高齢者が亡くなったり、施設に入られると空き家になる。世帯数は増えることはなく減少する一方。ひどい年は10位減少する。町内に歩いて集まれる範囲に気軽に寄れる場所・施設がない。自治会役員会も自治会長宅でやっている。年寄りはどうしてもわがままになり、対応する若い（50～60代）役員は大変。40代以下は町内に全くいない（2～3世帯か）。小学生は1～6年が全く0の年も何年かあった。去年は2世帯、今年は4世帯になったが、転勤があればまた減少する。校区の公民館も高齢者にとっては歩いていける距離になく縁遠い。私達も生活圏とは逆の方向にあり、行く機会はほとんどない。とにかく地域コミュニティが維持できるのか、住み続けられる環境が保たれるのか不安がある。困っていることに対するピントがずれているのではないかと。高齢者を対象としたアンケート項目だと思う。若い世代が不安に思っていることをすいあげる調査をしないと意味がない。今のままだと若い人は住まないと思う。</li> <li>・個人情報秘守する傾向が強まって、マンション住民には名簿も入手できない。したがって隣人の名前も電話番号もわかからない。これでは事故のとき対応できないだろう。個人情報の扱いについて熟考すべき時期が来たと思う。</li> <li>・これからは年寄りの一人暮らしが多くなります。電球の取替とかパッキンとかちよつとした時に助けてくれる方がないと有難いです。便利屋さんとかもっと身近に年寄向けに助けてもらおうと有難いです。</li> <li>・まちなかに子供が気軽に立ち寄れるような場所（昔の駄菓子屋さんのような…）があるといいですね。</li> <li>・行きとどいた行政サービスには感謝しているところですが、本人自身が抱えている事、はきだしたい事などを聞いてくれる場所がほしい。個人面談のようでは第三者におもしろがられるからそうそう話せないし…といつも思っております。他人様に出来るだけお世話にならぬよう自覚して生活するよう心がけております。</li> <li>・移動販売は是非やってほしい。近所のスーパー等がなくなって困っておられるお年寄りは多いと思う。</li> </ul>
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近辺に大型ショッピングセンター（例えばイオンモール、ジャスコ）がなく、米子方面、鳥取方面まで行かなくてはならないのが不便です。倉吉に転入して2ヶ月経ちましたがコミュニティ・サービスの全体がわからず、情報不足のため利用に至りません。近所に市営プール（未来中心）があり、よく利用させて頂いています。出来れば筋トレルームを併設して欲しいです。市民の健康向上には必要だと思います。これが充実すれば医療負担も軽減されると思います。</li> <li>・大都市の老人（80歳位前後）には華やかな文化サークル（たとえばフラダンス、社交ダンス、コーラス etc 又茶話会、花生け）など、老人が美しく、若々しく（テレビなど）、環境も経済も豊かなのが羨ましく。田舎（地方）にも高い文化の香りが欲しいと思う。寄ると世間のウワサばかりが聞かれつまらないと二の足を踏む次第です。お弁当をもらいに出かける会は私はいやですね。ビデオや放送（映）など、もっと視覚を刺激し学ぶことを皆で共有したいです。次に老人クラブがバスを何台も連ねて2泊3日位の催しをされますが、常連で夫婦連れ、これも考えてほしい。多くの老人は参加し難い空気を感じています。（仲良しご近所旅行を止め）そろそろ他のことに予算を使いたいものです。</li> <li>・地区内にふれあい広場（多目的広場）を作って頂きたいこと。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・数年前に比べ地域のコミュニケーションは殆どなくなってしまった。人間関係も希薄になり、昔のような優しさ、温かさが皆無。独居老人も数人いらっしゃるが、子供さんの姿さえ見かけない。親をどう思っているのか？気にならないのか？もう少し道徳的な教育が必要ではないかと思う。子が親をみるのは義務だと思うのだが…。</li> <li>・スロ-ガンとしては「住みやすい町、助け合う町」とはあるけれど、一旦病気になったとき、高齢になった時（今ですが…）気安く頼れないこと。今までできていた一寸したことが出来なくなった時、悩んでいます。今より様々なことができなくなったとき年金だけの生活では限りあり、お金があればなんでも頼めますが…。屋内に災害用のスピーカーが設置されたことは、情報を知る点では一安心ですが、高齢者の立場に立ってのあたたかい支援の方法を望みます。</li> <li>・夫婦共高齢者になりました。町内近所の方ともコミュニケーションをとっています。二人とも元気な間はボランティア活動にも頑張っていますが、一年ごとに身体に老を感じます。特に雪開けは家の前～裏横の道路（観光客が通られる道）は開けておこうと思うので大変な時もあります。（腰を痛めている）</li> <li>・地域町内でも 30 代 40 代が何人かおられるが、町の色々な行事にほとんど参加協力がない様です。</li> <li>・市役所・公民館事業がマンネリ化しており、また高齢者がいつまでも役所に付き、活性化されていない。事業予算も何十年前と同じで時代遅れで若者の出番がない</li> <li>・現在の住居は倉吉市役所のある旧市内商店街で年々商店が廃業し、近い将来、住民のいない空き店舗ばかりのスラム街になることが予想され、又老人ばかりの活気のない町になり、コミュニティの崩壊につながる。行政には将来を見据えた都市計画を。</li> <li>・良く年配の方に聞くことですが、買い物が不便で困る、バスも回数が少なく土日は通らないので困る等々、自分の目で見たいと思っておられる方々。私達の地域では、昔は小売店が 4～5 軒あり良かったのですが、バスでなくても良い、公共的な小さい自動車が定期的に通らないものかと思います。</li> </ul>
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1：地区の過疎化が激しく老人が多く、当町の場合、子供会が一人では組織できない状態になっている。成人の子供達は郊外や米子に住みさみしいかぎり。</li> <li>・ 2：上記ながら車の往来は激しく、水木ロード又は海岸線県道は地盤が弱く、道路の凸凹が多く、騒音が激しく不眠になりがち。地盤が弱く土地が境市内で一番低い為、水害、津波、地震が心配で、72 か所提示されている避難が無理と考えており、小船を持っているので境水道を舟で向山（島根県側）に避難すること考えている。</li> <li>・ 3：タンクローリー、ミキサー車等、重量トラックが海岸道路（県道）のガタガタ道を通るので困っている。（海岸道路は信号機がないためと思われる。）</li> <li>・ 古民家風のカフェタウン、おしゃれなカフェ、パン、ケーキ屋、雑貨、本とかがつらな街ができたなら、遠くても遊びに行きたくなると思う。</li> </ul>

## 2. 自治会（町内会）調査

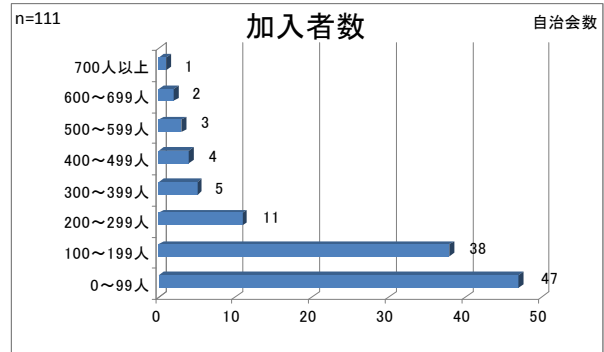
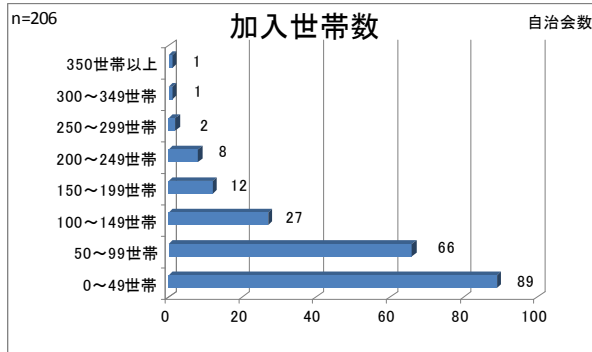
回答率 75.5% (209/277 自治会 (町内会))

(1) コミュニティ（自治会（町内会）の状況、防災、交流基盤、マンションとの関わり等）

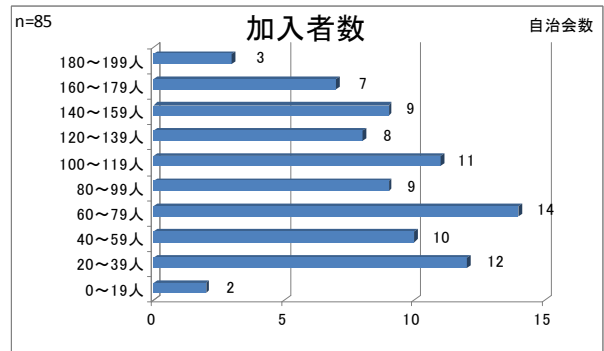
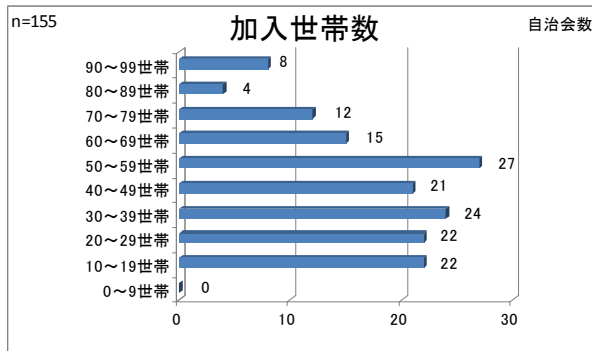
### ア 自治会（町内会）加入世帯数、加入者数（問1-1）

比較的小規模な自治会（町内会）が多い。

- ・加入世帯数 50 世帯未満：89/206 自治会、43.2%
- ・加入者数 100 人未満：47/111 自治会、42.3%



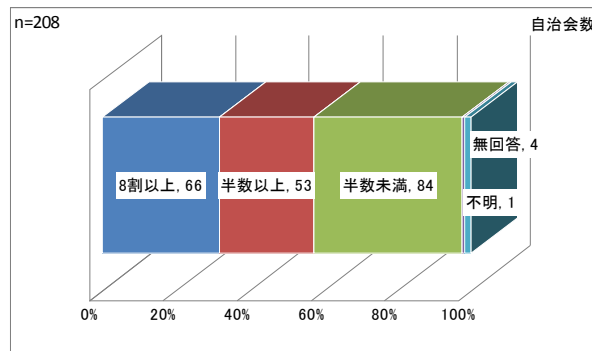
※加入世帯数 100 世帯未満、加入者数 200 人未満の自治会（町内会）の内訳



### イ 自治会（町内会）への参加割合（問1-2）

総会に加入者の「8割以上」が参加する自治会（町内会）は約3割。4割強の自治会（町内会）は加入者の総会への参加が「半数未満」。

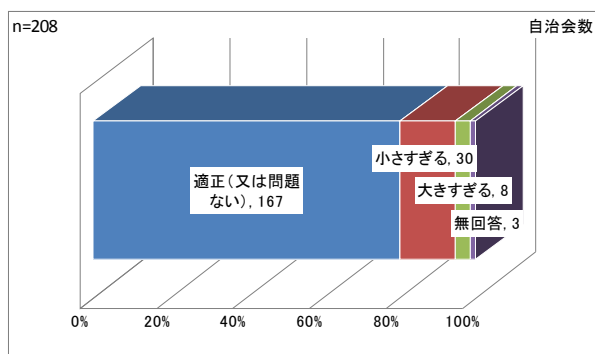
- ・「8割以上」が参加：66/208 自治会（町内会）、31.7%
- ・「半数未満」が参加：84/208 自治会（町内会）、40.4%



### ウ 自治会（町内会）規模（問1-3）

自治会（町内会）の加入世帯、人数などについて適正と感じている自治会（町内会）長が多い。

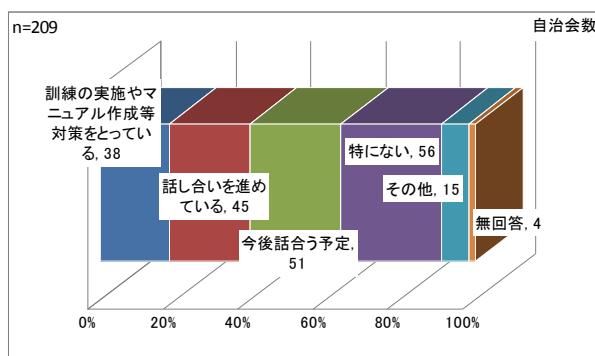
- ・適正（又は問題ない）：167/208 自治会（町内会）、80.3%
- ・小さすぎる：30/208 自治会（町内会）、14.4%



### エ 地震等大規模災害への対策や話し合い（問2-1）

現在対策をとっている自治会（町内会）と、話し合いを進めている、将来に話し合いを予定している自治会（町内会）が約6割。

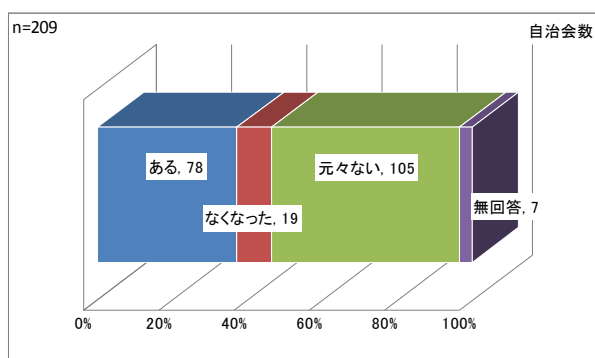
- ・訓練の実施やマニュアル作成等対策をとっている：38/209 自治会（町内会）、18.2%
- ・話し合いを進めている：45/209 自治会（町内会）、21.5%
- ・今後話し合う予定：51/209 自治会（町内会）、24.4%



### オ 固有の文化的遺産（伝統芸能、祭など）の有無（問4-1）

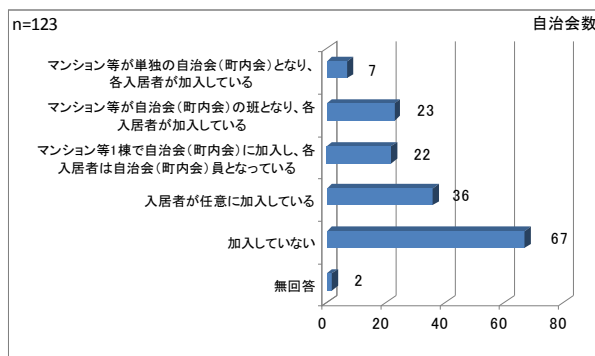
「元々ない」自治会（町内会）が半数以上。

- ・元々ない：105/209 自治会（町内会）、50.2%
- ・ある：78/209 自治会（町内会）、37.3%
- ・なくなった：19/209 自治会（町内会）、9.1%



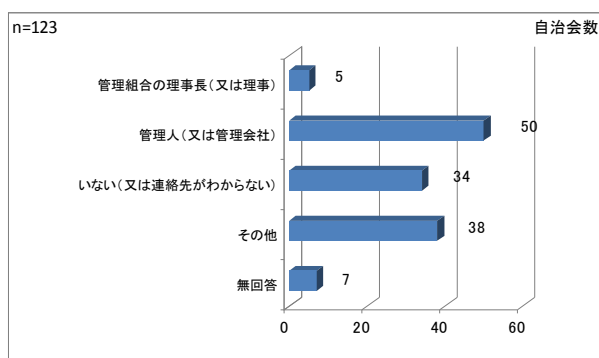
カ マンション世帯の自治会（町内会）加入状況（問4-4、複数回答）

「加入していない」が最も多く、次いで「入居者が任意に加入している」場合が多い。



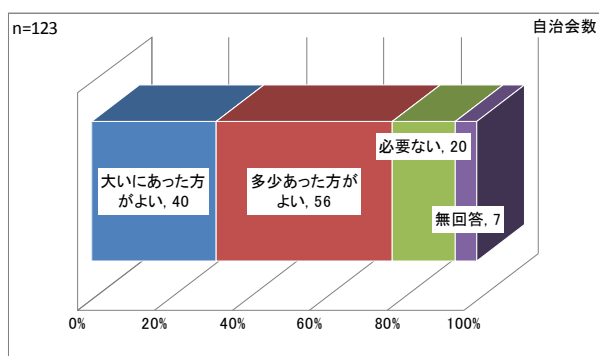
キ マンション等における地域の自治会（町内会）との連絡窓口（問4-5、複数回答）

「管理人（又は管理会社）」が窓口となるケースが最も多い。



ク 地域から見たマンション世帯との交流のあり方（問4-6）

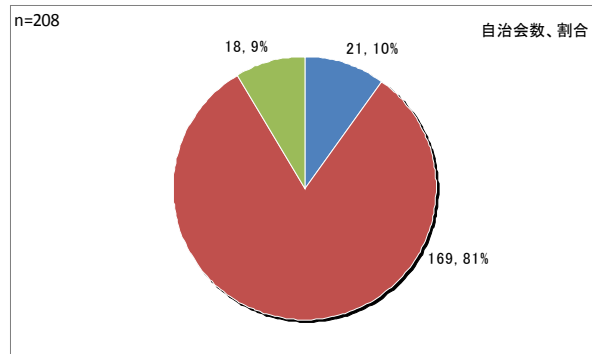
「多少あった方がよい」「大いにあった方がよい」との意見が8割近くある。  
(96/123 自治会（町内会）、78.0%)



(2) 居住環境 (交通、買い物、医療、空き家等)

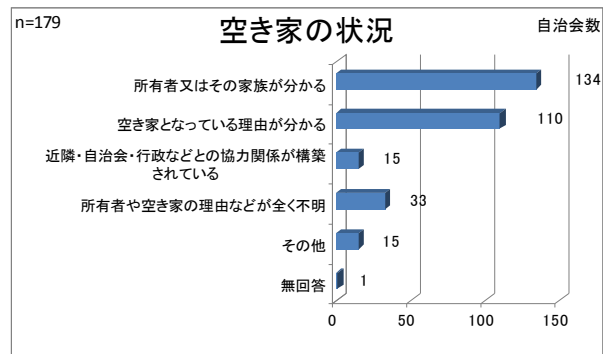
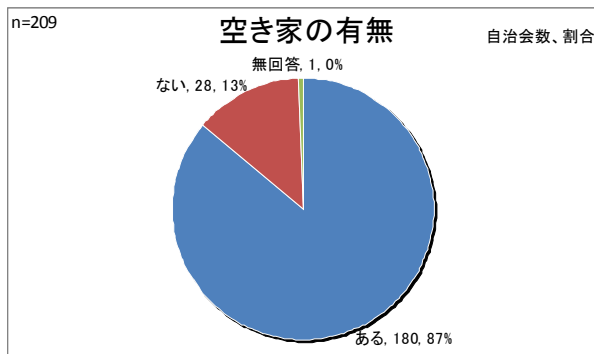
ア 交通・買い物・通院等に関する、自治会 (町内会) 内での話し合い (問3-3)

「ない」と答えた自治会 (町内会) が8割強。(169/208自治会 (町内会)、81.3%)



イ 空き家の有無・状況 (問2-2、状況については複数回答)

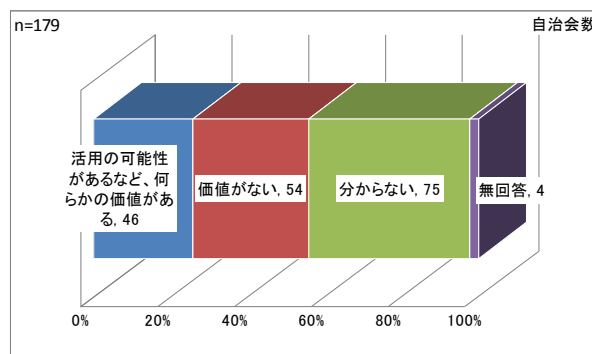
「ある」と答えた自治会 (町内会) は9割弱。(180/209自治会 (町内会)、86.1%) ある程度、所有者や空き家になった理由などが把握されている。



ウ 空き家に対する評価 (問2-2)

空き家の価値については「分からない」とする回答が多く、次に「価値がない」との回答。

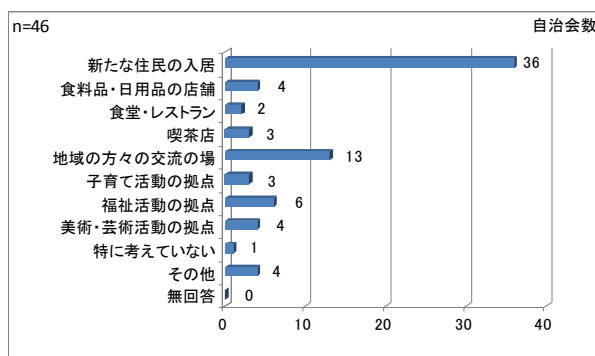
- ・分からない：75/179自治会 (町内会)、41.9%
- ・価値がない：54/179自治会 (町内会)、30.2%
- ・価値がある：46/179自治会 (町内会)、25.7%



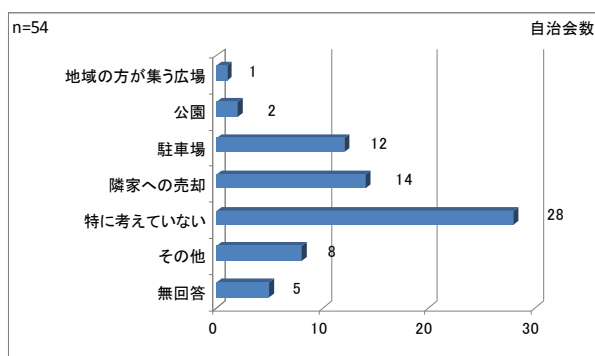


## エ 空き家の活用方法（問2-2、複数回答）

建物として活用できる場合の活用方法としては、「新たな住民の入居」への期待が多く、次いで「地域の方々の交流の場」への期待が高い。



解体して土地を再利用できる場合の活用方法としては、「特に考えていない」が最も多く、次いで「隣家への売却」、「駐車場」が多い。



### （3）困りごと、不安

区分	内容	課題
コミュニティ 少子高齢化・自治会運営	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内は人口減少と高齢化が進み、他の町内との合併も思うように進行できない。（各町の規約、蓄積財産の問題の解決、過去の経緯など。）</li> <li>・準眼界集落予備軍の町で自治公活動が沈滞気味、更に高齢少子化が進むとどう対応したらよいか？地域に集落支援員が配置されたので協力する。</li> <li>・高齢者予備軍が次々と控えており、町内の作業等で力がある作業実施には、やや無理がある。高齢者対策の一環としてそろそろ考えるべきだと思う。</li> <li>・この地域は40年前の区画整理による新興住宅地であり、現在、第二世代の帰住者が少なくなり高齢者世帯が増えつつある。そのため、若者の居住者が減り、公民館主催の運動会や各種スポーツ大会及び自治会活動に支障が生じている。</li> <li>・以前商店街であったバス通り沿いの住宅の高齢化が顕著である。その中で女性の独居者の増加と空家（家）の増加、総事、雪かきなどの作業が困難である。約60軒あるなかで労力がある件数は10軒程である。若くて活躍できる人数と高齢者の人数とのバラつきが大きく、いつまで高齢者を支えられるか心配である。（独居者32人、福祉協力員9人など。）</li> <li>・世帯数が少ない上、高齢、一人暮らしの世帯が多い。（町内運営上お世話頂く方少なく困っている。）</li> <li>・町内会活動に無関心で何事も役員まかせ。このままの状態だと町内会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治組織を担う次の世代の確保</li> <li>・既存の自治組織を超えたコミュニティ支援活動の促進</li> </ul>

区 分	内 容	課 題
	<p>の維持運営もままならない。(住民の高齢化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多く又子供が少ない。交流会が少ない為人間関係が薄れている。</li> <li>・年々世帯数が減少していること。親子が別居→親の老齢化→施設へ転居→子供は帰って来ない。→空家増加</li> <li>・町内が知らない間に小学校の自由登校区にされ、町の子供が別々の小学校に通っている。生徒数の少なくなった小学校に市の教育委員会の人に来て勧誘したのが始まりと聞いているが、町内では子供会、校区民活動が大きく阻害されている。</li> <li>・独居高齢者が増えて役員のみ手がますます少なく、毎年改選の度に大変である。町内会長の仕事が非常に多く、その為にますます手がいなくなり困ってます。(共働きの家族では非常に大変で無理があります) しかし高齢の方に無理にお願いする事もできず困っています。</li> <li>・マンション等の入居者や町内会に入らない世帯もゴミは集積所に出されるが、当番活動等はおまかせ状態である。</li> <li>・自治体、団体(社協)からの依頼事項が多すぎる。自治会に任せる事が多すぎる。福祉的な事業は本来公共のすべきことと感じる。自治会長は順番で務めるしくみとなっており、無職の人とは限らず勤務しながら自治会の仕事を無給でこなすのは、負担が大きい。自治会の負担を少なくしないと将来的にパンクする。素人には限界がある。(年々負担が増加している)</li> <li>・配布する文章の依頼が多すぎる。市報他が充実しているので、記載出来る事はまとめてはどうか。急ぐものについては仕方がないが。</li> </ul> <p><b>問5-2 将来への不安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進み将来町内として機能しなくなる。総数 40 世帯で 75 歳以上 22 名。60 歳以上の家族がおられる世帯 37 世帯</li> <li>・持家住宅の子息は進学率が高く、県外へ出れば地元の就職機会が少なく、18~30 才あるいはそれ以上の子供をつくれる世代が極端に減少している。現在いる子育て世代は借家住まいが多く、この世代が転居すれば次世代の支え手がいなくなる。高齢者の福祉、受益者のあまえと権利意識が高い事に不安を感じる。</li> <li>・中心市街地では高齢化が進んでおり、町内会の役員を確保、維持していくことが将来出来なくなるのではと考える。</li> <li>・当町内では子供の数も減少し、数年前に子供会は解消している。</li> <li>・老人のみの世帯多数。将来を思うと恐ろしい。</li> <li>・若い人材が町内から出ていくことに不安を感じる。老人ばかりの町内になるのではないか。</li> <li>・若い方の自治会活動への参加ももう少しあってもよいのではないかと思う。</li> <li>・このまま地域の高齢化が進めば、民生委員、在宅福祉、寄付金集め等のボランティア活動ができなくなる。</li> <li>・高齢化が進み、世帯は減少していますが、その中でひとり暮らし及び高齢夫婦世帯が増えております。災害時の緊急対応に大きな不安があります。</li> <li>・年老いた親を残して別居する子供夫婦の増加。＜対策として＞例えば同居手当を支給するとか、二世帯住宅建築補助金を支給するとか、同居促進を検討してもらいたい。</li> <li>・高齢化がすすみ独居の方が増加していくのではないかと思う。</li> <li>・現在高齢者の方が多く、また子供は減少し(現在小学生4名)、若い人も少なく中高年以上が多いので、町も衰退していくと考えられる。将来が不安である。</li> <li>・準限界集落(55才以上53.9%、65才以上41.7%)が現状で、とくに70代の比率が地区の中で最も高く、5年先を考えると不安である。役所、社協等で自助＝共助がさかんにPRされているが、タイミングが難しい。</li> <li>・若い人が帰って来ない。ゴーストタウンになる。老人ばかりになり、ゆくゆくは居なくなる。若い者は帰ってこない。</li> <li>・後十年もすれば全滅です。現在でも限界集落です。町中老人ハウスの</li> </ul>	

区 分	内 容	課 題
	<p>に肩寄せ合っている姿を想像しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがおらず、住民がいなくなり、消滅すると思われる。</li> <li>町内会運営に若い人が無関心。関わりたくないと思っている人が多い。町内会役員になりてが無い。拒否される。</li> <li>町内会で活動をする意識が薄くなっている。会費だけ払って役員はやりたくない人が増えている。</li> <li>住民自治の会として頑張ってきたが、もう五年位で町内会が機能しなくなる気がして不安です。</li> <li>1戸建はほとんどが自治会に加入。マンションは全員加入の所と少数加入、全員未加入といろいろで、その傾向が偏っている。従って諸問題への取り組みが違って来ている。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年1回の側溝掃除について、町内は高齢者が多くなり、家主不在もあり、若者は減少している、溝蓋を開けるのに力がなく苦勞している。下水道も完備したので清掃は2年1回にしたい。</li> <li>ある種の”負担”とセットになった”サービス”は要らない。町内会活動は、互いの親睦を深めあい、皆が幸せになるのが本来の目的であるはず。”活動”そのものが”義務感”を帯びて負担になれば本末転倒。行政は仕事の多くを町内会に押しつけていないか？一例として”市報配り”がある。市報はネットで配信し、希望者があれば窓口に個々が取りに行けばよい。</li> <li>健康に関するニーズが今、年代を問わず、最も高まっています。そこで、自治会単位で実施できる健康促進メニュー（日常的に行える）に対してアドバイザー、インストラクターの派遣や運営補助金の支給を検討してもらいたい。メニューは自治会員のアンケートなどで決定したい。</li> <li>他町内の行事予定。</li> </ul>	
見 守 り 、 支 え 合 い	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独居老人の安否、健康状態。</li> </ul> <p><b>問5-2 将来への不安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設が街中にない為独居の方が困っている。→皆が集まって話し合う。</li> <li>市は名前は良さそうな事業を掲げて次々と何か行動しろ”と言わんばかりに書類を送ってくるが、地元がそれを実施できるような体制づくりをすべき。あれこれと様々な部署が送りつけてくるその総数を各担当は把握しているのか？一方的な押し売りに思われ不愉快。部署間連携すべきだし、地区担当のような調整役の担当課を設置すべき。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も考えれば買い物、食事のサービスが必要。介護福祉面の更なる充実。</li> <li>独居老人の家庭訪問はあるが、老人家庭の訪問もしてほしい。</li> <li>警察及び市職員による定期的な地区の見回り。（毎月2回）</li> <li>福祉施設の受け入れ態勢。</li> <li>ひきこもり、精神障害等の社会不適應者への対応。</li> <li>敬老会の出欠等を町内会長に委託するのはどうかと思う。社教のもっているデータで郵送して確認してほしい。</li> <li>市でやっていただいた認知症予防講座の機会を継続できたことは有難かった。市から引き継いで6ヶ月が経過したが、講座の効果の検証がほしい。参加者のレベルの差を考えながら教材を準備しているが、いつまで続けられるか不安はある。ノウハウ教材提供のサービスを望む。</li> <li>行政の要求が増加している。さらに役員の後継者が不足しがちで、長く役員を続けると地区全体の世話や責任も増え、増々後継者が出てこなくなる。仕事をしながら役をやる人の数を減らす事はやむをえないが、専任館長の数を減らすことは考えてほしい。何かあると年金生活者が狩り出されている。</li> <li>保育所、コンビニ、信号機、歩道などの行政サービスも利用していな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等に対する見守り・支え合いの推進と環境整備</li> </ul>

区 分	内 容	課 題
	<p>い高齢者がいます。急に入院などされた場合、孤独死しているのかと不安になる。確認できるサービスを！！</p>	
集いの場	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に自前の集会場がない。</li> <li>・集会場（公民館）が無い。</li> <li>・地区集会場がなく班長会等の開催に支障がある。</li> <li>・集会所の老朽化に伴う修繕や新築の予算がない。この先積立をしても対応できるまでには現在の建物はもたない事が明確な為、対策の打ちようがない。</li> </ul> <p><b>問5-2 将来への不安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内に独自の自治会館（プレハブ製、トイレ・水道無し）を所有しているが、底地は民有地であり現在売却予定である。使用頻度としては、月に一回の定例役員会や会員親睦の頼母子（たのもし）もおこなっている。さらに不定期であるが防災会や子供会や老人会及び各種大会の打ち上げ等自由に使用している。施設の老朽化にあわせ移転する考えをもっているが、費用調達がままならない状況である。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多く、話合える場所が町内にあれば「安否確認」も出来、安心安全な町になる。又小児を含めて子どもも増えつつあるので、公園（小さくても良い）があれば子育ての助けにもなる。（高齢者とのふれあい）</li> <li>・若者の集まれるような所。</li> <li>・自治会単独で使用できる会館及び倉庫の建設費助成金がほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な集会所、憩いの場の確保</li> </ul>
広場・公園	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内にあるべきはずの公園（子供たちが遊ぶ為の）がなく、住民間のトラブルがおこっている。</li> <li>・町内に広場がない。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園がない。（高齢者が集うには必要だと思う。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近（小規模）な広場・公園の確保</li> </ul>
防災・防犯	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間、道路に不法駐車があり、防犯上問題がある。</li> </ul> <p><b>問5-2 将来への不安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織が未整備。</li> <li>・原発に対して。</li> <li>・境港市は津波が発生すると言われているが、避難方法の徹底が図られていない。</li> <li>・高齢者世帯（後期）の割合が大半であるが、特に大規模災害時での取組み及び日頃の生活支援の問題。</li> <li>・高齢者世帯が進む中での、昨今頻繁に発生する自然災害時の対応について。なお、自主防災組織はあるが、防災部員も高齢化してきている。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の公園管理委託を受けているが防犯灯がなく、防犯面に心配がある。（毎年度要望するが）市は予算がないと回答している。</li> <li>・町内への情報伝達のしくみが必要。倉吉市では来春からデジタル化された防災無線機が自治会でも使用できるようなので期待している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の整備や地域における防災訓練の実施など、地域の防災体制の確立</li> <li>・要援護者情報の整備と住民理解</li> </ul>
マンション	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭い地域にマンション、アパートが五棟もあり、ゴミ・犯罪・マナー等で困っている。</li> <li>・住民の年齢バランスがとれていないので、バランスのよい入居計画をしてほしい。</li> <li>・マンション住民は氏名、性別、同居家族数不明な人と表札もない方が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションと地域との円滑なコミュニティの推進</li> </ul>

区 分	内 容	課 題
	<p>多いので改めて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンルームマンションの居住者が町内会へ入会しない。又、負担金の負担問題。”</li> <li>・借家等の住民が自治会加入もしくは組織されないこと。住民の絆が希薄になる。</li> <li>・マンションの自治会への未可盟、脱退などがあり、諸問題を周知徹底したい。</li> </ul> <p><b>問5-2 将来への不安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5階建て住宅でエレベーターがなく、今でも生活上不便な住民が多いので、将来は益々不便になると思います。</li> <li>・マンションに暮らす人は突然いなくなる事があって何処に移ったかわからないままと聞いた事があります。転居先など明らかにしてほしい。</li> <li>・マンション（アパート）に入居している人物がどのような人間なのか分からないので不安に思うことがある。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション住民の自治会の加入に公的機関がもっと積極的に関わってほしい。（自治会参加者の負担が大きい。）</li> <li>・新しいマンションに転居してくる転居屋がいて、その人達は今迄住んでいたマンションに家財を置いたままと聞いたことがあります。このような事が繰り返さない様に転居に”けじめ”をつけて欲しい。転居屋は地域の迷惑になるだけです。</li> </ul>	
居住環境	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパー等高齢者が日常生活を進めるための店が近くになく、公共交通の利用も不便である。</li> <li>・生活用品（食糧品等）の商店が近くになくなり、高齢者は大変不便で困っている</li> <li>・歩いていける近所に食料品、日用品等を購入する店舗がなくなって不自由になっている。高齢化がすすんでいくので改善が難しい。</li> <li>・大型店が地区からなくなり買い物が不便になっている。（家電、本など）以前あった大型店舗にそれに近いお店が入ってくればもう少し活性化してくるのではないかと思う。</li> <li>・道路幅が狭く、車の通行が不便。（スーパー等生活物資の調達が大変。）</li> <li>・高齢化により、買い物困難者が増加してゆく。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者に対する給食、買い物代行サービス。</li> <li>・生活必需品の店がほしい。</li> <li>・駅の南側は鉄道によって遮断されており町に出るのに大変不便となっている。交通の便も悪く、高齢者、歩行者は買い物等に困っている。だんだんバス等便利な乗り物もあるが、町の中心に近いのに不便である。高齢者、弱者対策を考慮した都市計画を実施してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物ビジネスの支援</li> </ul>
交通不便	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内には老人世帯が多く、買い物に出かける際にタクシーを利用するなど身体の不自由な人もいて、でかけるのに大変です。他の地域でやっておられる巡回バス（タクシー）など行政で考えてほしいです。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に不便を感じてませんが、あえて言うなら公共交通機関（バス）の乗り入れ。将来高齢化が進んだ時。</li> <li>・バスの便が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に合った交通網の展開</li> </ul>
空き家	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽家屋が崩壊寸前で放置。通学路でもあり子供達が心配。</li> <li>・空き家に野良猫が住みつき、集積ゴミを荒らして困る。解散した商店会が設置した街路灯が管理者不在のまま老朽化して倒壊の恐れがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の処理ルールの整備</li> <li>・空き家の再生（機能維持）・除</li> </ul>

区分	内容	課題
	<p>が、道路管理者の市が撤去費用を出してくれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数十年に亘り放置されたままの廃屋がたくさんあります。特に道路に面した場所は通行人に被害が及ぶ危険な所もあり心配しております。</li> <li>・空き家が多くなり安全性、安心に問題が来ている。管理者不明。市へ相談しても個人財産だからと対応してくれない。</li> </ul> <p><b>問5-2 将来への不安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りの世帯（65才以上）が多く、このままでは空家が増加していくのではないかと。</li> <li>・高齢化の進展によりもっと空家が増えるのではと心配している。（跡取りが居ない→県外居住が多い）</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政は遠慮しないで老朽家屋放置者を取り締まるべき。</li> <li>・空き地・空き家の売買斡旋。危険建物の解体指導。</li> <li>・空き家を集会所として活用する場合に公的機関の仲立ちがほしい。</li> </ul>	<p>却の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産の流動化</li> </ul>
<p>ゴミ ・ 公衆衛生</p>	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜の街あそび人口の増加（若者）に伴って、ゴミの置き去りやタバコのポイ捨て、暗がりでの用便等の公衆衛生の乱れへの対応。</li> <li>・ゴミの不法投棄が多い。猫に餌を与える人がいるので困っている。</li> <li>・町内会の個人所有の空地に犬の糞が多い事。犬の散歩のときリードにつながず散歩させている人を見かける事。</li> <li>・不燃物置き場のルール違反が多発している。（前日の夜に出す。収集日以外の物が入っている・・・等）他町区からの持ち出しが。</li> <li>・県道の街路樹の落ち葉の掃除。</li> <li>・マンション住民のごみ出しのチェック。一部決まりを守らない住民がいること。</li> <li>・ゴミが多い。月1回掃除をみんなですしている。植木などが管理されておらず汚い。横の道路に山から木や枝が伸び放題。市役所を通して所有者に連絡したが変化なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治組織を担う次の世代の確保</li> <li>・マンションと地域との円滑なコミュニティの推進（いずれも再掲）</li> </ul>
<p>除雪</p>	<p><b>問5-1 地域での困りごと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪。国道53号が除雪される度に路地がふさがれる。（昼間は少数の）現役世代は仕事に従事（外に勤務）しており、早朝は高齢者しか在宅しておらず、自助努力には限界あり。せめて大通りとの交差点だけでも行政が除雪してくれると助かる。</li> <li>・積雪時の除雪の際。氷の固まりが脇道をふさぐため、その除去に困っている。</li> <li>・近くに商店がなく、お年寄りの日々のお買物が大変です。冬の雪も非常に多く雪かき等もなかなかお年寄り宅まで手が回らない状態である。</li> <li>・冬季の除雪がむずかしい。市内でも雪深いところであり、除雪車の予算確保や除雪機の導入（管理等）が難しい。</li> </ul> <p><b>問5-2 将来への不安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年前の大雪等の時、除雪等で困った。</li> </ul> <p><b>問5-3 不足しているサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪の時期になると除雪等、生活道路の確保に苦慮、高齢者宅、除雪等有志ですしているが、市道等除雪をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪かきボランティア等地域支援活動の推進</li> </ul>

## (4) データ編

「中心」：中心地区  
「中活」：中心市街地活性化基本計画区域  
「郊外」：郊外地区

### 1. 自治会（町内会）の状況

問 1-1 自治会（町内会）の加入世帯数（サンプル数：206/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 0～49 世帯	43	41	24	2	15	13	18	0	89	43.2%
② 50～99 世帯	31	26	9	5	17	15	2	1	66	32.0%
③ 100～149 世帯	14	10	4	4	6	4	3	0	27	13.1%
④ 150～199 世帯	6	5	3	1	2	2	2	0	12	5.8%
⑤ 200～249 世帯	3	2	0	1	2	1	2	0	8	3.9%
⑥ 250～299 世帯	2	0	0	2	0	0	0	0	2	1.0%
⑦ 300～349 世帯	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
⑧ 350 世帯以上	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
合計	99	84	40	15	44	35	27	1	206	100%

問 1-1 自治会（町内会）の加入者数（サンプル数：111/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 0～99 人	19	19	14	0	7	9	12	0	47	42.3%
② 100～199 人	16	14	4	2	12	10	0	0	38	34.2%
③ 200～299 人	5	2	1	3	4	2	0	0	11	9.9%
④ 300～399 人	3	2	0	1	1	1	0	0	5	4.5%
⑤ 400～499 人	1	0	0	1	1	1	1	0	4	3.6%
⑥ 500～599 人	0	0	0	0	0	1	2	0	3	2.7%
⑦ 600～699 人	1	1	0	0	1	0	0	0	2	1.8%
⑧ 700 人以上	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0.9%
合計	46	38	19	8	26	24	15	0	111	100%

問 1-2 自治会（町内会）総会への参加割合（委任状参加を除く実数）（1つだけ）  
（サンプル数：208/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 8割以上	38	27	12	11	15	8	5	0	66	31.7%
② 半数以上	26	24	12	2	4	13	10	0	53	25.5%
③ 半数未満	33	30	15	3	24	14	12	1	84	40.4%
④ 不明	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0.5%
⑤ 無回答	2	2	1	0	2	0	0	0	4	1.9%
合計	100	84	40	16	45	35	27	1	208	100.0%

問 1-3 現在の自治会（町内会）規模は、運営上適正規模か（1つだけ）（サンプル数：208/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 適正（又は問題ない）	86	73	31	13	31	28	21	1	167	80.3%
② 小さすぎる	11	10	9	1	8	6	5	0	30	14.4%
③ 大きすぎる	2	1	0	1	4	1	1	0	8	3.8%
④ 無回答	1	0	0	1	2	0	0	0	3	1.4%
合計	100	84	40	16	45	35	27	1	208	100.0%

### 問 1-3 自治会（町内会）の規模が今の規模となった理由

#### 「理由」の主な記述

##### （「小さすぎる」と回答した自治会）

- ・駅前開発の時にできた住宅なので前からの住民とおりがあわず。
- ・商店街構成員で組織しているから。
- ・建築物の老朽化、相続人の不定着。
- ・商業地域のため住居の転出、その後のドーナツ化での店舗の減少、若い世帯の転出。
- ・わからないが、一町内単位で活動したのではと思う。
- ・長年我が町内は借家で狭い家ばかりでしたので、若い人はここから出ていき今では高齢者ばかりの町内になっています。
- ・高齢化により施設に入所したり、亡くなったりした為。
- ・跡継ぎが町内に残らないことで軒数が減少している。
- ・町内会始めよりこの数である。
- ・江戸時代初期か少し前に町割りが出来たものと考えられているが、その時から問題と思われる。
- ・道路拡張につき移転などで戸数減少。

##### （「大きすぎる」と回答した自治会）

- ・街に近い農村地区であった所、区画整理され住宅になり急増した。
- ・市開発公社の宅地造成、旧町の区画整理（道路新設-立ち退き）及び新宅地造成。
- ・マンションの増加。
- ・アパート、マンションなどが加わった。

#### 「自治会運営上の問題点」の主な記述

##### （「小さすぎる」と回答した自治会）

- ・世帯数、人口の減少、高齢化に伴って一人で何役もの役員を兼業しなければならなくなった。
- ・防災、防犯組織の編成が困難。各種公民館活動等への自治会の参加が困難。公民館への各種役員（担当）の選挙が困難。
- ・隣近所の繋がりがなく行事の参加者も少ないし、参加する人も限られている。
- ・中間層が現役の為、全てを高年齢の人が受け持つ様になるので活力が生まれない
- ・若い人がいません。昨年より総会をすることが出来なくなりました。お年寄りの人ばかりなのでおまかせしますとのことでできなくなりました。
- ・町内人口の減少及び高齢化が進み役員になる人が少ない。
- ・団体行動がとりにくい。（共同作業に人が集まらない。）

##### （「大きすぎる」と回答した自治会）

- ・意見がまとまらない。
- ・自治会員の把握が困難。
- ・運動関係の大会などは良いが、居住者の掌握が難しく、伝達事項の周知徹底が困難である。
- ・9班もあり連絡が取りにくく遅れやすく、端々の人たちとの交わりが疎遠となりやすい。
- ・自治公役員の負担が多大的に感じる。
- ・総会は場所等から事業上難しい。一戸建て住民とマンション住民は諸問題のとらえ方、考え方が若干異なっている。
- ・配布物の多さ。

自治会（町内会）の適正規模（世帯数）  
（サンプル数：31/209）

	県 計	
0～49 世帯	5	16.1%
50～99 世帯	16	51.6%
100～149 世帯	9	29.0%
150～199 世帯	0	0.0%
200～249 世帯	0	0.0%
250 世帯以上	1	3.2%
合 計	31	100.0%

自治会（町内会）の適正規模（加入者数）  
（サンプル数：19/209）

	県 計	
50～99 人	3	15.8%
100～149 人	2	10.5%
150～199 人	6	31.6%
200～249 人	3	15.8%
250～299 人	0	0.0%
300 人以上	5	26.3%
合 計	19	100.0%



## 「自治会との間で共同化することについての対策や話し合い」の主な記述

### （「小さすぎる」と回答した自治会）

- ・三町合間で町内役員の一役以外を共有することを検討し、次回総会で決議する。
- ・合併を前提に打ち合わせ、試しに昨年5月合同レクリエーションを試行。しかし9割は65歳以上の女性、双方とも働き手が少なく決裂。
- ・民生児童委員、子供会の隣接自治会との併用。校区（地区）のブロック別編成の検討。
- ・老人クラブを他町と合間で運営すること。地区の運動会などに共同（合同）チームとして参加する事。地区の町内学習会を共同（合同）で開催すること。
- ・子供の人数が少ないので、子供会の行事を他の自治会と共同実施。

## 問1-4 住民の方からの、自治会（町内会）運営に関する主な意見・提案等

- ・夏季交通安全運動に参加立番致しましたが、交番の警察官は初日だけ顔を出した様ですが、せめて、この交通安全運動期間中は顔を見せ一緒に参加してもらいたい。
- ・高齢者が多く町内会の仕事を免除してほしい。
- ・班の再編。（世帯数の減少、又は高齢世帯ばかりの班から）
- ・レクリエーションを増やしてほしい。
- ・町内会費を現在1世帯で払っていますが、総会の出欠は家族全員に参加が求められます。総会などの出欠も1世帯一人を基本にしてはどうかとの意見があります。検討してほしい。
- ・防災についてもっと知りたい。
- ・中心市街地は年々居住人口が減少しており、町内によっては15～20世帯の町内が地区で6町内もある。運営上又リーダーの不在 etc の問題から近い将来、町内会の合併の検討も必要と思っている。
- ・現在14班であるが、高齢化により運営が難しくなっている班が出てきており、班の再編が求められている。（2班程度）
- ・町内にマンション（60世帯）があり、運営当初から町内会加入を勧めているが、未だに未加入で現在も交渉中です。
- ・役員におまかせで意見も提案もない。
- ・町内に集会場がなく手軽に集まり話し合う場所がない。
- ・自分では協力や努力をしないのに募金や作業について苦情が多くて、それらがもとで足並みが乱れて困る。自分で進んでやらない者は決まった事は反対せず従ってほしい。なにかにつけ文句の多い人は後になって言うので、後になってからでなく当初言えば折り込みずみで建設的に事は進むのに、無視すればしたて物事にイチャモンつけるので困ります。
- ・前向きな意見、提言等が多くあればよいと願っています。（役員会、総会で意見を言う人は殆どない。）
- ・世代を越えた協力体制の確立。特に仕事を持つ若者の参加が厳しく、今後の大きな課題である。
- ・1：高齢化により班の機能が十分でなく、14班を9班に編成替し、世帯数の適正化を行った。（H22年）  
2：班ごとに各部員を選任したが、高齢者と女性が大部分であるため、実働出来る部員数に減らした。（9人→4人）
- ・防犯灯（公衆）の電気使用量料、町内会費での支払いであるが、これらは公金での支払いにしては？又省エネ対策を望むのであれば公金で電気のLED化を進めてはどうか？
- ・ゴミ置き場のマナーについて（学生さんが多いので）分別もできていない。（現状は自治会が袋から出して整理している）それに対する不満。
- ・1月総会、トンド祭、7月納涼祭、9月～11月の内にレクリエーション。12月もちつき、その他5月神社礼祭、3ヶ月毎に資源回収、年2回自主防災事業等々。活動は活発に行っているとはいいますが、少子高齢化に伴い人出が不足な事も多々有り、今後の活動が難しくなりそうです。今後人手のかからない事業に変更してほしい意見もあります。親睦もかねなんとか維持したい。
- ・自治会へ調査依頼（特に在命確認など）が頻繁にあるが、市で所有している情報なのに更新されないことがあって調査担当者が困る。それとも市側で職員なり業務委託された調査員なりが責任をもって行うべき。地元は無償でさせようという魂胆が気に入らない。→清掃や除草も有償ボランティアなどが有ると聞く。何故調査業務や管理業務が有償委託ではないのか。
- ・大地震、大災害の災害時対応備品（発電機、照明、担架）の倉庫を早く造って。
- ・全家庭の共益費（水道、共同電気、町内会費）をきちんと払わない人がいる。ガス、電気などは支払わないと止まるが、水道に関しては町内会で全部を合わせて水道局へ払っている為止まる事がなく、それをいいことに水道代をためる人がいる。
- ・現在町内で自主防災会が設立していない為、自主防災会の立ち上げを検討したい。

## 2. 暮らしの安心

問2-1 地震等大規模災害が生じる危険に対しての対策や話し合い（1つだけ）  
（サンプル数：209/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 訓練の実施やマニュアル作成等対策をとっている	27	19	7	8	0	5	5	1	38	18.2%
② 話し合いを進めている	19	18	9	1	8	11	6	1	45	21.5%
③ 今後話合う予定	16	12	9	4	22	8	5	0	51	24.4%
④ 特にない	28	25	11	3	11	8	9	0	56	26.8%
⑤ その他	8	8	4	0	3	2	2	0	15	7.2%
⑥ 無回答	2	2	0	0	1	1	0	0	4	1.9%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

### 「その他」の主な記述

<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間、夜間の町内人口の把握、要介護・介助者の実態把握・避難所の特定。（市役所、公民館）</li> <li>・高齢者が多いため共助は期待できないので自分の身は自分で守れるよう伝達。</li> <li>・年3回防災訓練を実施。（1回は地区、2回は隣接2町と合同で実施。）</li> <li>・防災研修を年1回開き、避難方法や防御策を話し合う。</li> <li>・自主防災会を作って活動を始めている。（H22. 2月から）</li> <li>・近隣の町内会との防災訓練。</li> <li>・特に話し合いを進めているという程ではありませんが、会合がある折に災害対策については、会員の皆様からそういった話が出る程度です。</li> <li>・話し合い終了、自助とする。</li> <li>・ビデオ視聴の時町民でいろいろと話し合いを持つ。</li> <li>・公民館で開催される講演会、避難所見学会等を総会時に伝達している。</li> <li>・消火器の整備、並びに消火訓練の実施。</li> <li>・横のつながりは少なく、テナントがかなり多く、特に話し合いがしにくく、今後話し合うようにしたい。</li> <li>・地区の災害時避難訓練に合わせ町内単独で参加（今年2月）、中学の多目的教室に避難（参加40人、幼児～老人）、災害時対応の学習講演会（毎年）、消火防水訓練（毎年）。津波、大水害時には市営住宅に避難できるよう、方法を示してほしい。</li> </ul>
---

問2-2 自治会（町内会）区域での空き家の有無（1つだけ）（サンプル数：209/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① ある	82	68	31	14	42	33	21	2	180	86.1%
② ない	17	15	9	2	3	2	6	0	28	13.4%
③ 無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0.5%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

→空き家の現在の状況（いくつでも）（問2-2 空き家が「①ある」の場合）  
（サンプル数：179/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 所有者又はその家族が分かる	58	50	25	8	35	24	16	1	134	43.5%
② 空き家となっている理由が分かる	45	34	16	11	24	25	15	1	110	35.7%
③ 近隣・自治会・行政などとの協力関係が構築されている	4	4	3	0	7	4	0	0	15	4.9%
④ 所有者や空き家の理由などが全く不明	15	14	6	1	6	10	2	0	33	10.7%
⑤ その他	6	5	2	1	4	3	2	0	15	4.9%
⑥ 無回答	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
合計	129	108	53	21	76	66	35	2	308	100.0%

「その他」の主な記述

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では都会で生活、退職には帰る予定。</li> <li>・経済的に売却したい。</li> <li>・所有者が分かっている物件と不明な物件とあるが、古い物件が多い。</li> <li>・葬儀等に自治会が関与した時は聞けるが、その他は事情があると思って聞けない。</li> <li>・不動産屋の看板あり。（売家）</li> </ul>
---

→空き家に対する自治会（町内会）としての評価（1つだけ）（問2-2 空き家が「①ある」の場合）（サンプル数：179/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 活用の可能性があるなど、何らかの価値がある	18	16	5	2	11	13	4	0	46	25.7%
② 価値がない	20	18	11	2	18	8	7	1	54	30.2%
③ 分からない	40	31	13	9	13	12	10	0	75	41.9%
④ 無回答	4	3	2	1	0	0	0	0	4	2.2%
合計	82	68	31	14	42	33	21	1	179	100.0%

→評価が「①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある」の場合の理由（いくつでも）  
（サンプル数：46/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心			中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① 地域の中で何らかの役割を果たしている	0	0	0	0	1	3	0	0	4	7.8%
② 損壊がそれほどでもなく、利活用の可能性がある	16	14	5	2	10	11	3	0	40	78.4%
③ その他	2	2	1	0	1	2	1	0	6	11.8%
④ 無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2.0%
合計	19	17	6	2	12	16	4	0	51	100.0%

「その他」の主な記述

- ・若い人に売ってほしい。
- ・公共資金を使い福祉施設に活用。
- ・集会場として活用できないか検討中。
- ・1戸建に対してはある程度外観など改修すれば価値が上がるのではないかと。当町内会地域は地の利が良い。
- ・借家として空家になっている。

→空き家を建物として活用する場合の活用方法（いくつでも）（評価が「①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある」の場合）（サンプル数：46/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 新たな住民の同居	12	11	2	1	9	11	4	0	36	47.4%
② 食料品・日用品の店舗	1	1	1	0	2	1	0	0	4	5.3%
③ 食堂・レストラン	1	1	1	0	0	1	0	0	2	2.6%
④ 喫茶店	1	1	1	0	0	2	0	0	3	3.9%
⑤ 地域の方々の交流の場	6	6	1	0	4	3	0	0	13	17.1%
⑥ 子育て活動の拠点	1	1	1	0	1	1	0	0	3	3.9%
⑦ 福祉活動の拠点	2	1	1	1	2	2	0	0	6	7.9%
⑧ 美術・芸術活動の拠点	1	1	1	0	0	3	0	0	4	5.3%
⑨ 特に考えていない	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1.3%
⑩ その他	1	1	0	0	0	2	1	0	4	5.3%
⑪ 無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	27	25	10	2	18	26	5	0	76	100.0%

「その他」の主な記述

- ・若者向きのカジュアル雑貨、ファッション系の小店舗が面白いと思います。
- ・イベント時の会場（休憩場）。

→評価が「②価値がない」の場合の場合の理由（いくつでも）（サンプル数：54/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 地域の中で何も役割を果たしていない	7	6	3	1	10	6	4	0	27	28.4%
② 損壊が著しく利活用が困難	10	10	6	0	10	5	4	1	30	31.6%
③ 危険	3	3	2	0	7	1	2	0	13	13.7%
④ 犯罪の温床になる恐れ	0	0	0	0	3	0	1	1	5	5.3%
⑤ 不衛生	2	2	1	0	6	1	1	0	10	10.5%
⑥ その他	4	2	2	2	2	2	0	0	8	8.4%
⑦ 無回答	2	2	1	0	0	0	0	0	2	2.1%
合計	28	25	15	3	38	15	12	2	95	100.0%

「その他」の主な記述

- ・持ち主と話し合うとしても具体的な利用用途が今のところ考えられないから。
- ・窓がこわれ、のら猫の住み家となっている。
- ・売り出し価格の問題
- ・ホームレスの人がたまに住んでいる事もあり。火の始末が心配です。

→空き家を解体して土地として活用する場合の活用方法（いくつでも）（「②価値がない」の場合）  
（サンプル数：54/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心		郊外	中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 地域の方が集う 広場	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1.4%
② 公園	1	1	0	0	1	0	0	0	2	2.9%
③ 駐車場	5	5	4	0	4	2	1	0	12	17.1%
④ 隣家への売却	9	9	6	0	2	3	0	0	14	20.0%
⑤ 特に考えていな い	7	6	4	1	10	6	4	1	28	40.0%
⑥ その他	2	2	1	0	2	1	3	0	8	11.4%
⑦ 無回答	2	1	0	1	3	0	0	0	5	7.1%
合計	26	24	15	2	23	12	8	1	70	100.0%

「その他」の主な記述

- ・何の役にもたちません。
- ・畑。
- ・持ち主が遠方にいるので、この事に関しての問い合わせはしていません。

### 3. 生活環境（交通・店舗・医療）

#### 問3-1 地域における、過去10年間の公共施設・サービス等の変化

##### ①事業所（企業、役所等）（サンプル数：31/209）

	県 計	
-15~-11 社・所	1	3.2%
-10~-6 社・所	2	6.5%
-5~-1 社・所	20	64.5%
0~4 社・所	6	19.4%
5~9 社・所	1	3.2%
10 社・所以上	1	3.2%
合 計	31	100.0%

##### ②バス路線（サンプル数：47/209）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2社が1社に減。</li> <li>・ 100円バスの停留所が3か所に増えた。</li> <li>・ 本数減。</li> <li>・ 市営100円バスにより便利。</li> <li>・ はまる一歩バス（100円）の新設により非常に良くなった。</li> <li>・ 1日のバス運行が1/3に変更された。</li> <li>・ 停留所1か所廃止。</li> <li>・ 100円バスの停留所が出来た。</li> </ul>
---

##### ③スーパー（サンプル数：32/209）

	県 計	
-2 店舗	3	9.4%
-1 店舗	14	43.8%
0 店舗	2	6.3%
1 店舗	12	37.5%
2 店舗以上	1	3.1%
合 計	32	100.0%

##### ④コンビニ（サンプル数：29/209）

	県 計	
-1 店舗	3	10.3%
0 店舗	1	3.4%
1 店舗	22	75.9%
2 店舗以上	3	10.3%
合 計	29	100.0%

##### ⑤医療機関（サンプル数：22/209）

	県 計	
-6~-5 医院	1	4.5%
-4~-3 医院	0	0.0%
-2~-1 医院	13	59.1%
0~1 医院	7	31.8%
2 医院以上	1	4.5%
合 計	22	100.0%

##### ⑥銀行（サンプル数：20/209）

	県 計	
-2 店舗	2	10.0%
-1 店舗	11	55.0%
0 店舗	2	10.0%
1 店舗	4	20.0%
2 店舗	0	0.0%
3 店舗以上	1	5.0%
合 計	20	100.0%

##### ⑦郵便局（サンプル数：5/209）

	県 計	
-1 局	3	60.0%
0 局以上	2	40.0%
合 計	5	100.0%

問3-2 その他、過去10年間の地域の大きな変化

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所帯数の減、子供の少数化。</li> <li>・若い人が町内から減っている。</li> <li>・県住がなくなった。</li> <li>・マンションの新築（48戸）</li> <li>・久松閣、いなば荘の解体後、雑草地になっています。この土地を公園にするとか老人住宅にして1階にスーパー、衣料品店等が建設されればいと望んでいます。</li> <li>・田んぼ→アパート、マンション。</li> <li>・農地や空地であった土地がマンション等の建物になっている。</li> <li>・空地が増えた。</li> <li>・食料店、スーパーマーケットなどがなくなってしまった。歩いて買い物するところがなくなった。</li> </ul>
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の減で駐車場の利用がなくなったり、人通りがなくなったり、大きく変化した。</li> <li>・過去10年では大きな変化はないが、今後10年では空き家、居住者が30世帯のうち3割弱ぐらい減すると予想できる。</li> <li>・高齢化と人口微減少。店舗の減少あり。芸術祭等の活動により町民のつながり強化される。</li> <li>・町内の若桜街道側店舗のテナント含め入れ替わりが多い。</li> <li>・確実に高齢化が進展している（加入世帯の減少）。新生児なし、独居高齢者の増と死去、自宅療養高齢者の増。</li> <li>・空地の貸駐車場の増。</li> <li>・本通り、パレットとっとり、スーパー。</li> <li>・社宅、寮跡地に合計9軒の新築有り。子どもが増えた。一方高齢化に伴い空家も増えている。</li> <li>・高層マンションの建設により景観が悪くなった。</li> <li>・スーパー等の日用品販売店がなくなり、特に車のない家庭においては、食料品をはじめ日用雑貨の購入に大変困難が生じている</li> <li>・分譲マンションが建設された（65室）。ワンルームマンションが建設された（100室）。</li> <li>・環状道路工事、千代橋かけ替えで立ち退きが進み、従来の戸数の1/3以下となった。</li> </ul>
	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームが3つとなった。町内会に加入している。</li> <li>・9号線バイパス。</li> <li>・一戸建て住宅、集合住宅ともに急増。（世帯数、人数の急増）</li> <li>・地区体育館が設立された。</li> </ul>
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の減少。</li> <li>・10年以上前（平成2年ごろ）持ち家を不動産屋に売って校区外に出られ1600㎡の空き地が出来た。</li> <li>・車の渋滞が増えた。</li> <li>・生活協同組合スーパー百科店→大規模駐車場、銀行→カフェレストラン、薬店→複合商業ビル、書店→複合商業ビル、民家→ミニ美術館（画廊）、民家→薬局。</li> <li>・近くのスーパーが閉店した。</li> <li>・3年前、酒屋の後にパチンコ店が出店。</li> <li>・道路は新設されたり、川幅は広がるが、地元町民への恩恵は少ない。</li> <li>・銀行跡地に三階建ての学生マンションが建築中である。</li> <li>・世帯数減少のため自治会への加入世帯が減っている。マンションが建設された。</li> <li>・防犯カメラの設置。</li> <li>・N T T、デパート等の人員減による町内店舗の減少。</li> <li>・島根県から港に竹の子売りの舟が出入りして、盆栽や花や切り花売り、梨や果物売りで賑やかだった。乗用車が普及してからはそれ等の商人達も高齢化により代わりして跡継ぎ者が無く、自然と廃業してしまって今は無くなっていった。</li> <li>・大規模ホテルの新規建設による開店。</li> <li>・空家が増えた。新たに新築マンション建設中。</li> <li>・町内で大きかった小売店が廃業された。ガソリンスタンドも一社閉店した。</li> <li>・平成23年にシニアマンション（74室）が建設された。（中心市街地活性化事業として）</li> <li>・高齢化。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理後で家は比較的新しいが、後継者がなく空家が目立っている。</li> <li>店をたたまれて、その後借りてがいなく、そのまま空店舗になっているところが数カ所ある。</li> <li>米子駅前より国道180号線の拡充。</li> <li>テナント、ホテルの増加により自治会の加入率が減った。</li> <li>過去に喫茶店がありました。15年前に閉店し、あとは食堂関係が無くなりました。</li> </ul>
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者夫婦、独居者が多くなった。子供の数が少なくなっている。(特に幼児)古い家屋が取り壊され空き地へ。</li> <li>銀行の移転。スーパー、病院の廃業。又、家具店、美容院、食堂、クリーニング等の廃業が相次ぎました。</li> <li>郊外が開発され、ドーナツ現象が起こり、旧市街地は過疎化が進み、住宅と人口が激減していった。</li> <li>世帯の減少と高齢化進展。</li> <li>東町公民館を建設したこと。</li> <li>少子高齢化による人口の減少。</li> <li>少子高齢化が進行し、高齢者のみの世帯が増加し、又空家も増加した。建物を解体し、多くが駐車場へと転用されている。</li> <li>空地の増加。</li> <li>コンビニ、ドラッグストアなど2店舗が開店し、町として便利が良くなった。</li> <li>1：大型商業施設が出来た。2：老人施設が出来た。(デイサービス)</li> <li>3：ワンルームマンションが初めてできた(2F建て18室)</li> <li>人口減、空き店舗の増。</li> <li>住民の高齢化及び児童数の減少。</li> <li>男性の減少が顕著。独居の高齢化が多い。未婚者が増えた。新築アパートに子育て世代が増えている(職場が安定している人)。県外から親元へUターンした世代が2世代増加。近所又は同居の祖父母が育児に協力している家族がある。親の近くに子供夫婦が集まっている。</li> <li>個人商店の閉鎖。(空き屋のまま、あるいは駐車場)</li> <li>外観的には大きな変化なし。静かに高齢化、少子化が進む。地場産業的な製造業(豆腐屋、こんにゃく屋、パン屋、菓子屋及び店舗)が次々となくなった。</li> <li>大きなスーパーが閉店してしまい、不便だ。</li> </ul>
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>新築が12軒有。</li> <li>鳥取県西部地震以来、白地が増加した。</li> <li>少子高齢化が進み、後期高齢者(75歳以上)が78名にも増え、また30~50歳の人著しく減り、町内活動の無気力、無関心、防災への心配が増している。</li> <li>子供の減少、空き家の増加が加速している。町内の何とか屋さんの減少、巨大スーパーの増加で買い物難民の増加。</li> <li>近くのスーパーが閉店した為、お年寄りの買い物に不便がおきている。</li> <li>水木しげるロードの来訪者が大変増えた。</li> <li>保育園の閉鎖・さかいみなど荘の閉鎖。</li> <li>1：屋外で遊ぶ子供の声がかえなくなった。(子供の遊びの変化も影響あり。)</li> <li>2：老人には買い物が不便になった。(特に独居にはきびしいと思う。)</li> <li>3：隣保に対する考え方が昔より希薄になりつつある様な気がする。</li> <li>二階建ての6~8戸入居のコーポができた。</li> <li>町内の人達が少なくなるばかりです。</li> <li>1：居住者の減。2：駐車場と空地が増えている。</li> <li>アパートの増加。</li> </ul>

問3-3 交通・買い物・通院等に関する対策や話し合いの有無(サンプル数:208/209)

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中心		中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① ある	14	12	7	2	4	2	1	0	21	10.1%
② ない	74	62	30	12	38	31	25	1	169	81.3%
③ 無回答	12	10	3	2	3	2	1	0	18	8.7%
合計	100	84	40	16	45	35	27	1	208	100.0%



「その他」の主な記述

- ・だんだんバスの右回りと左回りと大外回りを考えて。
- ・バスが主要道路しか通りません。市道など（10人程度）を小型バスを運行していただければといつも話します。
- ・食品店が遠くなって、車の使用が必要となっている。
- ・通学路の安全性に不安。
- ・近所（老人が気軽に徒歩で行ける範囲）に生鮮食品が買える店が少ない。
- ・移動販売の利用。
- ・米子市のだんだんバスで通院や買い物に便利になった。本当に助かる。高齢者にとって市内中心部に行くのにとてもいい。
- ・公共交通の市内循環バスの本数を増やしてほしい。
- ・スーパーの復活
- ・循環バスのコース変更を。（検討出来る限り近隣周辺までの延長を）
- ・ボランティア（町内の若い人を中心に）で除雪作業を行い、救急車や消防車等緊急事態に対応出来るようにしたい。当然住民の交通の安全も！！
- ・高齢者が買い物できるスーパーが少し遠い。
- ・買い物では衣料類の販売店がないので、特に老人にとっては不便である。

## 4. コミュニティ

### 問4-1 自治会（町内会）区域での固有の文化的遺産（伝統芸能、祭など）の有無 （サンプル数：209/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心	中心			
		中活		中活						
① ある	37	28	13	9	18	19	4	0	78	37.3%
② なくなった	11	11	5	0	3	4	1	0	19	9.1%
③ 元々ない	46	40	20	6	24	11	22	2	105	50.2%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

「ある」の場合の主な記述

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖神社の祭。</li> <li>・子供の祭、納涼祭。</li> <li>・1：5月に麒麟獅子舞。</li> <li>・2：8月に納涼祭（2年に一度）</li> <li>・火伏神社例祭。江戸時代ナベ、カマを製造していたが、仕事の性格上火を扱うため火事が再三発生したようで火、を治めるといった願いからその名が由来したと聞いている。毎年6月の第1日曜日が本業で、前夜祭には子供達のちょうちん行列を行っている。火伏神社奉賛会を設立して合同して祭事を行っている。</li> <li>・大森神社、例大祭。（子供神輿、サカキ）</li> <li>・栗浜神社の祭りは行っていますが、昔はにぎわっていましたが町がすたれて現在はほぞぼぞと祭り事をやっています。</li> <li>・吉方稲荷神社例大祭毎年（8/1～2）</li> <li>・岡崎邸。現状のままだと危険な家屋であると思う。必要部分の移設保存が望ましい。</li> </ul>
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片原神社。</li> <li>・芸術祭。</li> <li>・五臓圓ビル。</li> <li>・長田神社の夜祭り。</li> <li>・屋台。</li> <li>・隔年開催の聖神社幸祭に町内として屋台参加。参加協力者、子供の減少で困難になっている。</li> </ul>

	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白兔神社春祭り、川下神社夏祭り。</li> <li>・獅子舞、石釜漁。</li> <li>・しし舞い、はねそ踊り、盆踊り。</li> <li>・地域独特の特別な祭はありませんが納涼祭はあります。</li> <li>・春祭り、秋祭り。</li> </ul>
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鴨御祖神社の春、秋祭。</li> <li>・加茂神社祭。</li> <li>・地蔵まつり、加茂川まつり。</li> <li>・旗ヶ崎神社（荒神さん）で春夏秋に祭があつて賑わつたが、近年は境内で遊ぶ事の禁止や祭も寂しくなつて祭の日に店も出なくなり、最近では寄付集めだけに頼つていて有名無実の存在となっている。そのうち無くなるのでないか。外で遊ぶ事が出来ず、家の中でテレビゲームやマンガとゆがんだ環境で育つた子供はいじめや陰湿な性格を持つ様にならないか。子供達をもっと自然のなかで自由に遊ばせてたくましく育ててやりたい。もともと寺や神社はそんな地元民の為にあつたやに思う処です。</li> <li>・旗ヶ崎神社境内にて稲荷祭（初午）を自治会にて行つています。</li> <li>・正月のとんど祭を近郊3町で合同で毎年やつている。</li> <li>・自治会の主催により毎年8月23日地蔵さん祭りを開催する。</li> <li>・4/21 お大師さん祭、8/23 地蔵祭、5/28 荒神様祭、7/15 祇園祭。</li> <li>・毎年深浦神社による子ども神輿巡行。</li> <li>・七夕神社、文化資産としては「後藤の屋敷」。</li> <li>・無形文化財、米子盆踊り。</li> </ul>
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河原町地蔵祭り。</li> <li>・天満宮夜宮。（天神様をまつた夜のお祭り）</li> <li>・とんど祭。</li> <li>・長谷の観音市賀茂神社の例大祭、倉吉打吹まつり。</li> <li>・奉塔さん夏祭。僧侶のお経と町内会と子供会での夜店。</li> <li>・天神祭。（毎年6/30）</li> <li>・住吉神社の夏祭。秋祭みこしが出る。</li> <li>・町内神社の夏、秋祭り。</li> <li>・今年8月盆ごろにそうめん流しをしている。</li> <li>・木山神社夏祭。</li> <li>・花宮神社、子供天満宮、夏祭りを開催。（7月中旬頃）子供神楽巡行、ソーメン流し、夜店、輪踊り。</li> <li>・金毘羅宮、天満宮（7月9日）、子供みこし（10月11日）、打吹まつり屋台（山車）巡行（8月4日）。</li> <li>・伝建群に指定された。</li> <li>・稲荷神社の夏祭り（夜店）。住民の寄付により盛大に行う。八幡神社の秋祭に町の子供みこしが巡行する。子供みこしは宝くじの補助により入手。</li> </ul>
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖大祭。</li> <li>・船玉神社、諏訪神社秋祭り。船玉神社、諏訪神社左義長祭。</li> <li>・正月明けに「とんど祭」を実施。</li> </ul>

「なくなった」の場合の主な記述

<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏まつりを8月に、子供みこしを10月に行つていた。しかし、まつりを準備する要員が減少。（若い人が手伝えなくなった。）皆さんが止めることに賛成したため。子供みこしも子供の減少と保護者の協力が難しい為。</li> <li>・旗崎神社（灘町荒神さん）の子どもみこし。</li> <li>・栗溪神社の祭礼の際に小さな屋台を出していた。屋台は残している。</li> <li>・今年より総会にて夏祭は廃止となつた。</li> <li>・子ども天満宮をしていたが、子どもがいなくなつて祭が出来なくなつた。</li> <li>・子供みこし→子供数の減少でかつぎ手が足りなくなつた為。</li> <li>・小さな神社が近くにあり、以前は子供会で絵を提示したり手作り神輿を担いだりしていたが、20年位前からなくなつた。</li> <li>・町の分割により子供の夏祭りが無くなつた。</li> <li>・片原神社の祭り。子どもたちの減少により屋台を出す祭りが出来なくなつていく。</li> </ul>
---

- ・老人会組織支柱がなくなったり、活動目標を失った。
- ・麒麟獅子舞の伝承は断えて乏しいが、面・太鼓等の用具類は町内会で保存している。

問４－２ その他、住民同士の交流を推進するための地域資源やグループの有無  
(サンプル数：209/209)

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① ある	34	26	16	8	15	17	12	1	79	37.8%
② ない	59	52	22	7	30	17	14	1	121	57.9%
③ 無回答	7	6	2	1	0	1	1	0	9	4.3%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

「ある」の場合の主な記述

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会サロン、青壮年会。</li> <li>・公民館中心の活動に各自が協力参加している。</li> <li>・集会所を利用し美術展、作品展の開催。(老人クラブ中心)</li> <li>・公民館主催の各種講演会、催し同好会への出席。地区体育会等への参加。</li> <li>・大森神社祭り(獅子舞さかき台かつぎ、子供神輿)、町内運動会、子供会各行事、町内会レクリエーション(各年)、納涼祭(各年)、カラオケ(老人会、毎週1回)、体育会行事参加、体育会慰労会(各種目)、体育会麻雀大会(年1回)。</li> <li>・南町公園の月一度の清掃、草取り。</li> <li>・年1回の親睦会(ボーリング、グランドゴルフ、旅行)。総会後の懇親会。</li> <li>・廃品回収などやっている。(町内会)</li> <li>・婦人会やおやじの会などがある。</li> </ul>
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿野街道振興会の若者中心に色々活動している。</li> <li>・住民同士の交流を推進するために週に1回「お茶飲み会」と称してマージャンをしたり食事会を催したりしている。15年くらい続いている。</li> <li>・本町公園にて春の観桜会と秋の月見会(芋煮会)。</li> <li>・夜回り。(火の用心)</li> <li>・川端界限活性化協議会。</li> <li>・地区の各団体の活動と文化サークルが公民館を利用し活動している。</li> <li>・納涼祭等町内イベントを実施。町内交流を積極的にしようとしている。高齢者(女性)の仲良しグループ(10名弱)が定期的な楽しみ会を持っている。</li> <li>・子供会、老人クラブ、隣保(8班)の班長制。</li> <li>・自警団、防犯会、老人クラブ(泉会)等。</li> <li>・月1回会員同士が集まり、町内会や地域んことなどを話し合う会、資源回収などを行う会を続けており、町内会と表裏一体で活動している。</li> <li>・防災訓練、なかよし会(2回/年)、バーベキュー大会(1回/年)。</li> <li>・リサイクル活動、廃品回収(年4回)</li> <li>・自警団、体育会、子供会、女性の会、老人会。</li> </ul>
	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りの集まるサロン。</li> <li>・囲碁クラブ、貝がら節保存会。</li> <li>・生花、ゴルフ。</li> <li>・白兔獅子舞保存会。</li> <li>・交流会を班別に実施。</li> <li>・子供会、壮年倶楽部。</li> <li>・地子連、ぜにだっこ、公民館祭りなど実行委員会がある。</li> </ul>
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドゴルフ、カラオケグループ有り。</li> <li>・公民館活動、他自治会とのサロン会。</li> <li>・グランドゴルフ同好会、囲碁同好会、生花グループ等、サークル活動はある。</li> <li>・加茂川の清掃活動及び花壇の管理。</li> <li>・子供会、婦人会、青年会、老人会。</li> </ul>

倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの町内には敬老会という名のグループはありません。入会を嫌がる方が多いからです。そのため別の名をつけて活動しています。60歳になったら自動的に入会して町内行事、研修会等で高齢者の方の介助もしています。そのため参加者が大変多いのです。</li> <li>・自治会活動とは別口で、好きなことを企画して酒を飲む会が中心となって子供神輿をあげる。</li> <li>・町並保存会。</li> <li>・民生委員と福祉協力員、青年団（50歳以上が主）、老人会、お茶の会、高齢者有志の体操教室、認知症予防の会</li> <li>・いきいきサロン、しめなわ作り、料理講習会。</li> <li>・井戸端会議的なつどいを月1回開催している。</li> <li>・何町内かでまとまった老人クラブ。</li> <li>・高年会、高年女性会、囲碁の会。</li> <li>・高齢化率41%と高く、「認知症予防教室」受講後、H24年3月から「いきいきクラブ」を立ち上げ、勉強会を1回/月開催している。</li> <li>・高齢者のサロンがあり、月1回集会をしているグループがあります。（10～15人位）</li> <li>・今年より高齢者向けのニコニコサロンを始めた。現在は月2回実施している。（会員約20人）</li> <li>・自治公民館主導で祭り好きな人を集め実行委員会制で町夏祭りを実施している。</li> <li>・女性を中心とした”いきいきサロン”。</li> <li>・認知症予防講座を市の主催から引き継ぎ、1回/週のペースで自主的に開催している。（館長、民生委員、社会部長、女性部長などが企画運営に参画している。）老人クラブ、子供会への補助と事業の協力。</li> </ul>
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1：子供会…小学生を対象に近隣の自治会で子供会を結成し各種行事（運動会、祭、クリスマス会等）に参加している。各自治会が一部を支援している。</li> <li>・2：サークル活動…個人的に市や趣味のサークル等で活動している人もいる。</li> <li>・運動会、グランドゴルフ、ゲートボール等。</li> <li>・花いっぱい運動を実施。各家庭の通路沿いにプランターを2つづつ飾り付けしており、年2回全員で植え替え作業をしてコミュニケーションを図っている。</li> <li>・魚のフィギュアの形の置物を設置している活動（魚名、あご、ひらめ、マツバガニ他）。元気みなと商店街を立ち上げて只今活動中。「うまいもん朝市」を月2日実施中。</li> <li>・焼肉大会を行っている。</li> <li>・聖大祭で町外へ出ている。若者の参加、老若、子どものコミュニケーションの場となり、唯一のアイデンティティーの確認の場となっている。</li> <li>・総会等で話し合いをしている。</li> </ul>

問4-3 内外問わず住民同士の交流を推進する取り組みについての意向（サンプル数：209/209）

	鳥取	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
		中心		郊外	中心	中心	中心			
			中活		中活					
① 既に取り組んでいる	21	18	12	3	11	11	5	0	48	23.0%
② 今後取り組みたい	6	6	3	0	7	4	3	0	20	9.6%
③ 特に取組もうとは思わない	30	19	9	11	12	9	12	2	65	31.1%
④ 分からない	34	32	14	2	11	8	7	0	60	28.7%
⑤ 無回答	9	9	2	0	4	3	0	0	16	7.7%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

「既に取り組んでいる」又は「今後取り組みたい」の場合の主な記述

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転勤族（公務員が多い）が入居してこられたら、積極的に声をかけ行事参加をうながし、和を大事にしている。大変喜んでおられる。</li> <li>・3町内で自主防災をおこなっている。</li> <li>・地区自治連合会、福祉協議会、まちづくり協議会等が中心となり、色々のイベント作成事業等があり活発に運動している。</li> <li>・グランドゴルフなどを通して他地区との交流を推進したいと考えているが、メンバーが限られ人数が少ない。</li> <li>・子供から老人まで気楽に集いすごせる空間づくり。河川、道路、公園を使いやすく安全にして集い易くするなど。</li> <li>・夏には納涼祭を、新年には新年会を催して交流をうながしている。</li> <li>・桜まつり（4月）、新年会（1月）、春秋一斉清掃、防災訓練（年2回）等を通じ交流及び助け合いムード作りになっていると思う。</li> <li>・共通の趣味を通して交流を図る。</li> </ul>
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火訓練等の事業とその後の話し合い等。</li> <li>・毎年、花見、納涼祭のどちらかを実施している。町内会以外の近隣マンションに居住する主に小中学生も参加している。</li> <li>・聖神社祭参加、川端ジャズアーケード 2012 春、川端サマーコンサート 2012、ストリートパフォーマンス 2012 川端通り、川端ジャズアーケード 2012 秋。</li> <li>・地区のまちづくり協議会で「お年寄り」「子ども」「にぎわい」の三部会に分かれ、年間行事計画を進めている。</li> <li>・春・秋の防災訓練を近隣3町で実施している。これを機に交流、懇親に今後取り組みればと思う。</li> <li>・芸術祭。</li> <li>・町内会で納涼祭を実施（年1回）しているが、今後の方策として近隣町内を巻き込んだ広域で大規模なまつりを行いたい。</li> <li>・公園の月1回（4月～12月）の清掃活動。</li> </ul>
	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴルフクラブ。10年くらい前より他にも働きかけをしているが、思うように進まない。</li> <li>・体育の日に運動をかねて老若男女集まり食事しながらコミュニケーションをしている。</li> <li>・懇親会、いきいきサロンなど。</li> </ul>
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下町のまちづくりの会。</li> <li>・町内運動会、グランドゴルフ大会、婦人部の勉強会。</li> <li>・特にそのためにという意味ではないが、町内の新年会、総会、婦人部のレクリエーション、一斉清掃等の行事を宜して交流の機会を持っている。</li> <li>・校区運動会への積極的参加。参加者に対し昼食を無料で配布。運動会后、懇親会。（バーベキュー、運動会不参加者も含む。本年で4年目、人数増加傾向。）</li> <li>・校区民運動会への参加。年1回の全戸対象の懇親会。地藏祭の実施。一斉清掃の実施。</li> <li>・毎年花見会を開催し、住民同士の親睦をはかるとともに公民館活動への積極的な参加を呼び掛けている。（納涼フェスティバル、運動会、公民館祭等）</li> <li>・自治会のレクリエーション。運動会、公民館祭の参加。</li> <li>・テナント事業者の自治会加入促進、情報交換。</li> <li>・子供達に太鼓を教えて祭を盛り上げ地域の名物に育てられれば荒神太鼓として盛り上がる力になる。今子供太鼓や女性の女太鼓、娘太鼓が地域おこしに人気を集めているが、勢いのある荒神太鼓がひと役買う力にならないかと夢見ている。</li> <li>・校区民運動会終了後の飲み会等を開き、懇親を図りたいと思っている。</li> <li>・防災訓練。</li> </ul>
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内にある老人福祉施設との交流が行われている。</li> <li>・三町合同による地域の運動会への参加。</li> <li>・運動会の終了後、3町内の交流会を行っている。</li> <li>・自治公民館の各部の事業への参加を呼びかけている。災害避難訓練を毎年行い、一人一人を大切にすることを育てている。</li> <li>・今年よりニコニコサロンを始めたが、予算的な問題あり。今後町としては応援していく。</li> </ul>

境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街のため貸店舗を借り、開店する店は必ず自治会に加入して頂いている。</li> <li>・夏祭り、定期的な公園の芝刈りをしている。自治連合会のスポーツ、運動会に参加している。</li> <li>・夏のバーベキュー懇親会、秋の地区運動会への参加、秋の地区文化展への参加。</li> <li>・隣接する町会と何かにつけて合同で集まり、焼肉パーティー等を行ったりしている。更に活性化させたい。</li> <li>・グランドゴルフ大会。(小学生から高齢者までを含めて行う。)</li> <li>・高齢者に主体的に活動してもらうようなものがないか考慮しているが、良案が浮かばない。</li> <li>・隣接町内会と合同の一日旅行。</li> </ul>
-----	------	--

問４－４ マンション等の地域の自治会（町内会）への加入状況（いくつでも）（自治会（町内会）区域にマンションがある場合）（いくつでも）（サンプル数：123/209）

	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心		郊外	中心	中心	中心			
		中活		中活					
① マンション等が単独の自治会（町内会）となり、各入居者が加入している	5	4	2	1	1	0	0	7	4.5%
② マンション等が自治会（町内会）の班となり、各入居者が加入している	9	7	4	2	6	6	2	23	14.6%
③ マンション等 1棟で自治会（町内会）に加入し、各入居者は自治会（町内会）員となっている	15	15	7	0	4	1	2	22	14.0%
④ 入居者が任意に加入している	17	15	6	2	9	5	5	36	22.9%
⑤ 加入していない	31	28	11	3	26	6	3	67	42.7%
⑥ 無回答	1	1	0	0	1	0	0	2	1.3%
合計	78	70	30	8	47	19	12	157	100.0%

問４－５ マンション等で地域の自治会（町内会）との連絡窓口になっている方（いくつでも）（サンプル数：123/209）

	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心		郊外	中心	中心	中心			
		中活		中活					
① 管理組合の理事長（又は理事）	4	4	4	0	1	0	0	5	3.7%
② 管理人（又は管理会社）	26	25	11	1	15	4	5	50	37.3%
③ いない（又は連絡先がわからない）	16	14	8	2	11	4	3	34	25.4%
④ その他	17	12	5	5	9	10	2	38	28.4%
⑤ 無回答	3	3	0	0	1	0	2	7	5.2%
⑥ 管理組合の理事長（又は理事）	4	4	4	0	1	0	0	5	3.7%
合計	66	58	28	8	37	18	12	134	100.0%

「その他」の主な記述

- ・町内会に入会の役員。
- ・小学生がいて子供会に入会している人。
- ・町内に店舗を持ち、住居としてマンションを購入した住民。
- ・町内会に加入入居者へは回覧版で連絡。
- ・小学校に在籍している子供さんの親。
- ・マンション班の班長。
- ・マンションの住民が代表を作り連絡窓口になっている。しかし全て（3か所あり）のマンションではない。
- ・マンションの人も自治公民館に加入して班長が世話をする。
- ・マンションは自治会に加入していないので町としては無視している。
- ・公営住宅も一般住宅も特別なにもしないで連絡している。
- ・毎年、交代制で決定している。
- ・市営住宅2棟で1つの町内会になっている。

問4-6 マンション等入居者と地域住民の方との近所付き合いの今後のあり方（1つだけ）  
（サンプル数：123/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 大いにあった方がよい	18	14	9	4	9	7	6	0	40	32.5%
② 多少方がよい	28	25	11	3	17	6	5	0	56	45.5%
③ 必要ない	9	9	5	0	7	2	1	1	20	16.3%
④ 無回答	5	5	0	0	2	0	0	0	7	5.7%
合計	60	53	25	7	35	15	12	1	123	100.0%

「大いにあった方がよい」「多少はあった方がよい」の場合の主な記述

- ・町として均等に接する事が出来る。
  - ・自治会員の把握が出来ない。
  - ・町内等の催しに参加していただきコミュニケーションがとれる。
  - ・全く交流がなく、川土手の清掃、防災協力など現状では地域をカバーしているので、協力体制をとっていきたい。
  - ・回覧も行かないし、県・市等の情報も周知できない。
  - ・狭い地域で共に暮らしているもの同士、当然の事と考える。
  - ・天災的な事故のあった時に、又火災でも助け合いを必要とした時等、付き合いは絶対必要と思う。住んでいる人が何人かわからないでは、救える命も救えないから。
  - ・地域の中に空白部分は出来るだけない方が良い。防災、その他で。
  - ・高齢化が進み、公営住宅入居者のみでの高齢世帯への対応はむずかしい。地域住民の助けがないと無理である。
  - ・ゴミ出し等のルールを共有でき、不審者等にも対応できる。
  - ・交流により活性化が期待できる。
  - ・防災、ゴミ出し、安否確認など相互連携が望ましい。
  - ・そう思うが、入居者は県外の人が多く勤務も多く実質交流は難しい。
  - ・現在地域のお祭り、レクリエーション等で交流している。
  - ・マンションは比較的若い人が多く、高齢化した地域を活性化できる。
  - ・分譲マンションのため単独自治会を作り合同町内会となる。
  - ・ご近所様ですから何かと助け合えると良いなあと思いますが、それを望んでおられませんので無理にとは思いません。
  - ・ごみステーションの管理、防災訓練など町内会や地区の行事等に参加、協力、役割分担して共に助け合って町づくりをしていくパートナーであるべきだと思う。
  - ・現在、班長もいて町内の活動に参加している。
- 
- ・ただし高齢者の方が多いので敬老会の出席程度である。
  - ・わが町内のマンションは単身者用であり、町内会への加入の意義を認めていない方達だが、防災上の連携等は必要と考えられるから。
  - ・再生資源ごみ回収 etc に協力してほしい。
  - ・学校行事以外の地区活動。（運動会、清掃等）

- ・ケースバイケースなのでは。
- ・ごみ収集に関するトラブルを解消したい。
- ・と思うが気性の分からない人が住居していて関わると言いがかりをつけられたことがある。
- ・子供の運動会で食事を無料にしているが、マンションと町内の子供を差別しないようにしているが、総会でマンションの子供と町内の子供の対応を変えたらとの意見もでている。
- ・子供会活動、ゴミステーションの利用。
- ・町内会でのふれあい。顔がわからない、入居条件に問題があるのかも。
- ・マンション入居の理由が近所付き合いをしたくないと言うひとがいる。
- ・一部のマンションでは入居時に町内会に加入する事を拒否しているが、町内会としては行事に参加してほしい。
- ・単身赴任者が多い為難しい。
- ・集合住宅への入居ランクの差が大きい。夫婦に子供がある人が入居する住人は学校との連携もあり、町内との付き合いはある。…歓迎。高齢者や一時的住人等が集まる住宅は町内会へ入る人が限定される。健康面や生活面での不安をかえながら町内会には入らず、福祉面だけを町内に負担をかけることが多く、歓迎できないケースが増加している。民生委員、福祉協力員、事故（含む病気）があった時の館長の呼び出し、立会いなどがあり、困惑することもある。
- ・地区イベント、校区イベント等、参加の意思を知る為でもある。
- ・独居老人ばかり入居されており、なかなか近所付き合いをして頂けません。
- ・出入りが激しく付き合いは難しい。会費は出ないのにゴミを出すので評判は悪い。
- ・管理人の考え方が後退的なる故、前向きに行かない。入居時、入居者へ町内会費の免除を条件としている故、町内会への未加入を当然の如くのように理解されている。

#### 「必要ない」の場合の主な記述

- ・定住がわからない。身元がわからない。
- ・若者の自治会離れ。（自己主張のみ）
- ・犯罪が起きやすい。ゴミの出し方が悪い。
- ・100%近く学生が入居、転入、転出が頻繁な為。
- ・居住者から地域住民に接しようとし無い。アパートの住民も特別繋がりを持つてない。住んでる人の顔も良く分からない。回覧板、配布物を配るだけの付き合い。町内の会合にも出ないと言われている。
- ・マンションの入居者の出入りが多く実態がつかめない。さらに自治公民館にも加入していない。つきあいもなし。
- ・学生、単身赴任者がほとんどで時間帯が遅い、出会う事があまりない。

## 5. 困りごと、不安 →P 4 7 を参照

- 問5-1 地域での困りごと
- 問5-2 将来への不安
- 問5-3 不足しているサービス



## 6. その他自由意見

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>町づくり行政に関して10年先を見据えた高齢、過疎化対策など中期的視野が必要。一過性のイベントに金を出せば事足りるといった発想では、結果としてムダ使いに終わる。公務員OBの積極的参加(自治会)を期待したい。</li> <li>集合住宅(マンション)の自治会設立。自治会設立は生活安全面、防災面、地域機能維持に重要で、住民として生活する上で最低の責任はあるのではないかと。個人責任を果たすことと、エゴと個人の権利とは違う。自治組織設立の条例なども必要と思う。</li> <li>町内会の役員を積極的、自主的、主体的に受けようとする方が非常に少ない。特に町内会12班の中で班長を受けるのは各戸輪番制となっていて、特別な事情の家族はとぼして次に送る習慣があり、不思議な感を抱かざるを得ない。そのくせゴミ等のステーションへの持ち出しはごく当然のようになされている。その辺りのギャップに割り切れないものを痛感している。40代、50代、60代の方々がもっともっと積極的に町内会の前面に出て対応すべきと思っている。そうあってほしい。いわゆる住民感情の難しさをひしひしと感じているところである。</li> <li>官庁の各自治会に対する係が少ないと思う。又官庁による各自治会への依存度は高く感じる。従前での対応では不十分と考えるので何か別の方法(新しいやり方)を考えてアプローチしてほしい。不要な組織は解散し、新しく必要な組織を作る等、検討してほしい。</li> <li>高齢化が進んでくる中、人口も減少して自治会の運営も難しくなっている。近くに買い物もする場所もなく、何かしら抜本的な対策を望みます。市内の中心地域にあり文化面ではとても良い環境にあります。もっと活かさなければもったいないと思います。広域で包括的な対策を望みます。</li> <li>地区の高齢化率は28.0%(24.6.30現在)で超高齢化と言えるかも知れません。高齢者の身体機能、心身の健康の維持・持続をはかることが大事となってきます。地区内の健康づくり推進員協議会、地区民児協、住み良い地区をつくる会、地区公民館等の健康づくりの行事への参加を呼び掛けていきたいと思う。</li> </ul>
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>独居の高齢者・高齢者夫婦が増えつつあり、そういう家で居住にゆとりがあれば、大学生 etc の家賃を抑えて、困りごとの相談(買い物 etc)に多少協力してもらおうといった学生さんの街中下宿などは進めれないか。戒町1区の実験的共同建替住宅の構造、実現に取り組んでおられるので、温かく見守りたい。これが成功すれば一つのモデルとなりうると思う。町内リーダーが少ないのが問題だが、すべての基礎は町内なので、町内交流を促進すべく外向からの助成と町内自身の努力が今より求められていると思う。</li> <li>&lt;意見ではなく&gt;住民の不満な事柄等は、町内役員が相談し、素早く対応している。&lt;要望として&gt;行政サイドの素直で素早い対応と報告を要望します。</li> <li>自治会、町内会の会長役員が高齢化しており、40代~50代へシフトチェンジすべき時期ではないでしょうか? 会長が70代なら副会長は40~50代、会長が40~50代なら副会長は60~70代といった世代間の受け渡しを各自治会で進めるべきと考えます。今のままで行くと自治会、町内会は消滅すると思います。</li> <li>自治会活動で、班長、会長の仕事量が多すぎるとの声が多い。(以前に比べて)真に必要な印刷物のみとすべきでは? 市報、県報の活用をより有効なものにすることが大切である。</li> </ul>
	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>回覧文書は中身の伝達がうすいので、重要なものは各戸配布が望ましい。各般の班長が役員になる仕組みであるが、高齢化等で班長が務まらない世帯をとびとびで運営するため、班長が早くまわってくるのが最大の悩みとなっている。</li> <li>個人情報保護法によるプライバシー保護で住民の情報が把握しづらい。地域の活性化にブレーキをかけている。</li> </ul>
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>核家族化が進み、高齢者が増えて、自主防災組織の結成を考えているが、若者が少なく困難な状況にあり不安である。下町のまちづくりが進み、町が活性化して若者が定着していくことを望んでいます。</li> <li>個人情報保護の名目でしょうか、自分の名や家族の名を隠したがる人がいます。米子市に住む市民はお互いを信用し信頼し助け合う為の基となるので自己紹介の意味からも明らかにする必要を感じます。又自らも共同作業等町内の清掃作業には進んで参加しなければいけない条例をつくらしたら如何でしょうか。身体不自由の方には</li> </ul>

		<p>当てはめない事を含めて。米子市に生まれ米子育ち。私個人的には良かったと思っています。米子市が取組んでおられる諸行事に敬愛の念で感謝しています。米子の町が明るく住み良い町になる様、そして発展する事を祈っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを推進する拠点施設としての地区集会場が必要で、空き家等でも活用するための家賃などの助成制度を設けていただきたい。</li> <li>・市民の為の行政改革が必要。市民の為に協力できる人作り、サービスではなく仕事として。</li> <li>・市全体の活性化にもっと市当局が積極的に取り組むべきだ。</li> <li>・色々な関係に寄付の要請が多すぎる。例えば赤い羽根募金、歳末助け合い福祉関係とか、会員には高齢者が多く、各位余裕などなく、会費負担が大変です。</li> <li>・平常時は大きな問題はありませんが、昨年のような豪雪時の除雪など天変地異を想定した対応策が確立・訓練されなければならないと思います。</li> <li>・数十年前交番があったのがなくなり、また数年前にもさらに統合再編がなされて、交番がもっと遠くになって、通報しても対処までに時間がかかるように思います。街灯を新しくしたり料飲組合と共同で防犯カメラを設置したりしていますが、それは防止と事後の検証の為にツールにすぎず、今起こった事案に対応するためには、そして安全安心な生活のためには当自治会に交番が必要と思っています。</li> <li>・まちなかで生活するには、日常のものが自分の家から 300 メートルの円周の中にあることが必要だ。それを基本にして空き店舗を活用していかなければならない。又、空き家は古い家が多いと思います。それを若者向きの家に改善する。古いものを活かす事で行政がまちなおしの計画を立案し、それを進めるための補助金を出すことによって何十年の後に、まちなかが再生されコンパクトなまちになり、社会資本も少なくすることができる。</li> <li>・町内を分割するような小学生の自由登校についてはやめてもらいたい。小学校の人数不足でこのようなことになると町内の一体活動に重大な問題が発生する</li> </ul>
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山あり、川あり、海あり、そして生活に必要なスーパー、医者、行政施設、めぐまれているが、ただ若者が行く施設が少ない。マンガサミットなんかより若者に生きがいのある町づくりを願う。</li> <li>・行政と住民における問題点の一部として余りにもコミュニケーションが図られていない。行政側は、決定まで秘密裏に事を運び住民に良い事であるからと決定してから発表し協力を依頼してくる。本当にそれが住民の為であろうか。もう少し情報を発表して、住民と話し合いをして、理解を得るべきではないだろうか。</li> <li>・高齢化といわれもう何年もたつが、現在の状況はすでに高齢社会である。東京で生活している友人と話す機会があったのだが、東京は高齢化といってもピンとこない人が多いと言う。やはり地方から都会へ進学しそこで家庭を持つ人が多いためだと思う。裏を返せば帰りたいが帰っても働ける場所もなく、それならば 20 代 30 代の人が増え子供が増えていかなければどんどん地域が衰退してしまいます。そのためにももっと積極的に企業誘致を進め、若い世代が働ける場を提供しなければいけないと思います。それと並行して、高齢者の方が元気である地域づくりも必要だと思います。これは各自治体で考えることだと思いますが、その為の環境整備などを県や市が主体となってひっばって欲しいと思います。また自動車が不可欠な生活では高齢者の方は大変だと思います。公共交通機関（バス、タクシー等）が充実するように支援が必要だと考えます。</li> <li>・病院、買い物等不都合はないが、一人居り高齢者となって身体の動きが不自由になってからの対策が必要だと思います。行政等の「公」、自治公民館での共助もひっくるめて。</li> <li>・いろいろな行事、問題に対し文句は言うけど自らは行動しない、協力しない利己的な人が多くなっているように感じます。東日本大震災、大きな犠牲を期に防災活動の必要性を認識し行動し、更に自治公民館活動が活性化することを願って企画しても参加しない、無関心な人が多い。自分とは関係ないと考えているのでしょうか？粘り強く、啓発し継続するつもりです。</li> <li>・町内会の役員になる人がいない。該当者はいても、人の世話までせずとも自分の自由気ままな生活を求め、まわりから拘束されるのがいやな人達、いわゆる自分勝手な人が多くなったように思います。長い間町のみなさんにお世話になったので、一生の内 1 回位は皆さんの為に今の仕事を引き受けましたが、後任がなかなか見つからず、だらだらと 5 年になりました。どうしたら皆さんにやる気を起こせるのか、自分だけよければと言う今の世相がそうさせているのかわかりません。</li> <li>・1：高齢化の中で町内の役員も高齢化し、交代しようとしても後継が育たず。H23 年度の町内学習会で町の活性化について話し合い、H24 年より青年部を結成し、地</li> </ul>

		<p>区活動に参加させている。(共働きで余裕がない)</p> <p>2：なんでも館長に言えば、と…対応に困っている。又 365 日で自分の時間が無いのがつらい。</p> <p>3：空家の持ち主が行方不明で、大風にて屋根のトタンの一部が飛散し、となりの住民から何とかしてほしいと言われ、市役所と相談しても手が打てないのが現状。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの利点は歩ける範囲で日常のことはほとんど出きる事。人間関係が良ければ隣近所で助け合える。安否の確認が簡単にできる。小川の魚取り、夏のホタル狩り、家庭菜園、市民農園など身近な自然とのふれあいが出来る。よそからみればうらやましいと思われることが、日常的であるためその良さに気付かない。一度離れてみないと故郷の良さがわからない場合が多い。アパート生活の夫婦の次の住まいがまちなかの空き家に移る様になれば、近所の高齢者の生きがいとなり、又経験や技能など発揮できる機会もあろうかと思う。7～13 回忌が経った空き家を流通させるシステムの検討と放置住宅の解体。まちなか生活の良さ、あこがれの情報発信、地域のやるべきことの学習、受け入れ体制。全国で同じ課題をかかえている場合、移住を催す魅力があるだろうか。田舎は時間、経済、体力、精神に少しだけ余裕が出来れば住み良いところなのに。</li> </ul>
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私心、各自治会の空き地などを行政が買い取り、官舎を建築し、職員を居住させ、その自治会の相談役又は指導者とし、種々の物事に対処させる。市あるいは県の歳出に余裕があれば、これぐらいの破天荒が必要ではないでしょうか。現状では一歩も前に進まん。</li> <li>・地域活性化の大きな柱に「情報発信」があります。現在、市からの市報、公民館からのたより、社会福祉協議会からのレポートなどがあります。しかし、足元の町内の情報の受発信が無いため、身近で何が起り誰が何を要望しているのかわかりませんでした。そこで今年から当会では会員向けにかわら版を発信し、身近な情報を発信すると共に、何でも要望シートを回覧し、会員の身近な要望を汲み上げています。また、町内6ヶ所の掲示板にこれらの情報を発信するステーション機能を持たせ、住民へのアピールを行っています。今後もさらに情報の受発信を強化し、“息づかいが聞こえる”町づくりをしていきたいと考えています。＜要望＞掲示板の新設についての補助金の支給。</li> <li>・自治会の世帯数について、当会は19世帯であるが大きい自治会は数百世帯のところもある。公民館は小さい自治会は合併して活動を活発にして欲しいというのが、新しい自治会組織は見当されないものであろうか。</li> </ul>



# まちなか生活実態調査（世帯調査）

日ごろ、県政の推進にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。  
 さて、近年、中山間地域のみならず都市部においても、局地的に人口減少・高齢化が進み、コミュニティ活動の停滞、災害時対応への不安、空き家の増加、買い物弱者の発生、交通不便等の課題が指摘されています。  
 こうした新たな課題に対応し、地域住民が安心して元気に暮らせる「まちなか」の再生を目指して、鳥取県では、生活者の視点で支援施策を検討するための調査を実施することといたしました。  
 皆様が安心して暮らせる地域づくりのため、本調査にご協力いただきますよう、どうぞよろしく申し上げます。

## ＜本調査は無記名調査です＞

ご記入にあたってのお願い

- ◆ 平成24年8月1日現在で記入してください。
- ◆ 封筒のあて名の方（世帯主）によるご記入をお願いします。  
 （ご本人による記入が困難な場合は、ご家族などがご本人から聞き取って代筆していただくか、ご家族の方が代わって回答してください。）
- ◆ ご回答にあたっては、各問の選択肢の番号に○をしてお答えください。誤った選択肢に○をした場合には、はつきりと×により抹消し、あらためて正しい番号に○をしてください。また、選択肢の中の「その他」に○をされた方は（ ）の中に具体的な内容を記入してください
- ◆ ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒により、平成24年8月31日（金）までにご返送いただきますようお願いいたします。

【調査に関する問い合わせ】  
 〒680-8570 鳥取県企画部地域づくり支援局  
 とっとり暮らし支援課（電話：0857-26-7962）

本調査は、県内各市のご協力のもと調査地区を指定させていただきました。その中で戸建て住宅やマンションにお住まいの世帯、独居高齢者世帯の皆様を対象に、無記名の抽出調査として実施いたします。  
 なお、独居高齢者世帯については個別に聞き取りを行わせていただくことがありますが、個人の秘密は堅く守り、ご回答いただいた個人の特定等は一切行いません。  
 また、調査結果は統計的に分析・公表させていただきますが、個人を特定できる内容などは公表いたしませんので、ありのままをご記入ください。



平成24年8月  
 鳥取県

# 1. 世帯の状況

問1-1 あなた（世帯主）ご自身についてお尋ねします。

【お住まいの地域】（1つだけ）

鳥取市：①久松地区 ②静風地区 ③遷喬地区 ④日進地区 ⑤明徳地区

⑥中ノ郷地区 ⑦末恒地区

米子市：⑧啓成地区 ⑨明道地区 ⑩就母地区 ⑪藏方地区

倉吉市：⑫成徳地区 ⑬明倫地区

境港市：⑭境地区

（お分かりでない場合）[ ]市[ ]町（番地は不要です）

【ご年齢】（1つだけ）

- ①19歳以下 ②20～24歳 ③25～29歳 ④30～34歳
- ⑤35～39歳 ⑥40～44歳 ⑦45～49歳 ⑧50～54歳
- ⑨55～59歳 ⑩60～64歳 ⑪65～69歳 ⑫70～74歳
- ⑬75歳以上

【性別】（1つだけ）

- ①男性 ②女性

問1-2 ご家族について教えてください。（1つだけ）

- ①一人暮らし ②夫婦 ③親子 ④三世代同居
- ⑤その他（具体的に： ）

問1-3 世帯の主な生活の支えは何ですか。(1つだけ)

①給与で ②自営業で ③年金で  
 ④その他(具体的に: )

→主に家計を支える方の勤務地はどこですか。(1つだけ)  
 (「③年金で」に回答された方を除く。)

①同じ敷地内(又は建物内) ②家から500m以内 ③家から1km以内  
 ④市内(①～③を除く)  
 ⑤市外(具体的に:[ ]市町村)  
 ⑥県外(具体的に:[ ]都道府県)  
 ⑦その他(具体的に: )

問1-4 同居のご家族の中に介護保険の要支援・要介護状態の該当者はいらっしゃいますか。(あなたを含む)(1つだけ)

①いる ②いない

## 2. 住まい

問2-1 現在の住まいの形態は、次のどれですか。(1つだけ)

①戸建て(自己名義又は家族名義・他人名義) …どちらかに○  
 ②マンション等の集合住宅(自己名義又は家族名義・他人名義) …どちらかに○  
 ③その他(具体的に: )

問2-2 お家(母屋)の延べ床面積を教えてください。(1つだけ)

①50㎡(約15.1坪)未滿 ②75㎡(約22.7坪)未滿  
 ③100㎡(約30.3坪)未滿 ④125㎡(約37.8坪)未滿  
 ⑤150㎡(約45.4坪)未滿 ⑥175㎡(約52.9坪)未滿  
 ⑦200㎡(約60.5坪)未滿 ⑧225㎡(約68.1坪)未滿  
 ⑨250㎡(約75.6坪)未滿 ⑩250㎡(約75.6坪)以上

問2-3 現在の住まいの課題は何ですか。(3つまで)

①耐震化 ②バリアフリー化 ③狭すぎる ④広すぎる  
 ⑤家賃や維持費が高い ⑥古い ⑦不都合はない  
 ⑧その他(具体的に: )

問2-4 居住地に対するあなたの評価を教えてください。(3つまで)

①職場が近い ②公共交通の便が良い ③駅(郊外駅を含む)が近い  
 ④食料品や日用品のお店が近い ⑤医療機関が近い ⑥静か  
 ⑦教育環境が良い ⑧自然環境が良い ⑨庭や家庭菜園がある  
 ⑩まとまった土地を確保できている ⑪家の管理が容易  
 ⑫地価が高くない ⑬親世帯又は子世帯と同居で安心  
 ⑭親世帯又は子世帯と近居(又は往来が楽)で安心  
 ⑮住民同士の助け合いなど、人間関係が良い  
 ⑯人間関係に束縛されず、自由気ままに暮らせる  
 ⑰その他(具体的に: )

## 3. 暮らしの安心

問3-1 防災・防犯など、くらしの安心に関する情報を得る主な媒体は何ですか。(1つだけ)

①テレビ ②ラジオ ③防災無線 ④インターネット  
 ⑤メール(県の「あんしんトリピーメール」※など) ⑥新聞 ⑦広報紙  
 ⑧その他(具体的に: )

※「あんしんトリピーメール」: 携帯電話を使った鳥取県安心安全情報配信・収集システム

問 4-1-2 あなたを含むご家族の皆さんに対して、地域の方等による訪問や連絡などの「声かけ」はどの程度ありますか。(1つだけ)

①毎日 (又はほぼ毎日) ②主に平日 ③主に週末  
 ④月2～3日程度 ⑤ない (又はほとんどない)  
 ⑥その他 (具体的に: )

→主にどのような方から「声かけ」がありますか。(1つだけ)  
 (「⑤ない (又はほとんどない)」に回答された方を除く。)  
 ①近所の方 ②自治会 (町内会) の方 ③民生委員 ④別居の家族・親戚  
 ⑤その他 (具体的に: )

#### 4. 交通、買い物、通院

##### (1) 食料品や日用品の調達状況について

問 4-1-1 食料品や日用品を調達されているのは主にどなたですか。(1つだけ)

①世帯主 ②世帯主の配偶者 ③世帯主の親 ④世帯主の子  
 ⑤その他 (具体的に: )

問 4-1-2 その方は、自動車運転免許をお持ちですか。(1つだけ)

①持っている ②持っていない

問 4-1-3 ご自宅で、昼食は主にどのように準備されていますか。(1つだけ)

①家で作る ②惣菜を買う ③弁当を買う ④外食する  
 ⑤その他 (具体的に: )

問 4-1-4 ご自宅で、夕食は主にどのように準備されていますか。(1つだけ)

①家で作る ②惣菜を買う ③弁当を買う ④外食する  
 ⑤その他 (具体的に: )

問 4-1-5 買い物の頻度を教えてください。(1つだけ)

①毎日 (又はほぼ毎日) ②週2～3日程度 ③週1日程度  
 ④その他 (具体的に: )

問 4-1-6 食料品や日用品を購入される場合、最も多く利用されているお店はどちらですか。(1つだけ)

①大規模店 ②ディスカウント店 ③近所のスーパー  
 ④近所のコンビニ ⑤専門店 ⑥配送 (又は移動販売) サービス  
 ⑦その他 (具体的に: )

→家からそのお店までの距離を教えてください。(1つだけ)  
 (「⑥配送 (又は移動販売) サービス」に回答された方を除く。)  
 ①500m 以内 ②1km 以内 ③5km 以内 ④5km 以上

また、そのお店への主な交通手段を教えてください。(1つだけ)  
 ①徒歩 ②自転車 ③バス ④タクシー  
 ⑤バイク ⑥車 (自分で運転) ⑦車 (家族等が送迎)  
 ⑧その他 (具体的に: )

食料品や日用品の配送 (又は移動販売) サービスがあれば利用しますか。(1つだけ)  
 ①あれば毎日利用する ②あれば週に数日は利用する  
 ③あればたまに利用する ④使わない ⑤分らない

問 4-1-7 そのお店を利用される理由を教えてください。(3つまで)

①そこに行けば買い物物が完結するから ②品揃えが豊富だから  
 ③食材が豊富だから ④弁当が豊富だから ⑤安いから ⑥早いから  
 ⑦近いから ⑧顔なじみの店だから ⑨届けてくれて楽だから  
 ⑩その他 (具体的に: )

## (2) 通院状況について

問4-2-1 最も医療機関を利用されているのは主にどなたですか。(1つだけ)

- ①世帯主 ②世帯主の配偶者 ③世帯主の親 ④世帯主の子  
⑤その他(具体的に: )

問4-2-2 その方は、自動車運転免許をお持ちですか。(1つだけ)

- ①持っている ②持っていない

問4-2-3 その方は、最も利用される医療機関にどれくらいの頻度で通院されていますか。(1つだけ)

- ①毎日(又はほぼ毎日) ②週2～3日程度 ③週1日程度 ④月2～3日程度  
⑤その他(具体的に: )

→家からその医療機関までの距離を教えてください。(1つだけ)

- ①500m以内 ②1km以内 ③5km以内 ④5km以上  
また、その医療機関までの主な交通手段を教えてください。(1つだけ)  
①徒歩 ②自転車 ③バス ④タクシー  
⑤バイク ⑥車(自分で運転) ⑦車(家族等が送迎)  
⑧その他(具体的に: )

## (3) バスについて

問4-3-1 (1)、(2)でバス以外の交通手段を利用されている方に伺います。)バスを利用されない主な理由を教えてください。(3つまで)

- ①家からバス停までが遠い ②行きたい場所を通らない ③乗り継ぎが面倒  
④本数が少ない ⑤時間がかかる ⑥交通費が高い ⑦混雑で座れない  
⑧体力がない ⑨体が不自由で、そもそもバスに乗れない  
⑩その他(具体的に: )

→(「①家からバス停までが遠い」に回答された方に伺います。)最寄のバス停までの距離を教えてください。

- ①500m以内 ②1km以内 ③1km以上

## 5. コミュニティ(地域社会)

### (1) 近所付き合いの状況/マンション等の中でのお付き合いの状況

問5-1-1 近所付き合い(マンション等の中でのお付き合い)の主なものについて教えてください。(いくつでも)

- ①飲食(一緒に食事に行くなど) ②子育て(子どもが同じ学校に通っているなど)  
③簡単な頼みごとや物の貸し借り ④立ち話や情報交換  
⑤挨拶程度 ⑥ほとんどない  
⑦その他(具体的に: )

問5-1-2 日常的な憩いの場(地域の方々や気の合う友人との交流の場)がありますか?(1つだけ)

- ①ある  
(どのような場所でしょうか)  
②ない



※以下、マンション等世帯の方のみお答えください。

問5-1-3 マンション等の総会に参加されていますか。(1つだけ)

- ①ほぼ毎回参加 ②時々参加 ③あまり参加していない  
④参加していない ⑤そもそも総会がない

問5-1-4 マンション内の他の居住者の方とのご近所付き合いのあり方について、

今後どうあるべきか、あなたのお考えをお聞かせください。(1つだけ)

- ①大いにあった方がよい  
(理由: )  
②多少はあった方がよい  
(理由: )  
③必要ない  
(理由: )

## (2)「地縁型コミュニティ」(地域の自治会(町内会)単位を基本としたコミュニティ)への参加状況

問5-2-1 地域の自治会(町内会)に加入されていますか。(1つだけ)

- ①加入している ②加入していない

問5-2-2 最も参加されている地域の活動を教えてください。(1つだけ)

- ①自治会(町内会)などの会合 ②防犯、防災に関する活動 ③清掃活動  
④高齢者や高齢者のいる世帯を対象にした活動  
⑤子どもや子育て世帯を対象にした活動 ⑥お祭り、イベント  
⑦親睦活動(団体旅行、懇親会)

⑧その他(具体的に: )

⑨特に参加していない

→(「⑨特に参加していない」に回答された方を除く。)活動頻度を教えてください。

- ①毎日(又はほぼ毎日) ②主に平日 ③主に週末  
④月2~3日程度 ⑤半年に1回程度 ⑥年1回程度  
⑦その他(具体的に: )

→(「⑨特に参加していない」に回答された方に伺います。)その理由を教えてください。

(3つまで)

- ①どこに相談や申し込みをしてよいか分からないから ②声がかからないから  
③体力に自信がないから ④負担が大きい(義務感がある)から  
⑤時間を拘束されたくないから ⑥面倒だから  
⑦その他(具体的に: )

※以下、マンション等世帯の方のみお答えください。

問5-2-3 マンション外の近隣住民の方とのご近所付き合いのあり方について、今後どうあるべきか、あなたのお考えをお聞かせください。(1つだけ)

- ①大いにあった方がよい  
(理由: )
- ②多少はあった方がよい  
(理由: )
- ③必要ない  
(理由: )

(3) 「テーマ型コミュニティ」(文化系サークル、スポーツ系クラブなど、地域に縛られず共通の目的を持ったコミュニティ)への参加状況

問5-3-1 最も参加されている活動を教えてください。(1つだけ)

- ①外国語・国際交流 ②絵画 ③音楽 ④舞踊・ダンス ⑤スポーツ  
⑥その他(具体的に: )  
⑦特に参加していない

→(⑦特に参加していない)に回答された方を除く。)活動頻度を教えてください。(1つだけ)

- ①毎日(又はほぼ毎日) ②主に平日 ③主に週末  
④月2~3日程度 ⑤半年に1回程度 ⑥年1回程度  
⑦その他(具体的に: )

## 6. 居住に関する今後の意向

問6-1 今の住居に将来も住み続けますか。(1つだけ)

- ①住み続けたい ②いずれは転居したい ③分らない

→(②いずれは転居したい)に回答された方に伺います。

何をきっかけに転居をお考えですか。(1つだけ)

- ①あなたの結婚 ②あなた(又は配偶者)の出産  
③あなた(又は配偶者)の復職(就職) ④あなた(又は配偶者)の退職  
⑤あなた(又は配偶者)の健康状態の変化 ⑥親の健康状態の変化  
⑦その他(具体的に: )

どちらへの転居をお考えですか。(1つだけ)

- ①同じ敷地内(又は建物内) ②家から500m以内 ③家から1km以内  
④市内(中心市街地) ⑤市内(郊外)  
⑥市外(具体的に:[ ]市町村) ⑦県外  
⑧その他(具体的に: )

いつ頃の転居をお考えですか。(1つだけ)

- ①5年以内に ②10年以内に ③20年以内に  
④20年以上先 ⑤分からない

(今現在、親と別居されている方に伺います。)転居先は、親が住んでいる(住んでいた)住居ですか。(1つだけ)

- ①親が住んでいる(住んでいた)住居である  
②親が住んでいる(住んでいた)住居ではない

問6-2 あなたが居住地として優先する条件を教えてください。(3つまで)

- ①職場の近くであること ②公共交通の便が良いこと
- ③駅(郊外駅を含む)が近いこと ④食料品や日用品のお店が近いこと
- ⑤医療機関が近いこと ⑥静かであること ⑦教育環境が良いこと
- ⑧自然環境が良いこと ⑨庭や家庭菜園を持つこと
- ⑩(少々まちの外れであっても)まとまった土地を確保できること
- ⑪マンション等のように、家の管理が容易であること
- ⑫地価が高くないこと ⑬親世帯又は子世帯と同居できること
- ⑭親世帯又は子世帯の住居に近いこと(又は往来が楽であること)
- ⑮住民同士の助け合いなど、人間関係が良いこと
- ⑯人間関係に束縛されず、自由気ままに暮らせること
- ⑰その他(具体的に: )

## 7. 困りごと、不安 ※65歳以上の独居高齢者世帯のみ

問7-1 現在、日常生活で困っていることがあれば教えてください。(3つまで)

- ①買い物 ②食事の準備や片付け ③トイレ ④風呂 ⑤洗濯 ⑥掃除
- ⑦ゴミ出し ⑧電球の取替え ⑨草むしり ⑩庭木せん定 ⑪雪かき
- ⑫通院 ⑬銀行での手続き ⑭郵便局での手続き ⑮役所での諸手続き
- ⑯外出する方法がない ⑰話し相手がない ⑱特にならない
- ⑲その他(具体的に: )

問7-2 将来に向けて、日頃不安に感じていることがあれば教えてください。(3つまで)

- ①災害への不安 ②犯罪への不安 ③要介護状態への不安 ④認知症への不安
- ⑤医療や福祉サービスを利用する際の費用に対する不安
- ⑥病気になる自宅で暮らせなくなることへの不安
- ⑦悩みを相談できる相手がいない(少ない)ことへの不安
- ⑧ひとりぼっちになることへの不安 ⑨引きこもりになることへの不安
- ⑩特にならない
- ⑪その他(具体的に: )

問7-3 地域で不足しているサービス・取り組みで、何か必要なものがあれば教えてください。

## 8. その他、自由意見欄

問8 その他、ご意見やお気づきの点があればお書きください。(別紙可)

質問は以上で終わりです。同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手不要)  
ご協力ありがとうございます。

# まちなか生活実態調査（自治会（町内会）調査）

日ごろ、県政の推進にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。  
 さて、近年、中山間地域のみならず都市部においても、局地的に人口減少・高齢化が進み、コミュニティ活動の停滞、災害時対応への不安、空き家の増加、買い物弱者の発生、交通不便等の課題が指摘されています。  
 こうした新たな課題に対応し、地域住民が安心して元気に暮らせる「まちなか」の再生を目指して、鳥取県では、生活者の視点で支援施策を検討するための調査を実施することといたしました。  
 皆様が安心して暮らせる地域づくりのため、本調査にご協力いただきますよう、どうぞよろしく願います。

ご記入にあたってのお願い

- ◆平成24年8月1日現在で記入してください。
- ◆自治会（町内会）代表者の方による記入をお願いします。（代表者による記入が困難な場合は、代理の方が回答してください。）
- ◆ご回答にあたっては、各問の選択肢の番号に○をしてお答えください。誤った選択肢に○をした場合には、はつきりと×により抹消し、あらためて正しい番号に○をしてください。また、選択肢の中の「その他」に○をされた方は、（ ）の中に具体的内容を記入してください
- ◆ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒により、平成24年8月31日（金）までにご返送いただきますようお願いいたします。

〔調査に関する問い合わせ〕  
 〒680-8570 鳥取県企画部地域づくり支援局  
 とっとり暮らし支援課（電話：0857-26-7962）

本調査は、県内各市のご協力のもと調査地区を指定させていただきます、全ての自治会（町内会）※を対象に実施いたします。  
 ※自治会、町内会等の名称にかかわらず、最小単位の自治組織についてお書きください。  
 なお、調査結果は統計的に分析・公表させていただきますが、個人を特定できる内容などは公表いたしませんので、ありのままをご記入ください。

 平成24年8月  
鳥取県

# 1. 自治会（町内会）の状況

問1-1 自治会（町内会）についてお尋ねします。

【自治会（町内会）の名称】  
 [ \_\_\_\_\_ ]  
 【自治会（町内会）の加入世帯数（分かれば人数も教えてください。）】  
 [ \_\_\_\_\_ ]世帯、[ \_\_\_\_\_ ]人

問1-2 自治会（町内会）総会への参加割合（委任状参加を除く実数）について教えてください。（1つだけ）

①8割以上 ②半数以上 ③半数未満 ④不明

問1-3 現在の自治会（町内会）規模は、運営上適正規模だとお考えでしょうか。（1つだけ）

①適正（又は問題ない） ②小さすぎる ③大きすぎる  
 →（「②小さすぎる」「③大きすぎる」に回答された方に伺います。）差し支えなければ、今の規模となった理由を教えてください。  
 [ \_\_\_\_\_ ]

今の規模で、自治会（町内会）の運営上どのような点が問題となっていますか。  
 [ \_\_\_\_\_ ]

自治会（町内会）の適正規模は何世帯（何人）程度とお考えでしょうか。  
 [ \_\_\_\_\_ ]世帯（[ \_\_\_\_\_ ]人）

自治会（町内会）機能の一部を他の自治会（町内会）との間で共同化することについて、何か対策や話し合いはありますか。

- ①ある  
(具体的に: )
- ②ない

問1-4 住民の方から、何か自治会（町内会）の運営に関わる意見・提案等があるようでしたら教えてください。

## 2. ぐらしの安心

問2-1 地震等大規模災害が生じる危険性が指摘されていますが、自治会（町内会）において何か対策や話し合いは行われていますか。（1つだけ）

- ①訓練の実施やマニュアル作成等対策をとっている
- ②話し合いを進めている ③今後話し合う予定 ④特にない
- ⑤その他  
(具体的に: )

問2-2 自治会（町内会）区域に、空き家がありますか。

- ①ある ②ない

→（「①ある」に回答された方に伺います。）それらの空き家の現在の状況を教えてください。 (いくつでも)

- ①所有者又はその家族が分かる ②空き家となっている理由が分かる
- ③近隣・自治会・行政などとの協力関係が構築されている
- ④所有者や空き家の理由などが全く不明
- ⑤その他  
(具体的に: )

それらの空き家に対する自治会（町内会）としての評価をお聞かせください。

- (1つだけ)
- ①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある ②価値がない
- ③分らない

→（「①何らかの価値がある」に回答された方に伺います。）その主な理由を教えてください。 (いくつでも)

- ①地域の中で何らかの役割を果たしている
- ②環境がそれほどでもなく、利活用の可能性がある
- ③その他  
(具体的に: )

その空き家を建物として活用できるとすれば、どのような活用方法があるとお考えですか？ (いくつでも)

- ①新たな住民の同居 ②食料品・日用品の店舗 ③食堂・レストラン
- ④喫茶店 ⑤地域の方々の交流の場 ⑥子育て活動の拠点
- ⑦福祉活動の拠点 ⑧美術・芸術活動の拠点 ⑨特に考えていない
- ⑩その他  
(具体的に: )

→ 「②価値がない」に回答された方に伺います。）その主な理由を教えてください。

(いくつでも)

- ①地域の中で何も役割を果たしていない
- ②損壊が著しく、利活用が困難
- ③危険
- ④犯罪の温床となる恐れ
- ⑤不衛生
- ⑥その他

(具体的に: )

その空き家を解体して土地を再利用するとすれば、どのような活用方法があるとお考えですか? (いくつでも)

- ①地域の方が集う広場
- ②公園
- ③駐車場
- ④隣家への売却

⑤特に考えていない

⑥その他

(具体的に: )

### 3. 生活環境 (交通・店舗・医療)

問3-1 地域において、過去10年間の公共施設・サービス等の変化について教えてください。

①事業所 (企業、役所等) ( [ ] 社・所の [ 増 ・ 減 ] )

②バス路線 (具体的に: )

③スーパー ( [ ] 店舗の [ 増 ・ 減 ] )

④コンビニ ( [ ] 店舗の [ 増 ・ 減 ] )

⑤医療機関 ( [ ] 医院の [ 増 ・ 減 ] )

⑥銀行 ( [ ] 店舗の [ 増 ・ 減 ] )

⑦郵便局 ( [ ] 局の [ 増 ・ 減 ] )

⑧その他 (具体的に: )

問3-2 その他、過去10年間に地域で大きな状況の変化があれば教えてください。

問3-3 交通・買い物・通院等に関して、何か対策や話し合いはありますか。(例: 公共交通や配送 (又は移動販売) サービスに関する意見・対策など)

①ある (具体的に: )

②ない

## 4. コミュニティ（地域社会）

問 4-1 自治会（町内会）区域に固有の文化的資産（伝統芸能、祭など）はありますか。

①ある  
（具体的に： )

②なくなつた  
（具体的に： )

③元々ない

問 4-2 その他、住民同士の交流を推進するための地域資源やグループはありますか。

①ある  
（具体的に： )

②ない

問 4-3 定住人口の増加が困難な場合、内外問わず住民同士の交流を推進することも活性化の一つの方法ですが、そうした取り組みについてのご意向をお聞かせください。

①既に取り組んでいる  
（具体的に： )

②今後取り組みたい  
（具体的に： )

③特に取り組みようとは思わない

④分からない

※以下、自治会（町内会）区域にマンション（集合住宅）がある場合のみお答えください。

問 4-4 その（それらの）マンション等は、地域の自治会（町内会）に加入していませんか。（いくつでも）

①マンション等が単独の自治会（町内会）となり、各入居者が加入している

②マンション等が自治会（町内会）の班となり、各入居者が加入している

③マンション等1棟で自治会（町内会）に加入し、各入居者は自治会（町内会）員となっている

④入居者が任意に加入している ⑤加入していない

問 4-5 その（それらの）マンション等で、地域の自治会（町内会）との連絡窓口になっている方はどのような方ですか。（いくつでも）

①管理組合の理事長（又は理事） ②管理人（又は管理会社）

③いない（又は連絡先が分からない）

④その他（具体的に： )

問 4-6 マンション等入居者と地域住民の方とのご近所付き合いのあり方について、今後どうあるべきか、あなたのお考えをお聞かせください。（1つだけ）

①大いにあった方がよい  
（理由： )

②多少はあった方がよい  
（理由： )

③必要ない  
（理由： )

## 5. 困りごと、不安

問5-1 現在、地域で困っていることがあれば教えてください。

問5-2 将来に向けて、日頃不安に感じておられることがあれば教えてください。

問5-3 地域で不足しているサービスで、何か必要なものがあれば教えてください。

## 6. その他、自由意見欄

問6 その他、まちなか生活についてのご意見があればお書きください。(別紙可)

質問は以上で終わりです。同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手不要)  
ご協力ありがとうございます。



まちなか生活実態調査報告書（平成24年8月調査）

平成24年11月

鳥取県 企画部地域づくり支援局 とっとり暮らし支援課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 電話：0857-26-7962 ファクシミリ：0857-26-8129

〔集計・分析〕 公立大学法人鳥取環境大学 地域イノベーション研究センター

〒689-1111 鳥取市若葉台北1丁目1番1号 電話：0857-32-9105 ファクシミリ：0857-32-9108